



## 下水道モニター 平成 23 年度 第 1 回アンケート結果

東京都下水道局では、様々な事業を行っています。

第 1 回アンケートでは、東京都下水道局や下水道事業に対するイメージ、事業活動に対する認知度や評価、東京都の下水道が抱える課題などについてうかがいました。

この報告書は、その結果をまとめたものです。

実施期間 平成 23 年 5 月 23 日（月）から 6 月 7 日（火）16 日間

対 象 者 東京都下水道局「平成 23 年度下水道モニター」

東京都在住 20 歳以上の男女個人

回答者数 740 名

調査方法 ウェブ形式による自記式アンケート

### 結果の概要

#### 回答者属性

#### 集計結果

- 1．下水道の役割や仕組みの認知度、重要度、社会的貢献度
- 2．新たな事業活動の認知度と社会的貢献度評価
- 3．下水道に関するニーズ
- 4．下水道の課題
- 5．下水道事業の評価基準
- 6．生活排水についての日頃の取組
- 7．下水道事業の認知経路
- 8．下水道事業のイメージ
- 9．下水道事業に関する情報の探求意思、共有欲求
- 10．下水道局へのご意見・ご要望など

## 結果の概要

### 1. 下水道の役割や仕組みの認知度、重要度、社会的貢献度

5～15 頁

#### 【水質改善】

（認知度）全体の認知度は91%であり、男性の認知度が95%と女性より高い。年代が上がるにつれて認知度も上がる。70歳以上では98%が認知している。多摩地区の方の認知度が3ポイント高い。4年前と比べると認知度は1ポイント低下している。

（重要度）全体の88%が「非常に重要である」と回答。女性の方の認知度が2ポイント高い。特に70歳以上が95%と高い。

（貢献度）全体の80%が「非常に貢献度がある」と回答。特に70歳以上が88%と高い。

#### 【浸水防除】

（認知度）全体の認知度は79%。男性、40歳代、60歳代、70歳以上での認知度が高い。4年前と比べると認知度は2ポイント上昇した。

（重要度）全体の71%が「非常に重要である」と回答。女性、70歳以上において重要性をより高く認識。

（貢献度）69%が「非常に貢献度がある」と評価しており、女性、70歳以上、23区での評価が高い。

### 2. 新たな事業活動の認知度と社会的貢献度評価

16～23 頁

#### 【新たな事業活動の認知度】

「水再生センターを避難場所や上部を公園として利用」「きれいにした再生水をビルのトイレ用水や車両洗浄に利用」の認知度とともに6割と高い。各事業とも男性の認知度が高い。なお上記は、年代別にみると20歳代は他の年代と比較して、「知っている」と回答する割合が低い。昨年度と比較して認知度が大きく上昇したのは、「温室効果ガスの排出削減」「再生水の散水・施設の壁面緑化などヒートアイランド現象抑制」。

#### 【新たな事業活動の社会的貢献度】

全体でみると、各事業活動とも60%以上が社会的に「役立っている」と評価。特に「きれいにした再生水をビルのトイレ用水や車両洗浄に利用」は、58%が「非常に役立っている」と回答。昨年度と比較して貢献度が大きく上昇したのは、「下水道施設の省エネルギー化」「汚泥で無焼却ブロックをつくり歩道や公園などに利用」「温室効果ガスの排出削減」「水再生センターを避難場所や上部を公園として利用」。

#### 【新たな事業活動の受容状況と総合評価に影響する要因】

認知度、社会的な貢献度ともに高い事業と認知されているのは「きれいにした再生水をビルのトイレ用水や車両洗浄に利用」や「水再生センターを避難場所や上部を公園として利用」。

### 3. 下水道に関するニーズ

24～27 頁

【下水道について知りたいこと】...「下水道の働きや役割・貢献内容」76%、「下水道の働きや役割・貢献内容」71%が圧倒的に多い。全般的に女性が知りたいとの回答が多い。「下水道の働きや役割・貢献内容」は多摩地区の方が知りたいとの回答が多い。

## 4．下水道の課題

28～37 頁

【下水道管の老朽化】...認知度は33%。男性の方が「知っていた」との回答が多い。年代が上がるにつれて認知度は高くなる。全体の99%が「深刻な問題である」と捉えている。

【都市型浸水対策】...認知度は72%。ここでも男性の認知度が高い。また年代が上がるにつれて認知度も上がる。「深刻な問題である」と捉える割合は99%であり、「とても深刻な問題だと思う」は女性の割合が多い。

【合流式下水道の改善】...認知度は21%と例示した3課題の中で最も低い。4年前の36%から15ポイント低下している。特に女性、20歳代と30歳代での認知度が低い。地域別では23区、多摩地区とも21%。全体の97%が「深刻な問題である」と捉えている。

【課題の公表】...99%が「知らせた方がよい」と思っている。特に「積極的に知らせるべき」と思っているのは、70歳以上に多い。地域別では23区が多摩地区よりも3ポイント高い。

## 5．下水道事業の評価基準

38～41 頁

【下水道事業の評価基準】...最も多かったのは「公共性(国民、地域のために役立つ事業であるか)」で83%、次いで「環境貢献度(私たちが住む環境の保全に貢献しているか)」が77%、「災害リスク対応度(災害リスクへの対応が想定されているか)」が75%、最後に「経済性(投資する費用と期待する効果が合っているか)」の48%となった。年代が高くなるに従って、「公共性」「環境貢献度」の観点が重視される。

## 6．生活排水についての日頃の取組

42～45 頁

【生活排水についての日頃の取組】...全体では「トイレには、トイレットペーパー以外の物を流さないようにしている)」が91%と最も多い。以降、「台所の流しに水切り袋などを置き、排水管にゴミを流さないようにしている」89%、「浴室や洗面所の抜け毛は、下水に流さずゴミとして捨てている」82%と続く。男性、23区・多摩地区、30歳代を除くすべての年代において「トイレには、トイレットペーパー以外の物を流さないようにしている)」が最も多くなった。

## 7．下水道事業の認知経路

46～49 頁

【下水道事業の認知経路】...「広報東京都」が56%と最も多い。次いで「下水道局ホームページ」39%、「テレビ番組・ニュース」27%などから認知している。「広報東京都」は年代が上がるにつれ回答も多くなった。

## 8．下水道事業のイメージ

50～50 頁

【下水道事業のイメージ】...下水道事業のイメージとして挙げられた語句の内、最も多かったのが「重要」で全体の18%が回答していた。

次いで多かったのが、「水」「汚い」でともに16%。また「生活」15%、「必要」13%となった。

## 9．下水道事業に関する情報の探求意思、共有欲求

51～56 頁

【下水道事業に関する情報の探求欲求】...全体では「知りたいと思う」と答えた人の割合は 96%。男性の方が「非常にそう思う」との回答が多くなった。年代では 20 歳代が 33%と他の年代よりも「非常にそう思う」との回答割合が低い。

【下水道事業に関する情報の共有欲求】...全体では「情報を共有したいと思う」割合は 79%。女性の方が「非常にそう思う」割合が高い。年代では特に 70 歳以上で「そう思う」割合が高い。

## 10．下水道局へのご意見・ご要望など

57～70 頁

東京都下水道局へのご意見やご要望としては、「活動内容がわかり有意義」が 34%と最も多く、次いで「さらなる PR や教育活動必要」が 18%と多かった。

## 回答者属性

- 平成 23 年度下水道モニター数は、アンケート実施時で 1,027 名である。
- 第 1 回アンケートは、平成 23 年 5 月 23 日（月）から 6 月 7 日（火）までの 16 日間で実施した。その結果、740 名の方からの回答があった。（回答率 72.1％）

回答者 性・年代

性・年代		回答者数	モニター数	回答率
男性	20 歳代	27	38	71.1%
	30 歳代	56	86	65.1%
	40 歳代	86	122	70.5%
	50 歳代	38	55	69.1%
	60 歳代	75	91	82.4%
	70 歳以上	32	39	82.1%
	小計	314	431	72.9%
女性	20 歳代	36	75	48.0%
	30 歳代	145	215	67.4%
	40 歳代	131	168	78.0%
	50 歳代	61	75	81.3%
	60 歳代	44	52	84.6%
	70 歳以上	9	11	81.8%
	小計	426	596	71.5%
合計		740	1,027	72.1%

回答者 居住地域

地 域	回答者数	モニター数	回答率
23 区	425	593	71.7%
多摩地区	315	434	72.6%
合計	740	1,027	72.1%

回答者 職業

職 業	回答者数	モニター数	回答率
会社員	237	381	62.2%
公務員	3	0	-
自営業	49	59	83.1%
学生	14	21	66.7%
私立学校教員・塾講師	8	6	133.3%
パート	62	80	77.5%
アルバイト	22	17	129.4%
専業主婦	236	328	72.0%
無職	88	103	85.4%
その他	21	32	65.6%
合計	740	1,027	72.1%

モニター数と回答者数については、未回答や職業の変化等により一致しないことがある。

## 集計結果

文中の「n」は、質問に対する回答者数で、比率(%)はすべて「n」を基数(100%)として算出している。  
また、小数点以下を四捨五入してあるので、内訳の合計が100%にならないこともある。

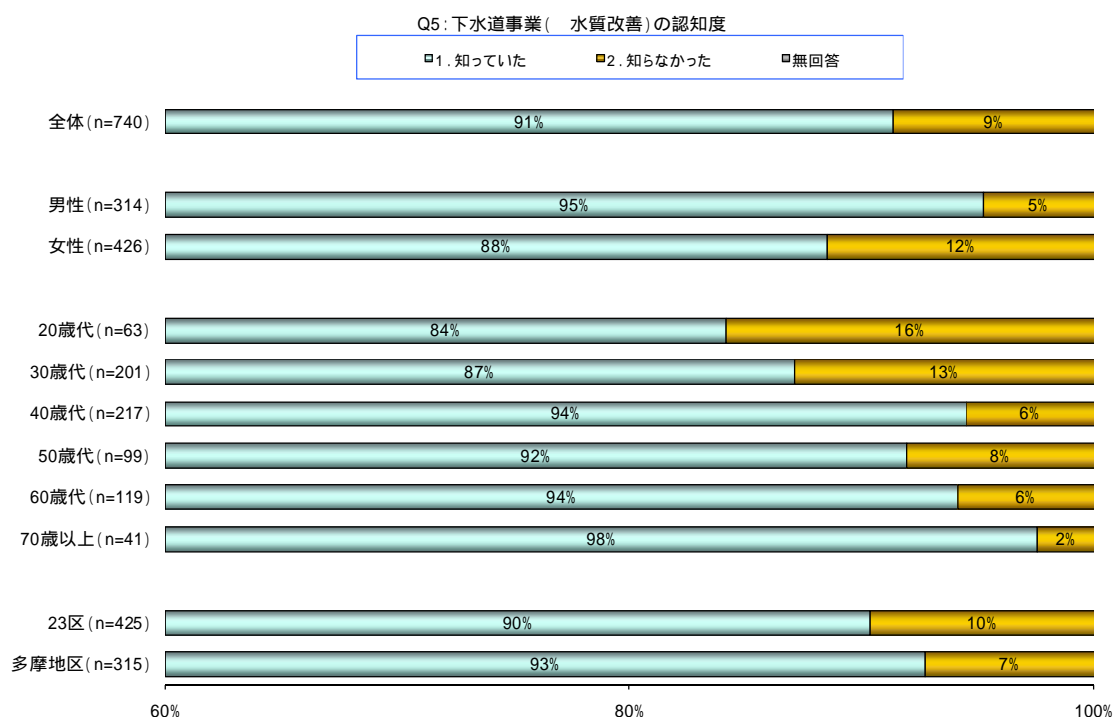
### 1. 下水道の役割や仕組みの認知度、重要度、社会的貢献度

#### 1-1. 下水道の役割「水質改善」の認知度

- 下水道事業(水質改善)の認知度をみる。全体では、「知っていた」との回答が多く、91%となった。
- 男女別にみると、男性の方が「知っていた」との回答が女性よりも7ポイント高くなった。
- 年代別にみると、全体的な傾向としては、年代が上がるにつれて「知っていた」との回答が多くなる。最も少ないのは20歳代84%、最も多いのは70歳以上で98%であった。
- 地域別にみると、23区で90%、多摩地区で93%となり、多摩地区が3ポイント高い。

Q5. 下水道には、家庭や工場などから出る汚れた水を、きれいにしてから川や海に放流するという役割があります。あなたは、このことをご存知でしたか？以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選び下さい(単一回答)。

図 1-1 「水質改善」の認知度

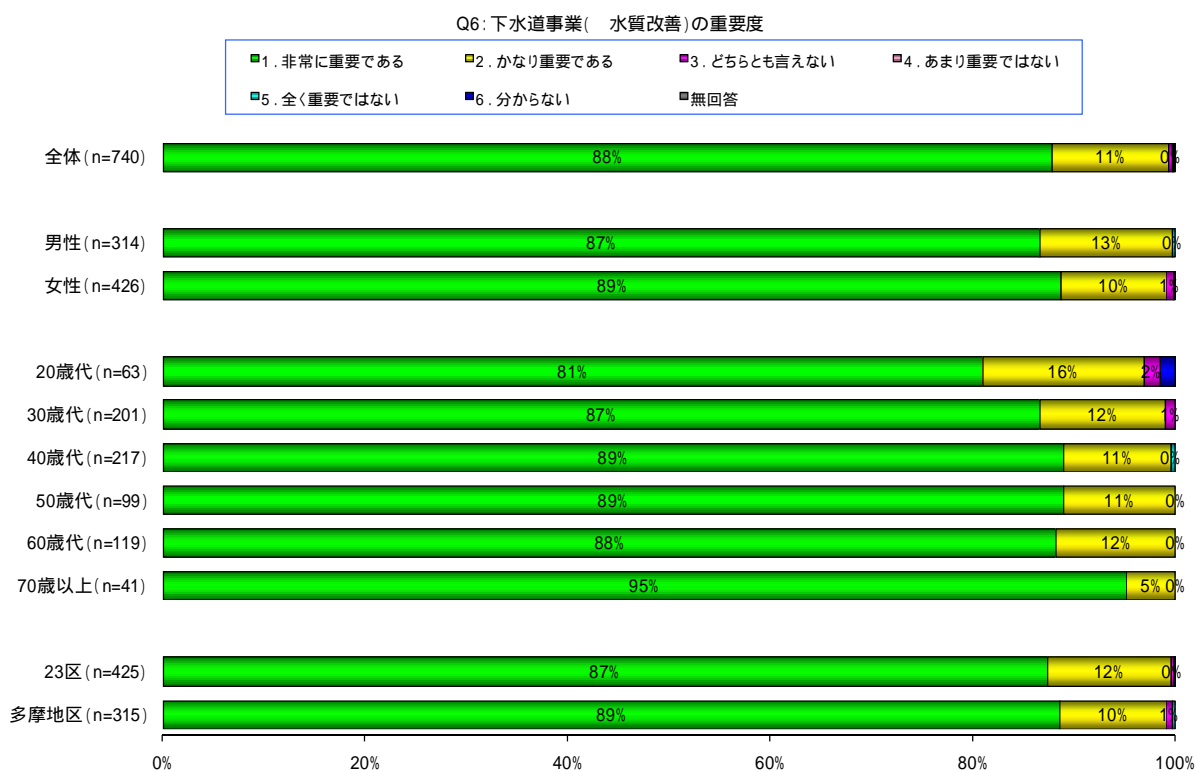


## 1 - 2 . 下水道の役割「水質改善」の重要度

- 下水道事業（水質改善）の重要度をみる。全体では「非常に重要である」との回答が多く、88%となった。
- 男女別にみると、女性の方が「非常に重要である」との回答が男性よりも2ポイント高くなった。
- 年代別にみると、30～60歳代は87～89%と似た傾向を示した。他の年代と異なる傾向を示したのは、20歳代は81%、70歳以上が95%であった。
- 地域別にみると、23区で87%、多摩地区で89%となり、多摩地区が2ポイント高い。

Q6. 上記 Q5 の役割について、あなたはどのくらい重要であると思われますか？以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選び下さい（単一回答）。

図 1-2 「水質改善」の重要度

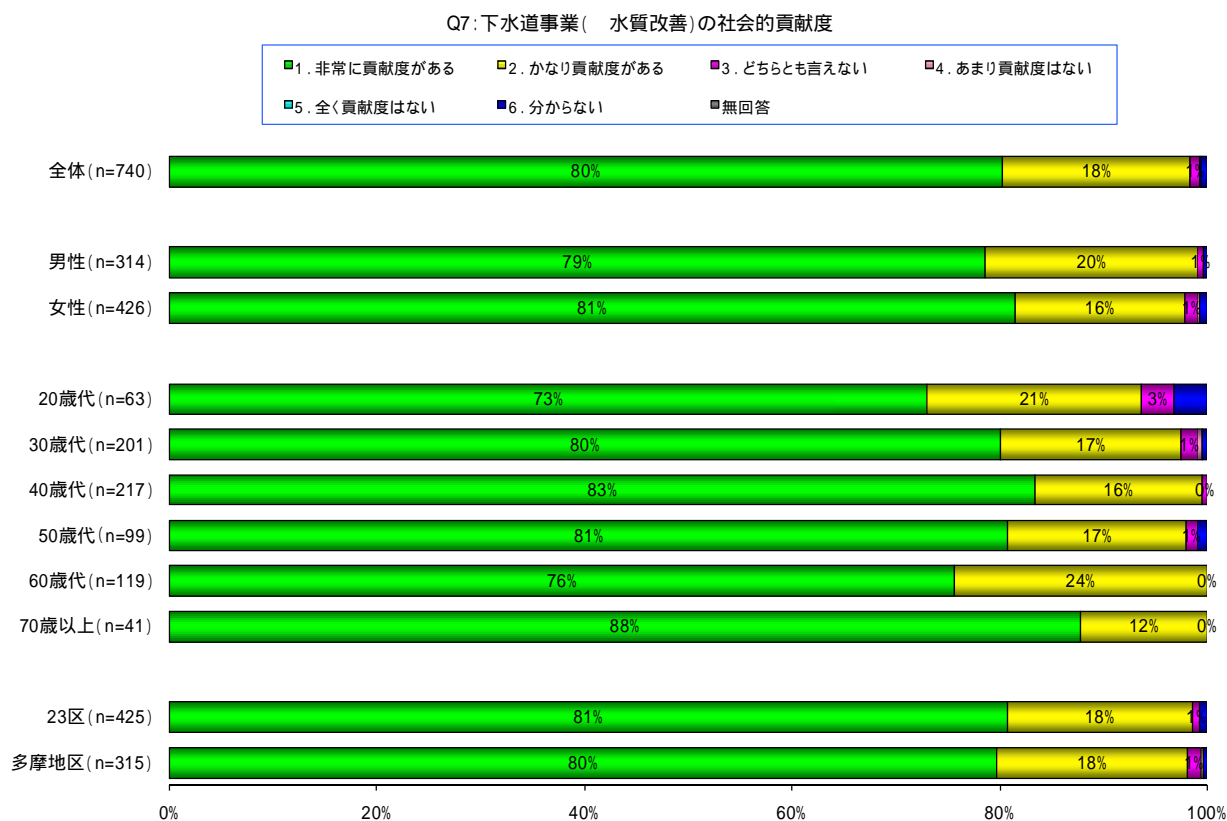


## 1 - 3 . 下水道の役割「水質改善」の社会的貢献度

- 下水道事業（水質改善）の社会的貢献度をみる。全体では「非常に貢献度がある」との回答が多く、80%となった。
- 男女別にみると、女性の方が「非常に貢献度がある」との回答が男性よりも2ポイント高くなった。
- 年代別にみると、70歳以上が88%と最も高くなり、次いで40歳代83%となった。
- 地域別にみると、23区81%と多摩地区80%となり、23区が1ポイント高くなった。

Q7. 上記 Q5 の役割は、我々の生活にとってどのくらい社会的な貢献度が高いと思われますか？以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選び下さい（単一回答）。

図 1-3 「水質改善」の社会的貢献度



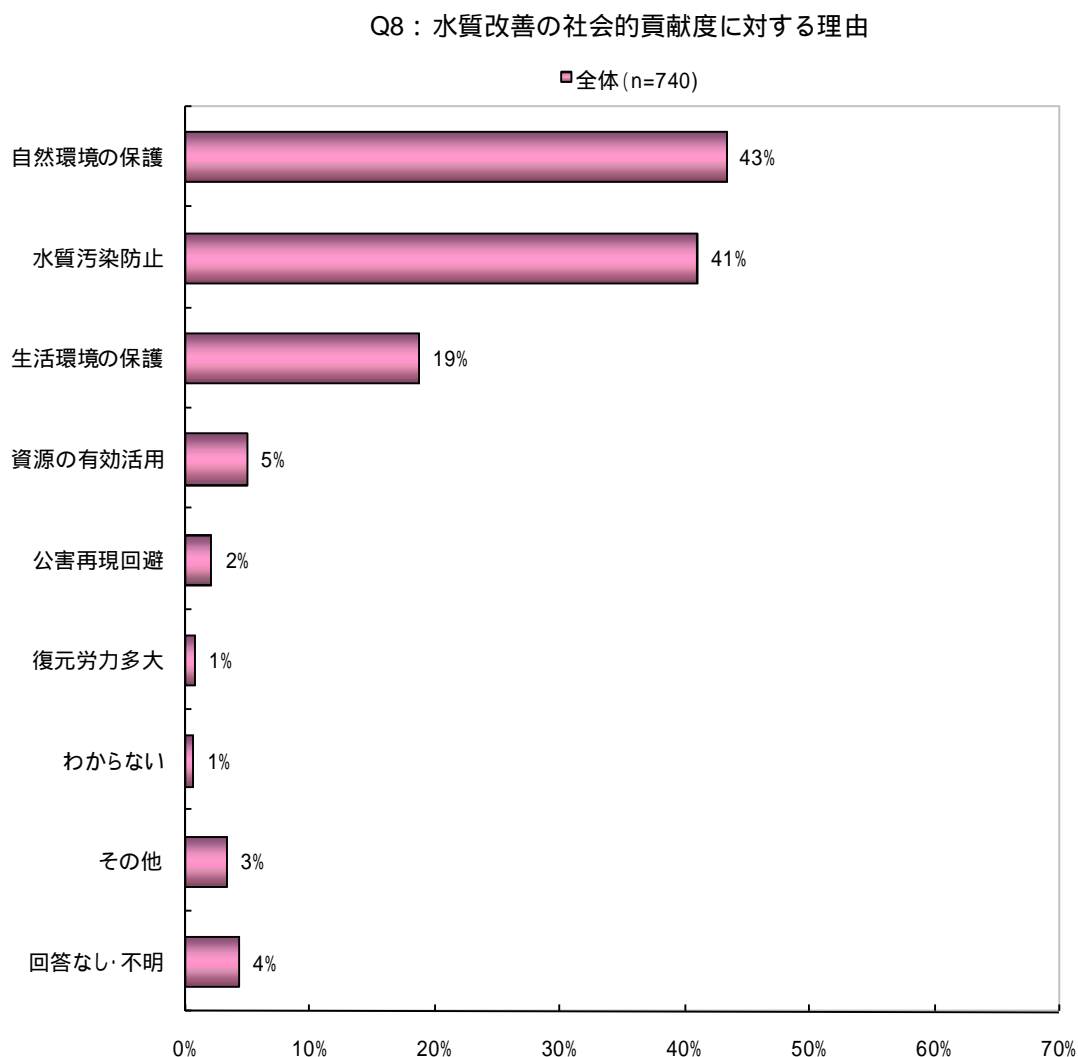


## 1 - 4 .「水質改善」の社会的貢献に対する理由

- 下水道事業が行う水質改善に対する社会的貢献として、「自然環境の保護」の貢献を認める意見が43%と最も多かった。
- 次いで、「水質汚染防止」(41%)「生活環境の保護」(19%)などが貢献を認める理由として挙げられた。

Q8. 上記 Q7 のように思われるのはなぜですか？その理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）。

図 1 - 4 「水質改善」の社会的貢献に対する理由



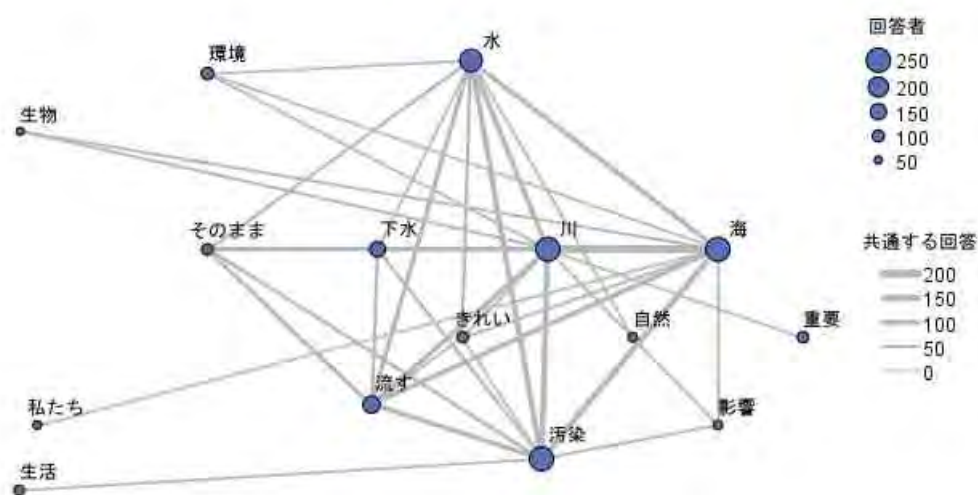
上記は、表記のキーワードに関連した内容を回答した回答者の割合（率）である。例えば1位の「自然環境の保護」は、総回答者数740人のうち、回答欄に文章で「自然環境の保護」に関連する内容を記載した321人（43%）の割合を示している（以降の自由回答は、すべて同様の方法にて集計している）。

## 1 - 5 .「水質改善」の社会的貢献に対する理由の傾向

- ネットワーク図を見ると、「川」や「海」といった「水」「環境」が「汚染」されることに対してコメントが集まっている様子が伺える。
- 「そのまま」、「下水」に「流す」こと、「川」や「海」などの「自然」への「影響」についての意見も比較的多く出ていることが想定される。

Q8. 上記 Q7 のように思われるのはなぜですか？その理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）。

図 1 - 5 「水質改善」の社会的貢献に対する理由のネットワーク図



上図は、水質改善が社会的に貢献している（あるいは貢献していない）と選んだ理由についての自由回答意見の文章を語句単位で切り分け、一定以上の回答者数が合ったものをノード（上図の印）として表示し、一定以上の共通する回答数があったものを紐帯（上図のグレーの線）として表示したネットワーク図である。

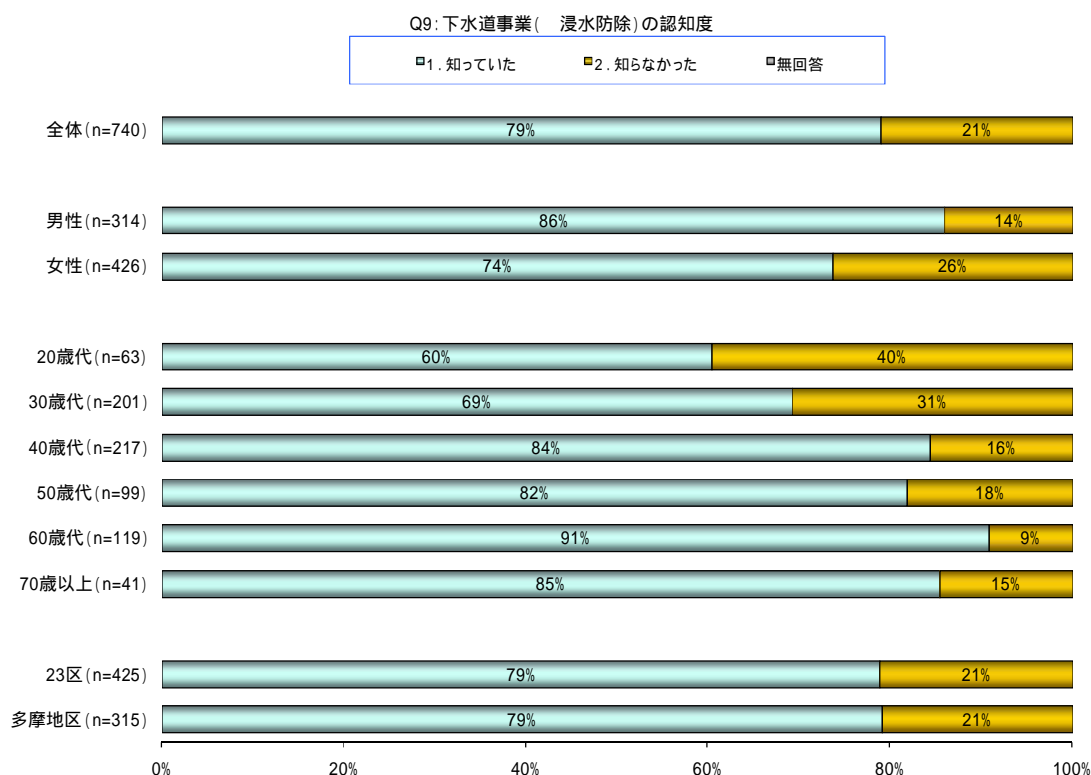
上図ではノードを 50 回答以上、紐帯を 30 回答以上のもののみ表示している。

## 1 - 6 . 下水道の役割「浸水防除」の認知度

- 下水道事業( 浸水防除 )の認知度をみる。全体では、「知っていた」との回答が多く、79%となった。
- 男女別にみると、男性の方が「知っている」との回答が女性よりも 12 ポイント高くなった。
- 年代別にみると、最も高いのは 60 歳代で 91%となった。次いで 70 歳以上の 85%であった。
- 地域別にみると、23 区、多摩地区とも 79%となった。

Q9. 下水道には、雨水を下水道管を通して川や海に流し、大雨による浸水からまちを守るという役割があります。あなたは、このことをご存知でしたか？以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選び下さい（単一回答）。

図 1 - 6 「浸水防除」の認知度

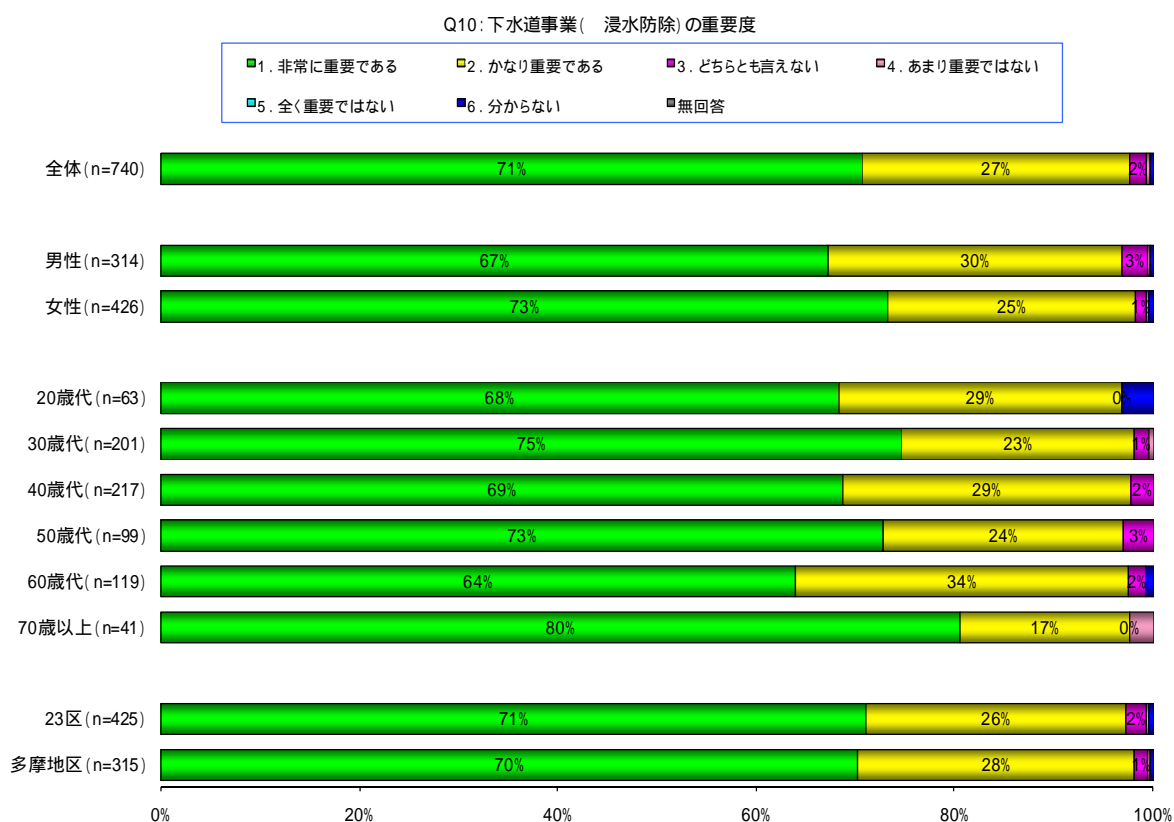


## 1 - 7 . 下水道の役割「浸水防除」の重要度

- 下水道事業（浸水防除）の重要度をみる。全体では「非常に重要である」との回答が多く、71%となった。
- 男女別にみると、女性の方が「非常に重要である」との回答が男性よりも6ポイント高くなった。
- 年代別にみると、最も高くなったのは70歳以上が80%であり、次いで30歳代75%であった。
- 地域別にみると、23区で71%、多摩地区で70%となり、23区が1ポイント高い。

Q10. 上記 Q9 の役割について、あなたは、どのくらい重要であると思われますか？以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選び下さい（単一回答）。

図 1 - 7 「浸水防除」に対する重要度

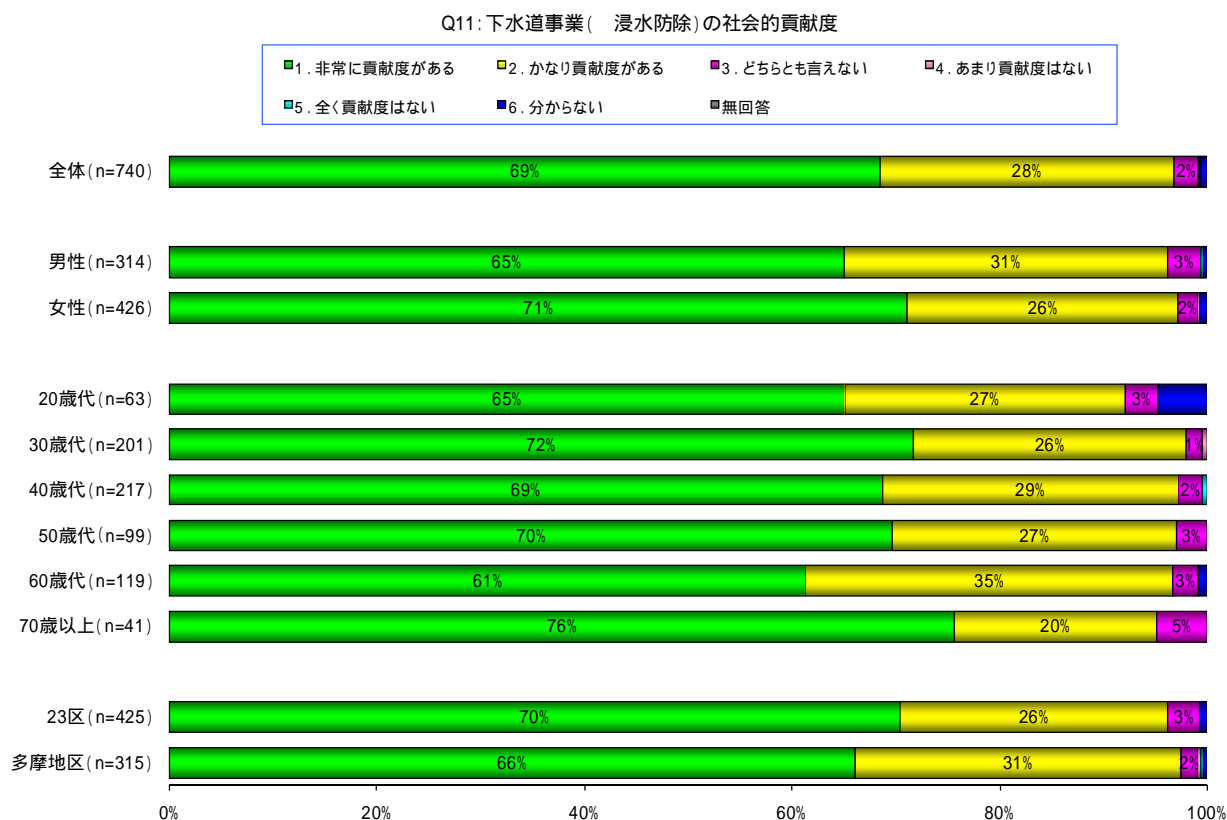


## 1 - 8 . 下水道の役割「浸水防除」の社会的貢献度

- 下水道事業（ 浸水防除 ）の社会的貢献度をみる、全体では「非常に貢献度がある」との回答が多く、69%となった。
- 男女別にみると、女性の方が「非常に貢献度がある」との回答が男性よりも6ポイント高くなった。
- 年代別にみると、70歳以上が76%と最も高くなり、次いで30～50歳代が69～72%と高くなった。
- 地域別にみると、23区70%と多摩地区66%となり、23区が4ポイント高くなった。

Q11. 上記 Q9 の役割は、我々の生活にとってどのくらい社会的な貢献度が高いと思われますか？以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選び下さい（単一回答）。

図 1 - 8 「浸水防除」に対する社会的貢献度

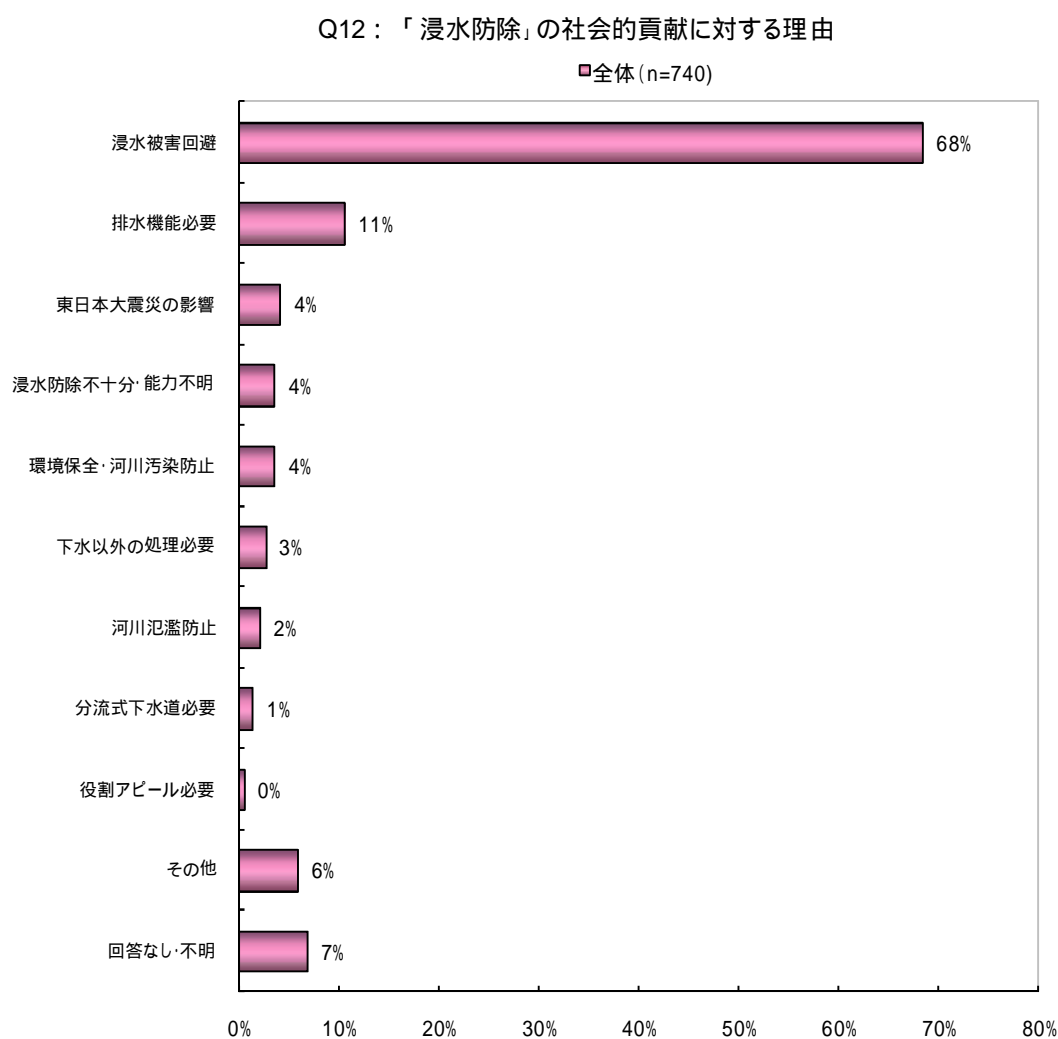


## 1 - 9 .「浸水防除」の社会的貢献に対する理由

- 下水道事業が行う「浸水防除」に対する社会的貢献として、「浸水被害回避」の貢献を認める意見が68%と最も多かった。
- 次いで、「排水機能必要」(11%)が貢献を認める理由として挙げられた。
- 「東日本大震災の影響」(4%)から「浸水防除」の社会的貢献を知ったという意見がみられた。

Q12. 上記 Q11 のように思われるのはなぜですか？その理由についてご自由にお答え下さい  
(自由回答)。

図 1 - 9 「浸水防除」に対する社会的貢献の理由



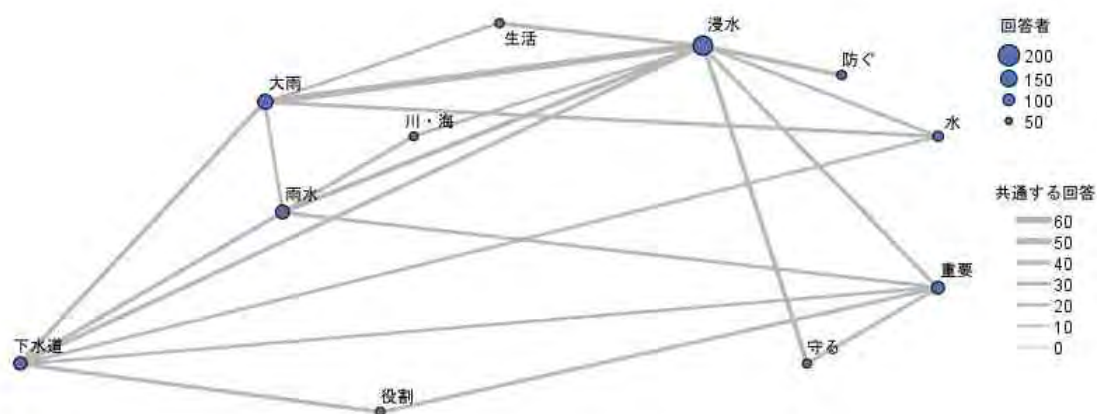
上記は、表記のキーワードに関連する内容を記載した回答者の割合（率）である。

## 1 - 1 0 .「浸水防除」の社会的貢献に対する理由の傾向

- ネットワーク図を見ると、「大雨」「雨水」「浸水」を「防ぐ」ことや、「浸水」から「守る」ことが「重要」とであるという意見が多く集まっているものと想定される。
- 「下水道」の「役割」が「重要」とであるというような意見も出ている。

Q12. 上記 Q11 のように思われるのはなぜですか？その理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）。

図 1 - 1 0 「浸水防除」の社会的貢献に対する理由のネットワーク図



上図は、浸水防除が社会的に貢献している（あるいは貢献していない）と選んだ理由についての自由回答意見の文章を語句単位で切り分け、一定以上の回答者数が合ったものをノード（上図の印）として表示し、一定以上の共通する回答数があったものを紐帯（上図のグレーの線）として表示したネットワーク図である。

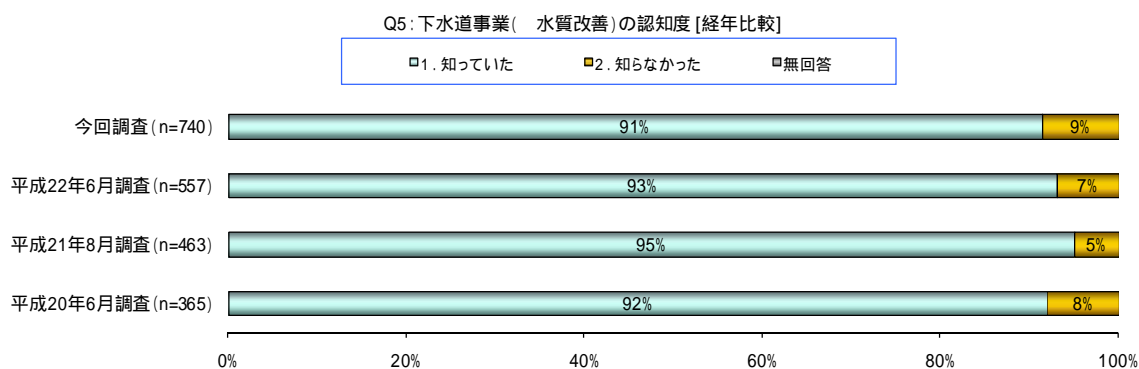
上図ではノードを 50 回答以上、紐帯を 20 回答以上のもののみ表示している。

## 1 - 1 1 . 下水道の役割の認知度〔経年比較〕

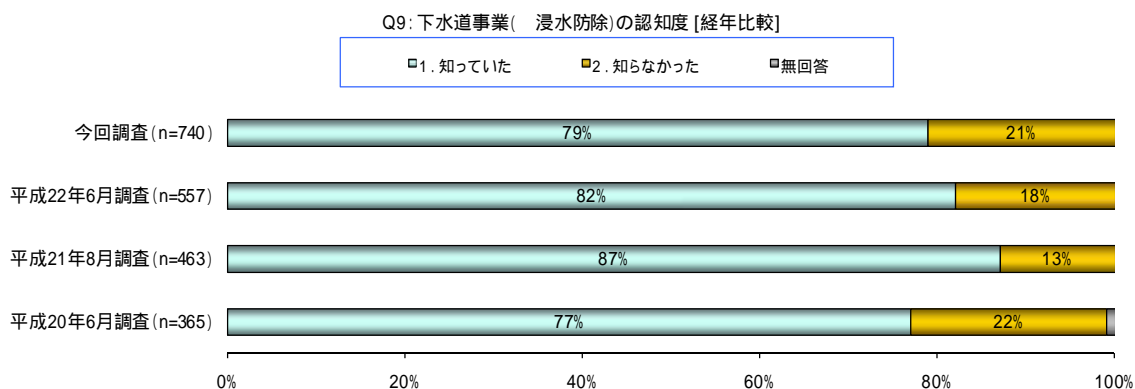
- 下水道事業（水質改善）の認知度の経年変化をみると、「知っていた」との回答は91%であり、平成20年度調査と比較して、1ポイント低下した。
- 下水道事業（浸水防除）の認知度の経年変化をみると、「知っていた」との回答は79%であり、平成20年度調査と比較して、2ポイント上昇した。

図 1 - 1 1 下水道の役割の認知度〔経年比較〕

### 水質改善



### 浸水防除





## 2．新たな事業活動の認知度と社会的貢献度評価

### 2 - 1．新たな事業活動の認知度

- 新たな事業活動の認知度をみると、「水再生センターを避難場所や上部を公園として利用」59%、「きれいにした再生水をビルのトイレ用水や車両洗浄に利用」56%と他の事業活動よりも高くなった。
- 男女別にみると、各事業とも男性の方が「知っていた」と回答する傾向が高くなった。
- 個別事業でみると、男女ともに、「水再生センターを避難場所や上部を公園として利用」、「きれいにした再生水をビルのトイレ用水や車両洗浄に利用」が他の事業活動よりも高くなった。
- 地域別でも同様の傾向を示した。
- 年代別にみると、20 歳代を除き、全ての年代において、「水再生センターを避難場所や上部を公園として利用」、「きれいにした再生水をビルのトイレ用水や車両洗浄に利用」が他の事業活動よりも高くなった。20 歳代の場合、回答が多くなった順に「きれいにした再生水をビルのトイレ用水や車両洗浄に利用」「温室効果ガスの排出削減」となった。なお、20 歳代は他の年代と比較して、新たな事業活動を「知っている」と回答する割合が低い。

Q13. 東京都下水道局が行っている新たな活動や取組についてうかがいます。以下のそれぞれの項目について、あなたはこのことをご存知でしたか？該当する選択肢を一つだけお選び下さい（単一回答）。

図 2-1 新たな事業活動の認知度

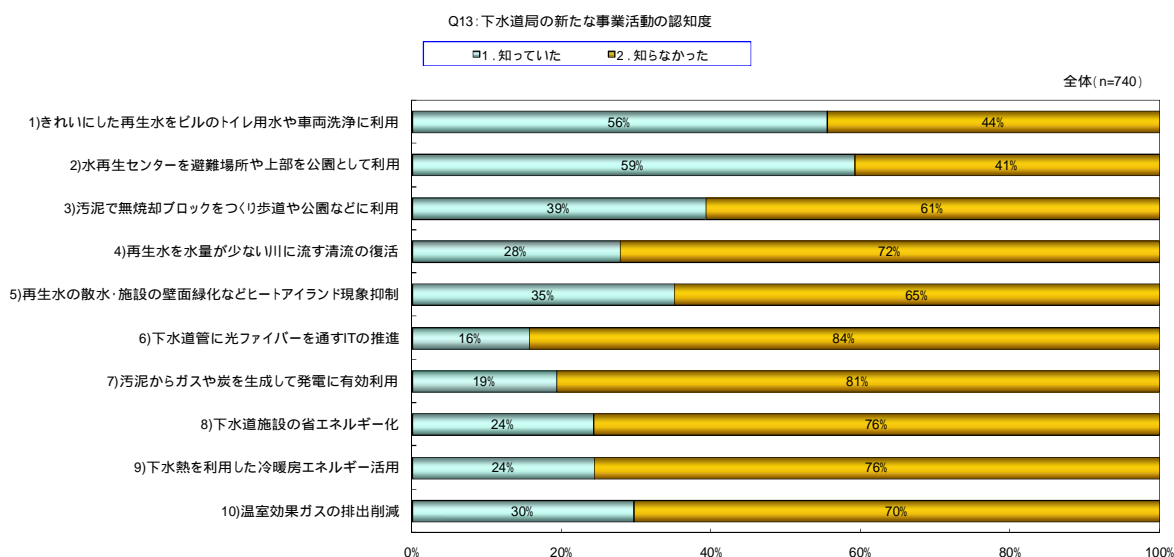
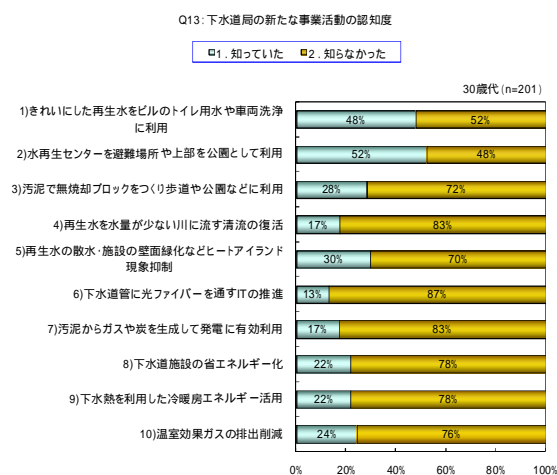
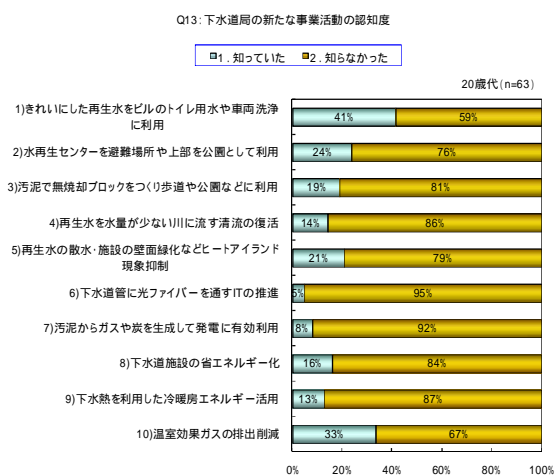
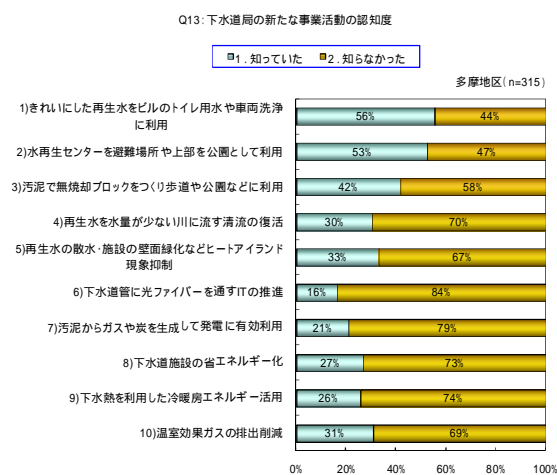
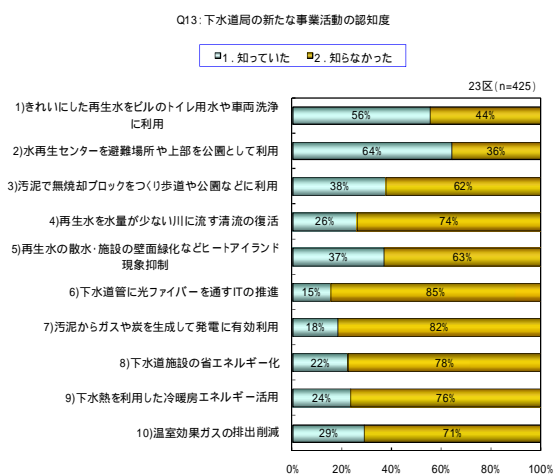
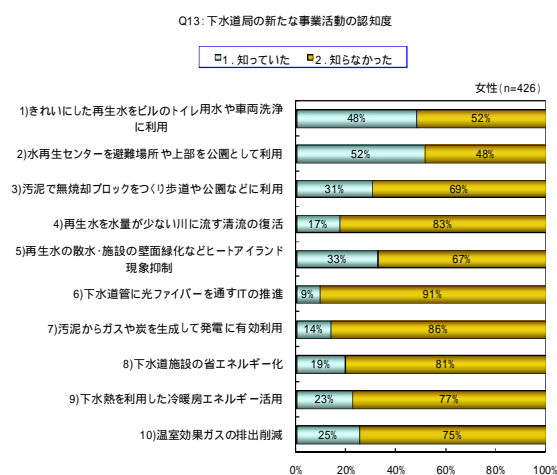
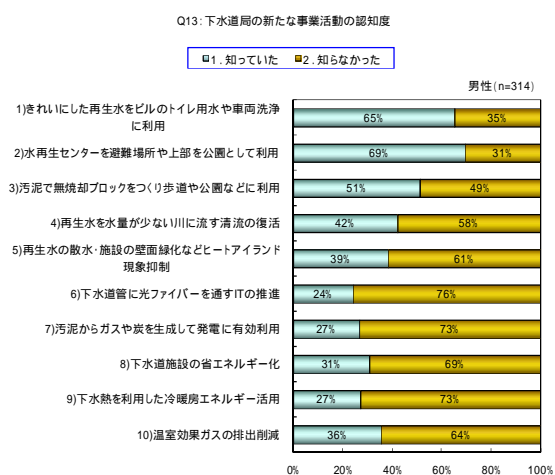
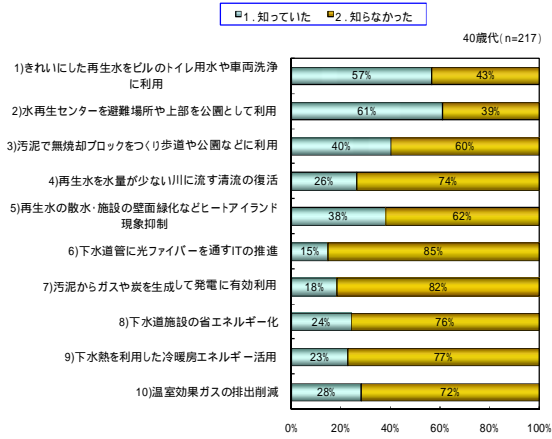


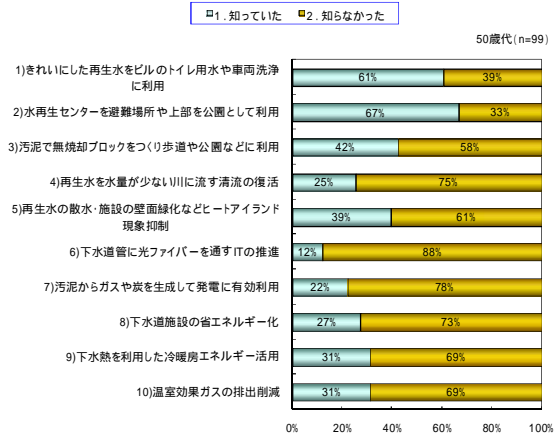
図 2-2 新たな事業活動の認知度〔性別・地域別・年代別〕



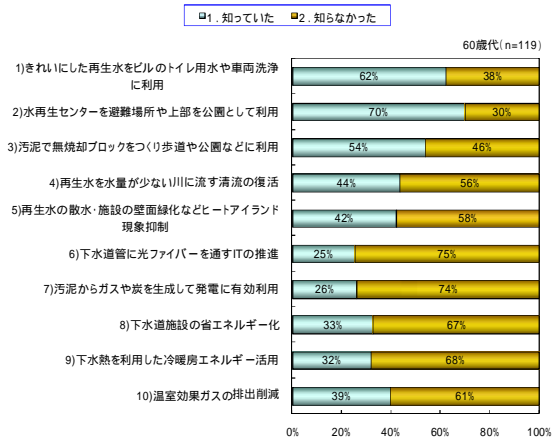
Q13: 下水道局の新たな事業活動の認知度



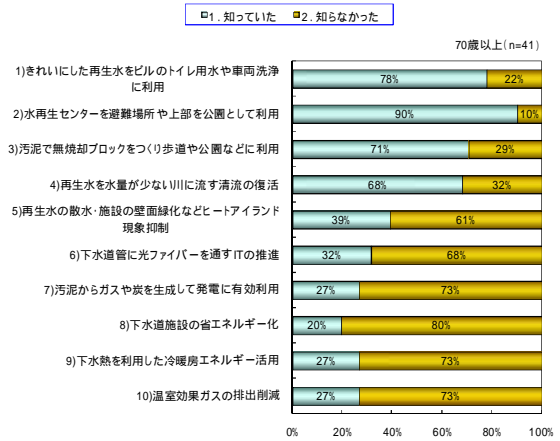
Q13: 下水道局の新たな事業活動の認知度



Q13: 下水道局の新たな事業活動の認知度



Q13: 下水道局の新たな事業活動の認知度

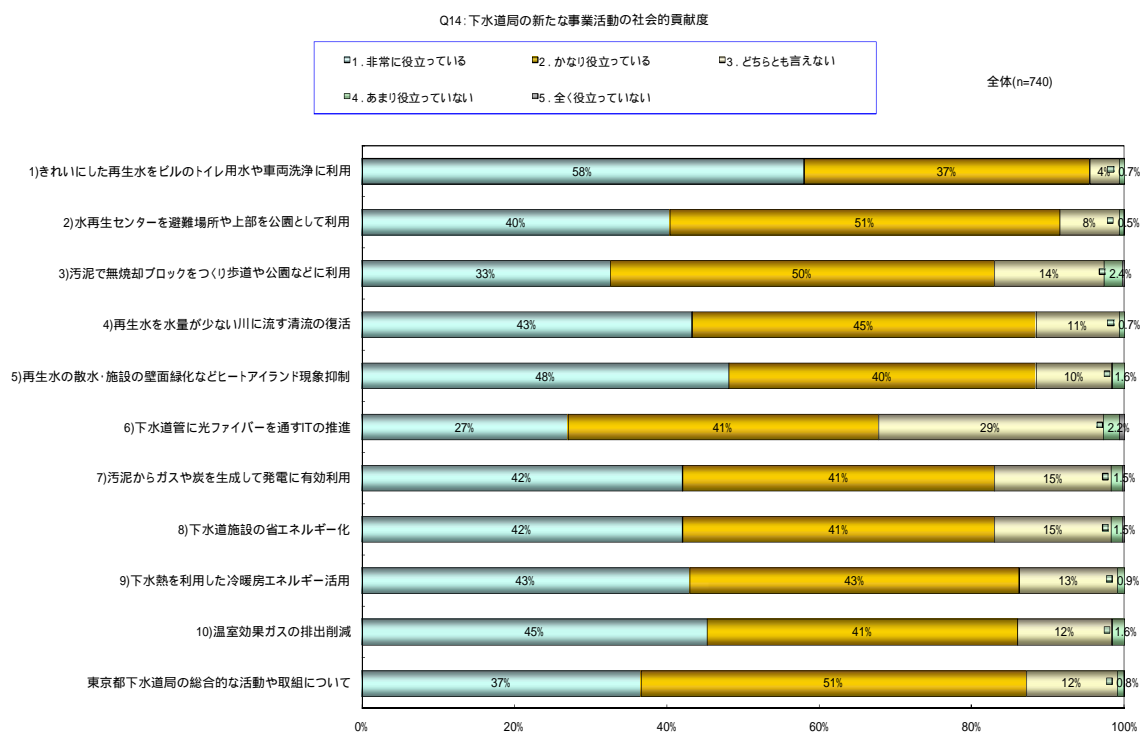


## 2 - 2 . 新たな事業活動の社会的貢献度

- 各事業活動をみると、全体では60%以上が「役立っている（非常に役立っている＋かなり役立っている）」と評価している。
- 「きれいにした再生水をビルのトイレ用水や車両洗浄に利用」は、非常に役立っている」との回答が58%と多い。次いで「再生水の散水・施設の壁面緑化などヒートアイランド現象抑制」48%、「温室効果ガスの排出削減」45%と多い。

Q14. これら東京都下水道局が行っている新たな活動や取組について、以下のそれぞれの項目について、あなたはどの程度「社会的に役立っている」と思われますか？該当する選択肢を一つだけお選び下さい（単一回答）。

図 2-3 新たな事業活動の社会的貢献度

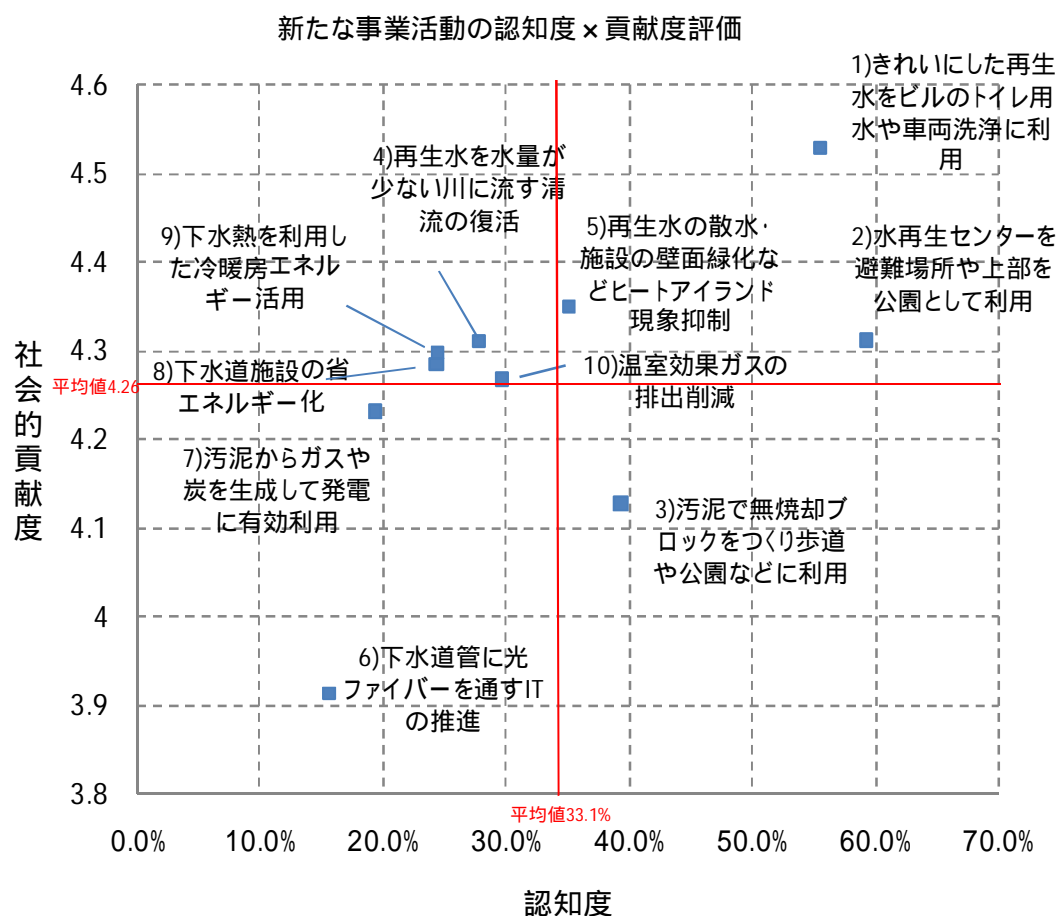


## 2 - 2 . 新たな事業活動の社会的貢献度（認知度 × 貢献度評価）

- 認知度が高く、社会的な貢献度も高い事業活動は、「1)きれいにした再生水をビルのトイレ用水や車両洗浄に利用」「2)水再生センターを避難場所や上部を公園として利用」である。
- 認知度は低いものの、社会的貢献度は高いと評価されている事業活動は、「4)再生水を水量が少ない川に流す清流の復活」「9)下水熱を利用した冷暖房エネルギー活用」「8)下水道施設の省エネルギー化」「10)温室効果ガスの排出削減」となった。

Q14. これら東京都下水道局が行っている新たな活動や取組について、以下のそれぞれの項目について、あなたはどの程度「社会的に役立っている」と思われますか？該当する選択肢を一つだけお選び下さい（単一回答）。

図 2-4 新たな事業活動の認知度 × 貢献度評価



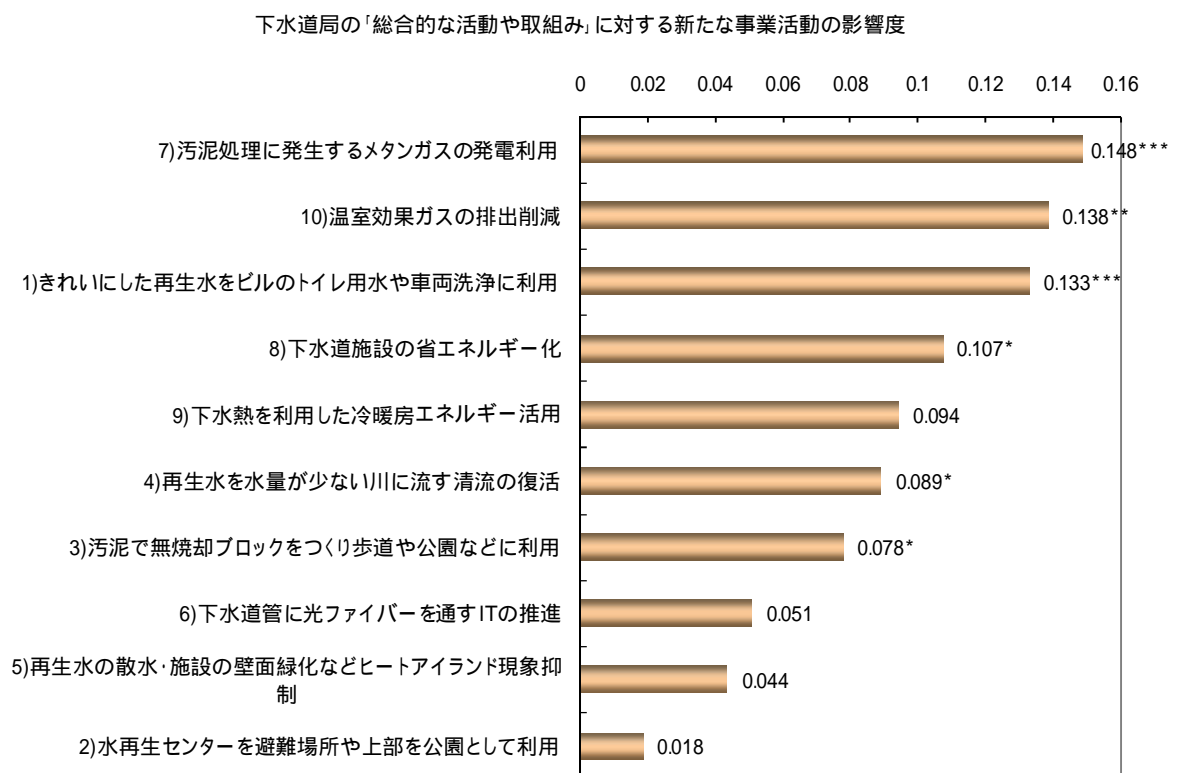
上の図は「東京都下水道局が行っている新たな活動や取組(10項目)」について、それぞれの項目の「社会的貢献度(Q14の単純平均値)」を縦軸、「認知度(Q13の認知率)」を横軸にとった交点を示している。社会的貢献度については5段階(5:非常に役立っている 4:かなり役立っている 3:どちらとも言えない 2:あまり役立っていない 1:全く役立っていない)での評価であり、評価の幅は3.9~4.5となるため、総じて評価が高い中での相対的な評価となっている。

## 2 - 2 . 新たな事業活動の社会的貢献度（総合評価への影響度）

- 東京都下水道局の総合的な活動・取組みへの評価に影響を与えるのは、「汚泥処理に発生するメタンガスの発電利用」についての社会的貢献度への評価が最も大きい。次いで、「温室効果ガスの排出削減」、「きれいにした再生水をビルのトイレ用水や車両洗浄に利用」、そして「下水道施設の省エネルギー化」への評価が続く。

Q14. これら東京都下水道局が行っている新たな活動や取組について、以下のそれぞれの項目について、あなたはどの程度「社会的に役立っている」と思われますか？該当する選択肢を一つだけお選び下さい（単一回答）。

図 2-5 総合的な活動や取組みへの評価に影響する新たな事業活動



\*=5%有意、\*\*=1%有意、\*\*\*=0.1%有意

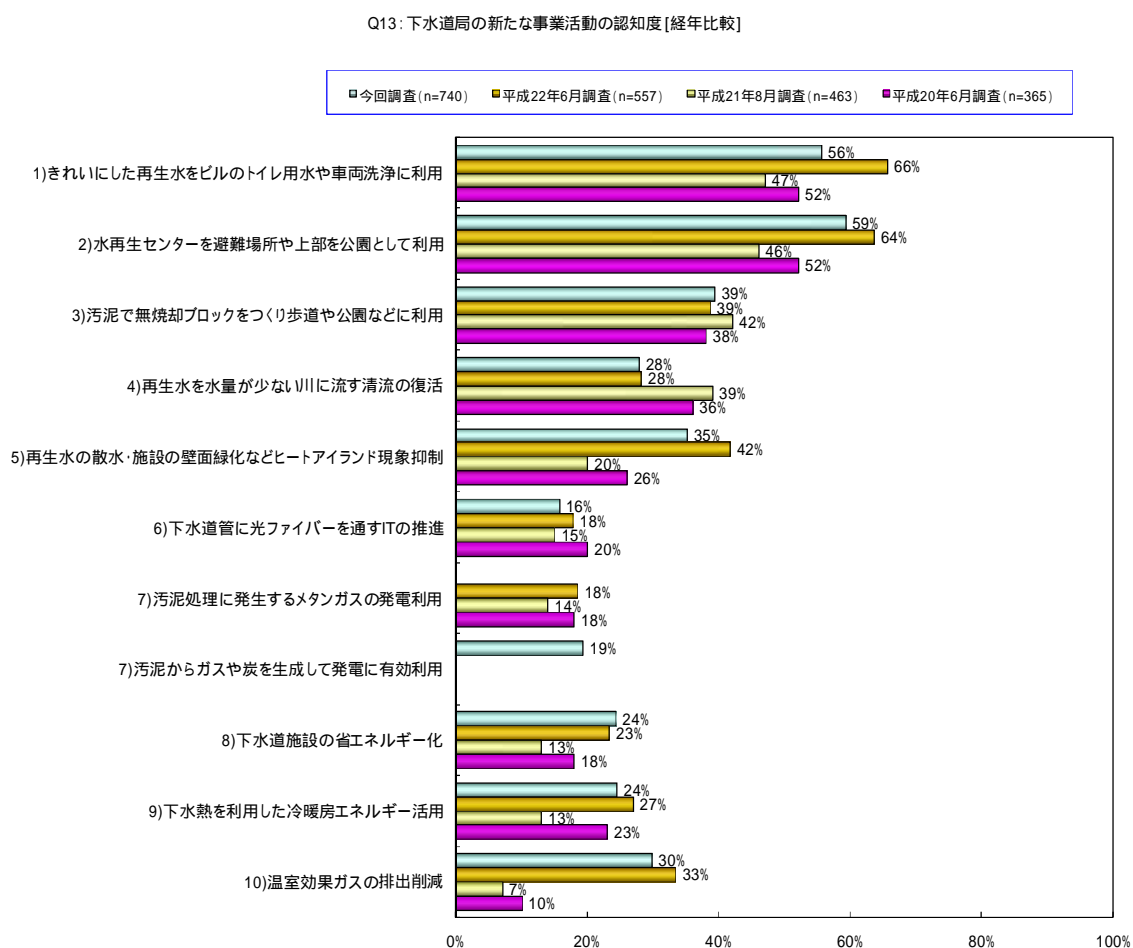
上記は「東京都下水道局の総合的な活動や取組み」を総合的な評価、1)から 10)までの新たな事業活動の社会的貢献度を説明変数として設定し、総合評価に対して、新たな個別の事業活動の社会貢献度への評価が与える影響度の強さについて、「重回帰分析」という統計的な手法を用いて明らかにしたものである。

図中の数値は、総合評価に対する影響の大きさを示す値である「標準偏回帰係数」である。この値が大きければ大きいほど、影響が強いことを示す。数値の右肩に付いている\*マークは、仮説として「個別の事業活動の貢献度が総合的な活動や取組みに影響がない」ということを設定した場合、実際に観察されたデータが仮説と合っていないということが統計的に検証されることで付与される。つまりこのマークの付与は、「個別の事業活動の貢献度が、総合的な活動や取組みへの評価に影響がある」という傾向を示している。上の例では、「7)汚泥処理に発生するメタンガスの発電利用」の社会的貢献度評価は、「東京都下水道局の総合的な活動・取組み」への評価に「最も影響がある」と解釈される。

## 2 - 3 . 東京都下水道局の新たな事業活動の認知度〔経年比較〕

- 今年度調査と、3 年前の平成 20 年度調査と比較して認知度が上がった項目をみる。認知度の差が大きくなった順に「温室効果ガスの排出削減」(20 ポイント上昇) 次に「再生水の散水・施設の壁面緑化などヒートアイランド現象抑制」(9 ポイント上昇) となった。
- 逆に認知度が低下した項目は 2 つあり、「再生水を水量が少ない川に流す清流の復活」は 8 ポイント、「下水道管に光ファイバーを通す IT の推進」は 4 ポイント低下した。

図 2 - 6 東京都下水道局の新たな事業活動の認知度〔経年比較〕

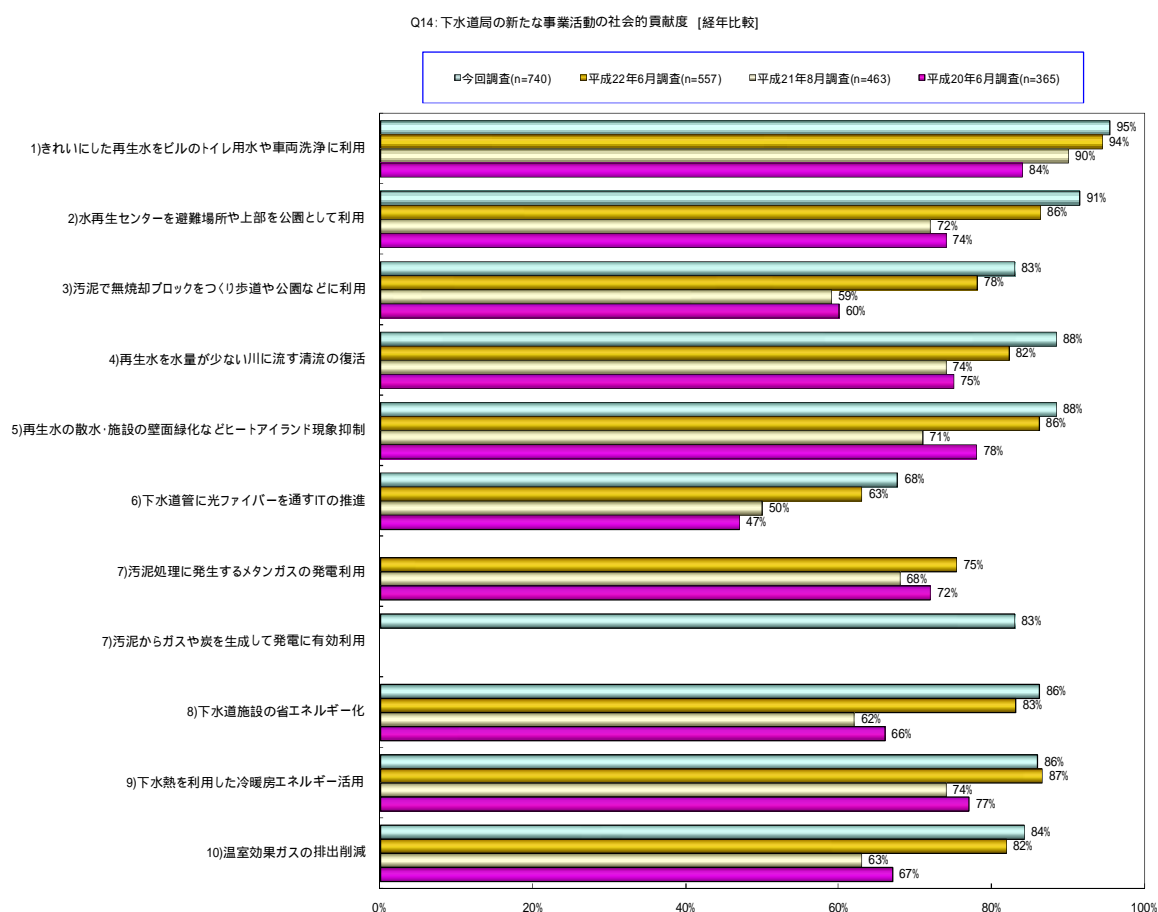


選択肢 7)は今回調査より「汚泥からガスや炭を生成して発電に有効利用」に変更

## 2 - 3 . 東京都下水道局の新たな事業活動の貢献度〔経年比較〕

- 今年度調査と、3 年前の平成 20 年度調査と比較して認知度が上がった項目をみる。最も差が大きくなったのは、「汚泥で無焼却ブロックをつくり歩道や公園などに利用」であり、23 ポイントの差が生じた。以降、「下水道管に光ファイバーを通す IT の推進」21 ポイント差、「下水道施設の省エネルギー化」20 ポイント差、「水再生センターを避難場所や上部を公園として利用」「水再生センターを避難場所や上部を公園として利用」「温室効果ガスの排出削減」17 ポイント差と続く。

図 2 - 7 東京都下水道局の新たな事業活動の貢献度〔経年比較〕



選択肢 7)は今回調査より「汚泥からガスや炭を生成して発電に有効利用」に変更



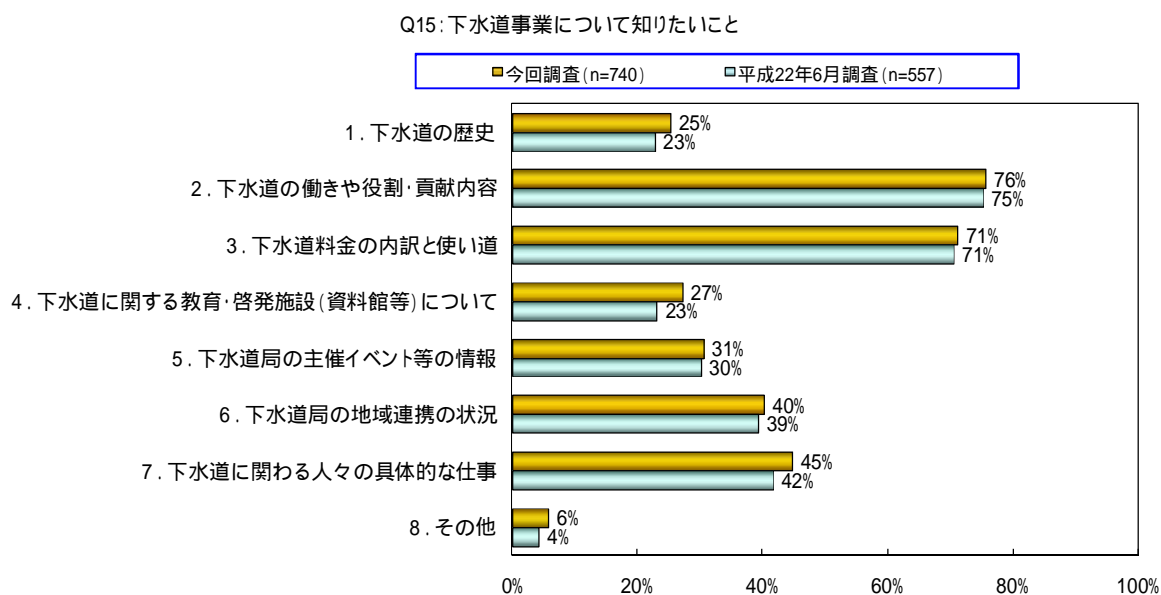
### 3. 下水道に関するニーズ

#### 3-1. 下水道に関して知りたいと思うこと〔全体〕

- 下水道事業について知りたいことをみる。全体では「下水道の働きや役割・貢献内容」との回答が76%と最も多い。次いで「下水道料金の内訳と使い道」71%となった。上記2つよりは少なくなるが、「下水道に関わる人々の具体的な仕事」も45%と多い。
- 平成22年度調査と比べると、全ての項目で高くなった。

Q15. 下水道事業について、あなたが知りたいと思うことはどのようなことですか？以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお答え下さい（複数回答）。

図 3-1 下水道に関して知りたいと思うこと〔全体〕



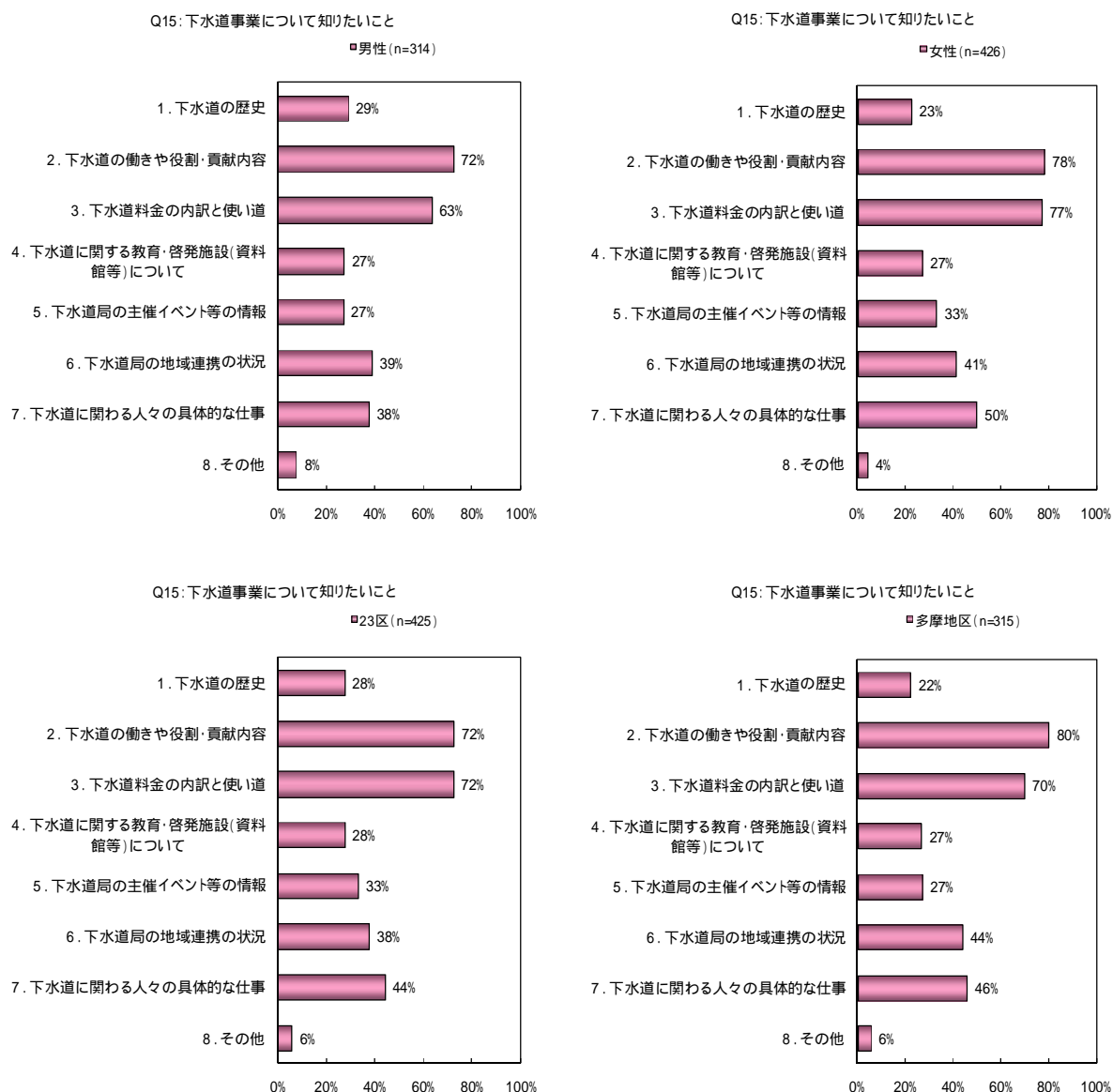
\*\*\*\*\* 【その他の回答】（今回調査） \*\*\*\*\*

- |                            |                                   |
|----------------------------|-----------------------------------|
| 1. 下水道事業に携わる人              | 技術                                |
| 2. 下水施設の場所                 | 17. エネルギーの活用                      |
| 3. 地下の下水道の様子               | 18. 再生水のペットボトル化。持ち帰って魚の飼育等をやってみたい |
| 4. 都市部の下水道網の実態             | 19. 下水道の安全対策                      |
| 5. 外国の下水道施設との比較            | 20. 災害対策の取り組み                     |
| 6. 将来の下水道、計画               | 21. 地域によるサービスや料金の格差について           |
| 7. 下水道工事の計画                | 22. 下水管修理の補助や支援策                  |
| 8. 下水道のメンテナンスの大変さ          | 23. 下水道の地域貢献度                     |
| 9. 家庭排水と雨水の下水道管の違い         | 24. 油・断・快適！等、都民への啓蒙活動について         |
| 10. 下水の汚染度                 | 25. 合流式下水道の改善                     |
| 11. 処理場にて発生する汚泥の行方         |                                   |
| 12. 下水道の放射能の情報             |                                   |
| 13. 下水処理の仕組み、最新技術          |                                   |
| 14. 現状の処理方法のデメリット、今後の改善策など |                                   |
| 15. 下水道処理と使用電力の関係          |                                   |
| 16. リンなどの資源を取り出し利用する       |                                   |

### 3 - 1 . 下水道に関して知りたいと思うこと〔性別・地域別〕

- 男女別にみると、「下水道の歴史」「その他」を除いた全ての項目において女性の方が多く回答している。
- 地域別にみると、最も回答が多い「下水道の働きや役割・貢献内容」は多摩地区の方が知りたいとの回答が8ポイント高くなった。

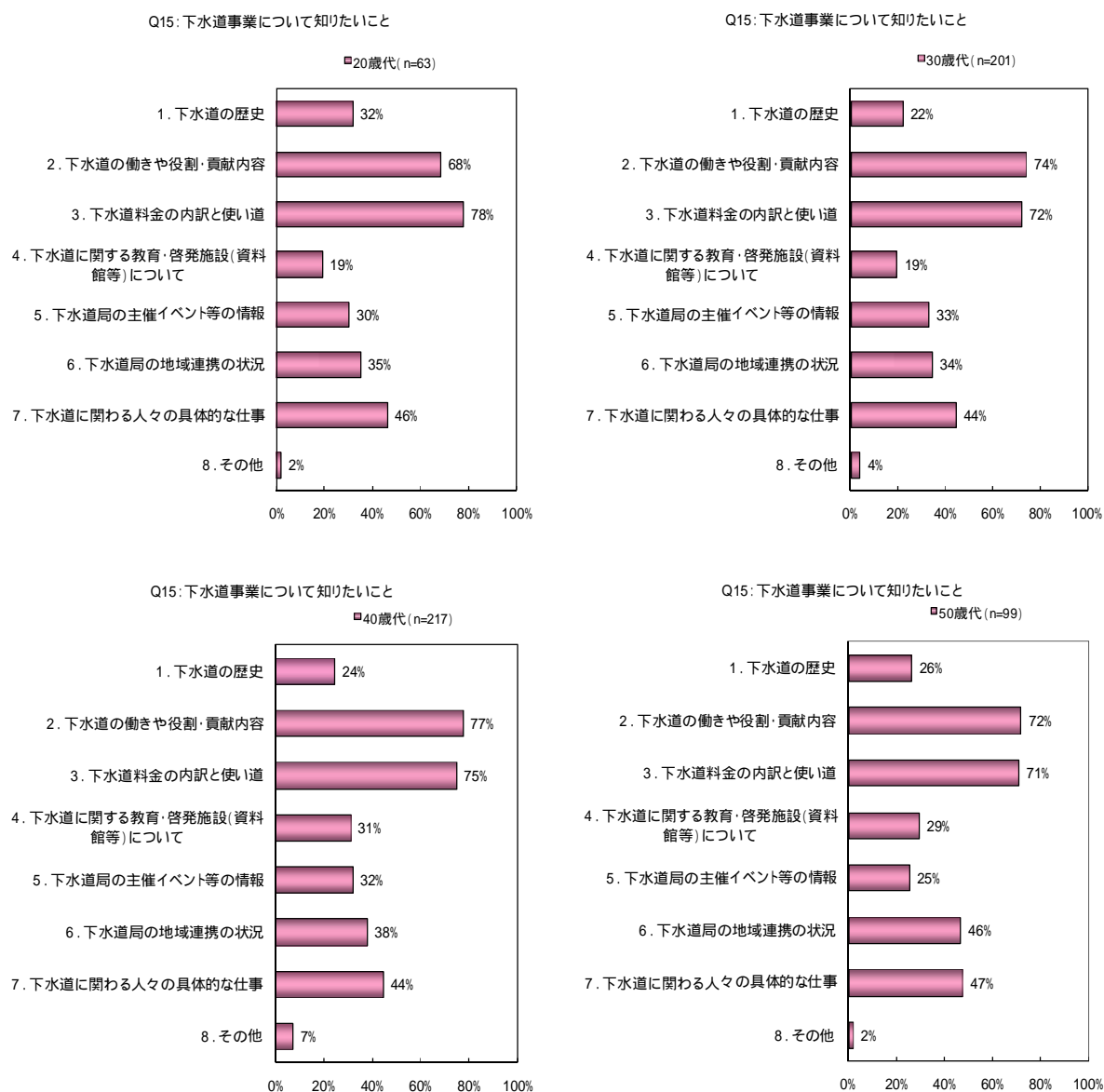
図 3-2 下水道に関して知りたいと思うこと〔性別・地域別〕



### 3 - 1 . 下水道に関して知りたいと思うこと〔年代別〕

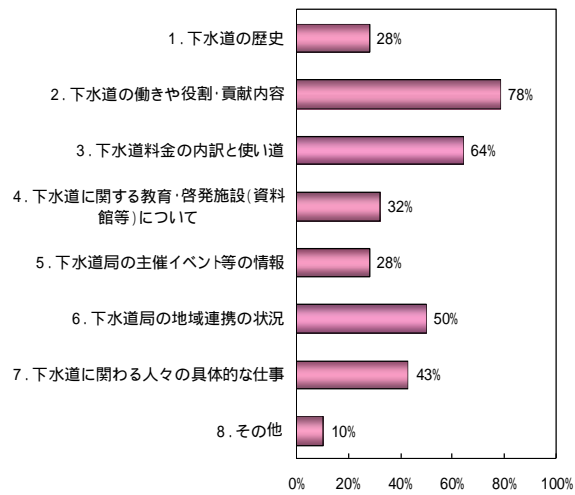
- 年代別に最も多くなった項目をみると、20 歳代では「下水道料金の内訳と使い道」であり、30 歳代～70 歳以上では「下水道の働きや役割・貢献内容」となった。
- 70 歳以上では「下水道の働きや役割・貢献内容」が 88%となり、特に知りたいと思う人の割合が多い。

図 3-3 下水道に関して知りたいと思うこと〔年代別〕



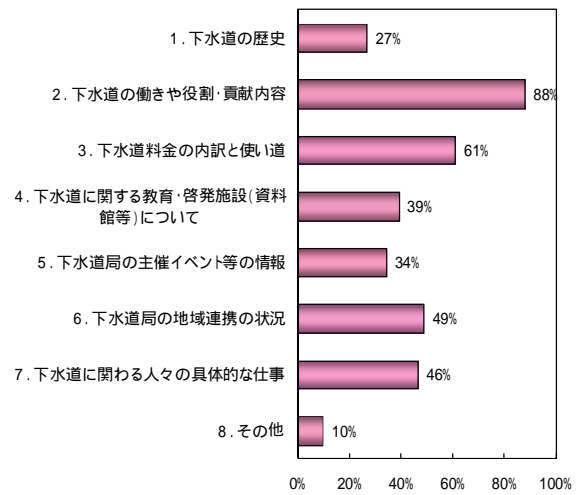
Q15: 下水道事業について知りたいこと

60歳代 (n=119)



Q15: 下水道事業について知りたいこと

70歳以上 (n=41)



## 4 . 下水道の課題

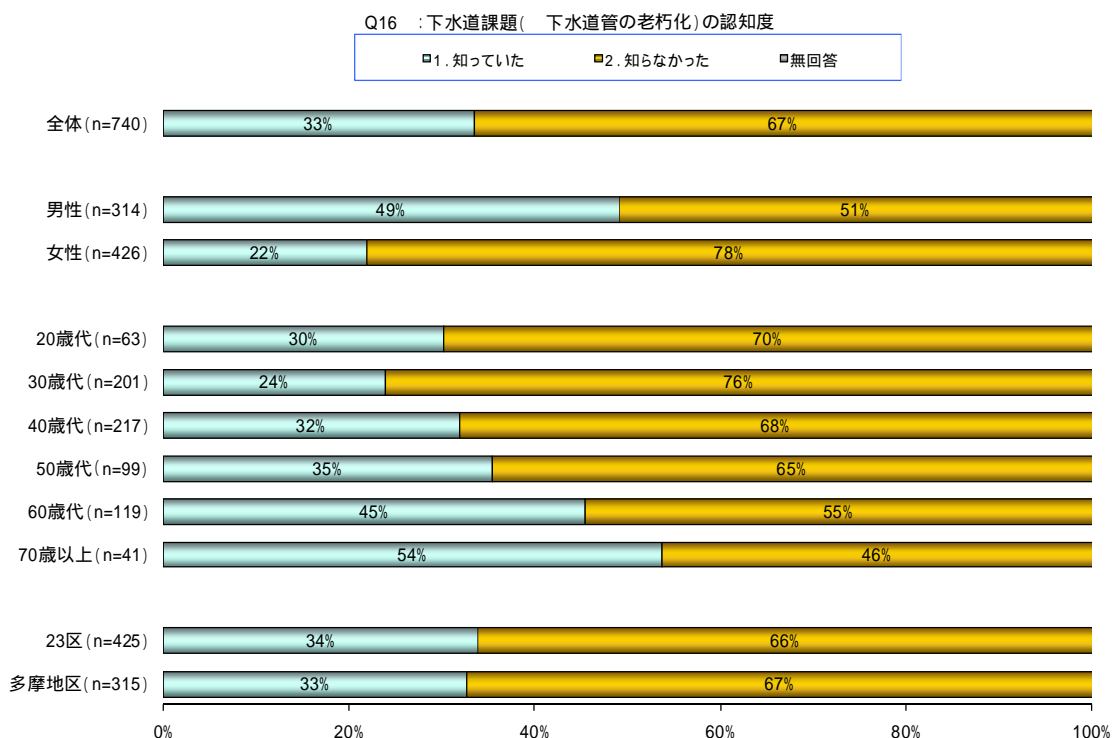
### 4 - 1 . 下水道の課題 「下水道管の老朽化」(認知度)

- 下水道の課題(下水道管の老朽化)の認知度についてみる。全体では「知っていた」との回答は33%であった。
- 男女別にみると、男性の方が「知っていた」との回答が多く、女性よりも27ポイント高くなった。
- 年代別にみると、30歳代～70歳以上では、年代が上がるにつれて「知っていた」との回答が多くなる。なお、20歳代は30%となり、40歳代の32%とほぼ同じ水準となった。
- 地域別にみると23区が多摩地区よりも1ポイント高くなった。

Q16. 下水道管は、耐用年数が50年とされており、古い下水道管は道路の陥没事故につながるため、取替えや補修が必要です。東京都の下水道は整備を始めてから既に100年以上が経過し、現在でも一部の下水道管は耐用年数を越えています。また、高度経済成長期以降(1960年代以降)に整備した大量の下水道管が間もなく耐用年数に達しようとしています。

あなたは、このことをご存知でしたか？以下の中から該当する選択肢を一つだけお答え下さい(単一回答)。

図 4-1 「下水道管の老朽化」の認知度



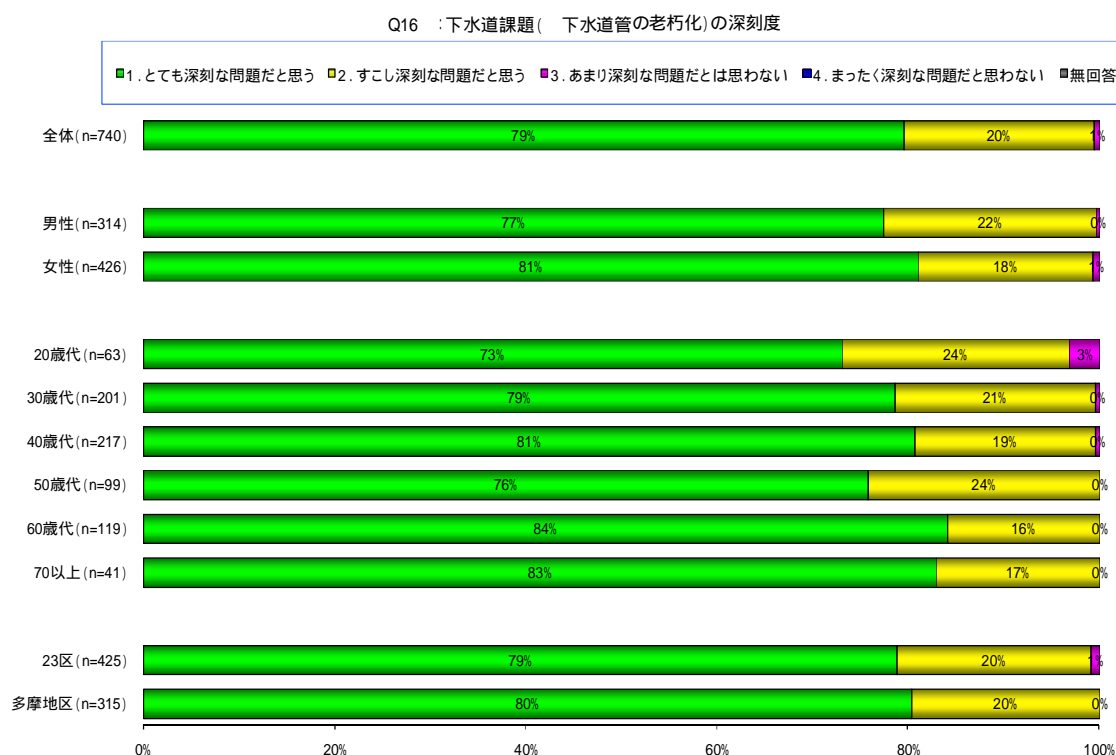
## 4 - 2 . 下水道の課題 「下水道管の老朽化」(感想)

- 下水道の課題（下水道管の老朽化）の感想をみる。全体では 99%が「深刻な問題である（とても深刻な問題だと思う＋すこし深刻な問題だと思う）」と考えている。
- 男女別にみると、女性の方が「とても深刻な問題だと思う」との回答が多く、男性よりも 4 ポイント高くなった。
- 年代別にみると、年代が上がるにつれて「深刻な問題だと思う」との回答が多くなる。ただし、50 歳代は 20 歳代と同水準である。
- 地域別にみると、「とても深刻な問題だと思う」との回答が 23 区で 79%、多摩地区で 80%となった。

Q16. 下水道管は、耐用年数が 50 年とされており、古い下水道管は道路の陥没事故につながるため、取替えや補修が必要です。東京都の下水道は整備を始めてから既に 100 年以上が経過し、現在でも一部の下水道管は耐用年数を越えています。また、高度経済成長期以降（1960 年代以降）に整備した大量の下水道管が間もなく耐用年数に達しようとしています。

このことについて、どのようにお感じになりましたか。

図 4-2 「下水道管の老朽化」に対する感想



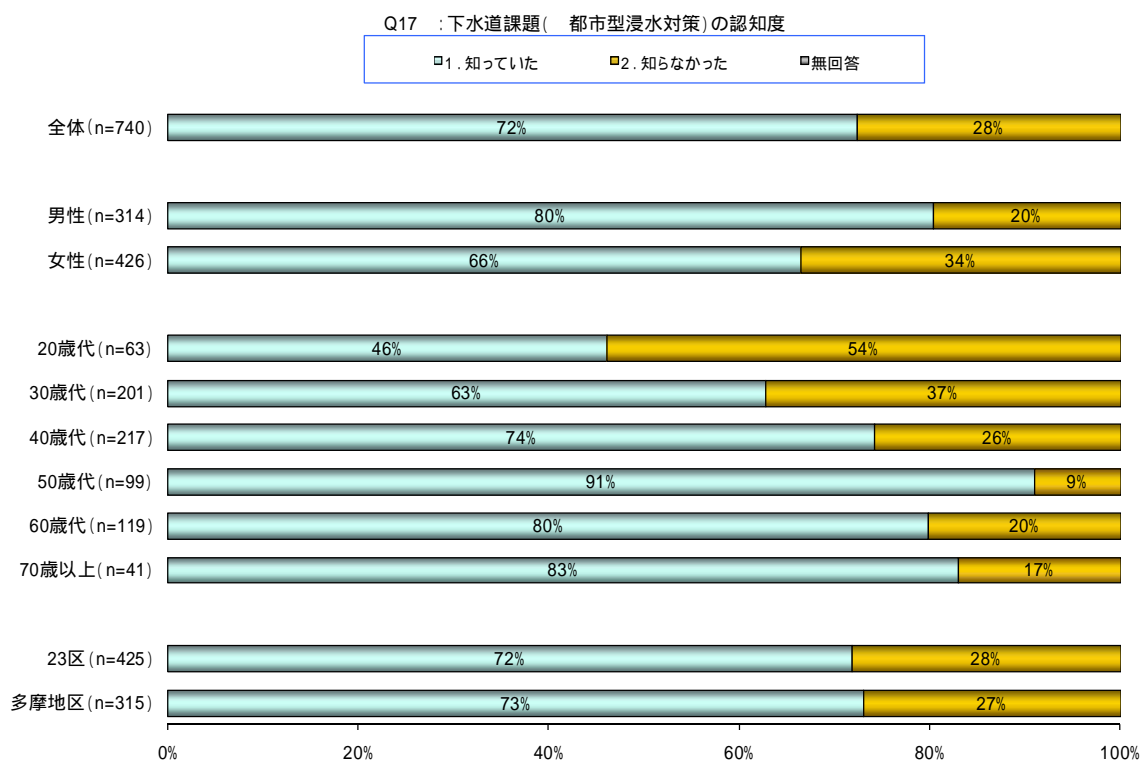
## 4 - 3 . 下水道の課題 「都市型浸水対策」(認知度)

- 下水道の課題( 都市型浸水対策)の認知度についてみる。全体では「知っていた」との回答が多く、72%となった。
- 男女別にみると、男性の方が「知っていた」との回答が多く、女性よりも14ポイント高くなった。
- 年代別にみると年代が上がるにつれて「知っていた」との回答が多くなる。特に50歳代は91%が「知っていた」と回答した。
- 地域別にみると多摩地区が23区よりも1ポイント高くなった。

Q17. 都市化によって、道路等の舗装が進み、雨水が地面に浸透しにくくなった結果、下水道に流れ込む雨水の量が増大しました。これにより、既に下水道が整備された東京都でも、短時間に猛烈な集中豪雨があると、下水道管やポンプ所の処理能力を超えて、都市型の浸水が発生することがあります。

あなたは、このことをご存知でしたか？以下の中から該当する選択肢を一つだけお答え下さい(単一回答)。

図 4-3 「都市型浸水対策」の認知度



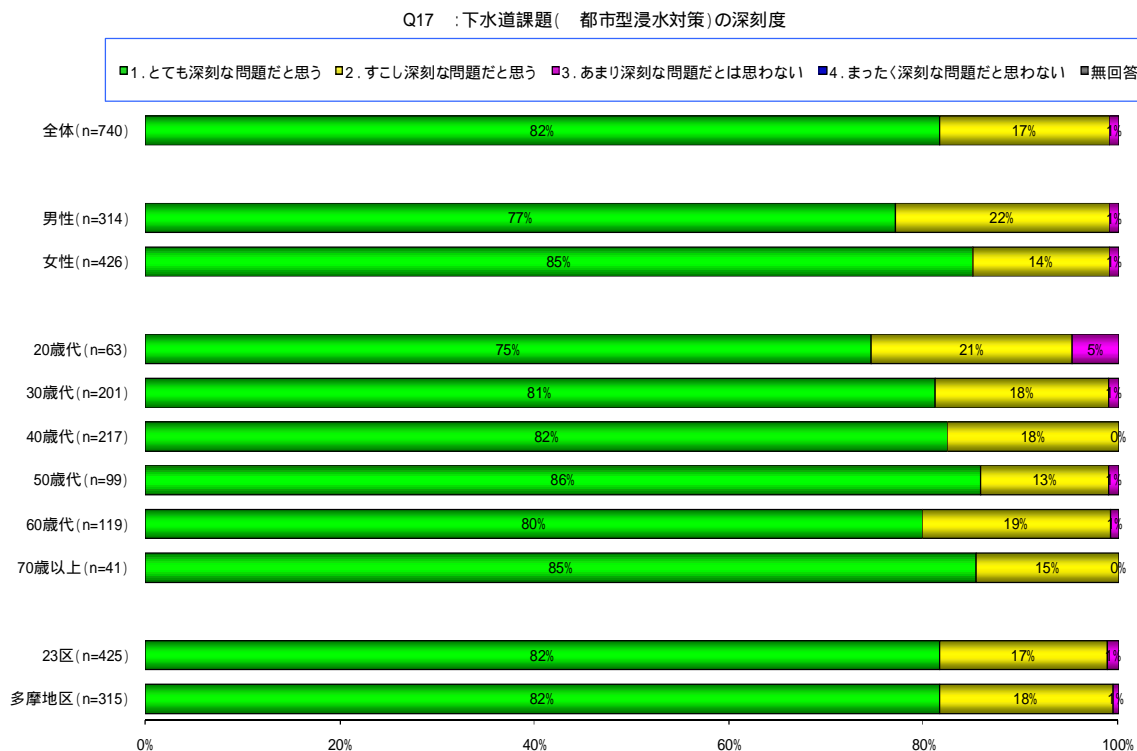
## 4 - 4 . 下水道の課題 「都市型浸水対策」(感想)

- 下水道の課題（ 都市型浸水対策）の感想をみる。全体では 99%が「深刻な問題である（とても深刻な問題だと思う+すこし深刻な問題だと思う）」と考えている。
- 男女別にみると、女性の方が「とても深刻な問題だと思う」との回答が多く、男性よりも 8 ポイント高くなった。
- 年代別にみると、年代が上がるにつれて「とても深刻な問題だと思う」との回答が多くなる。ただし、60 歳代は 30 歳代と同水準である。
- 地域別にみると差はない。「とても深刻な問題だと思う」との回答がともに 82%となった。

Q17. 都市化によって、道路等の舗装が進み、雨水が地面に浸透しにくくなった結果、下水道に流れ込む雨水の量が増大しました。これにより、既に下水道が整備された東京都でも、短時間に猛烈な集中豪雨があると、下水道管やポンプ所の処理能力を超えて、都市型の浸水が発生することがあります。

このことについて、どのようにお感じになりましたか。

図 4-4 「都市型浸水対策」に対する感想





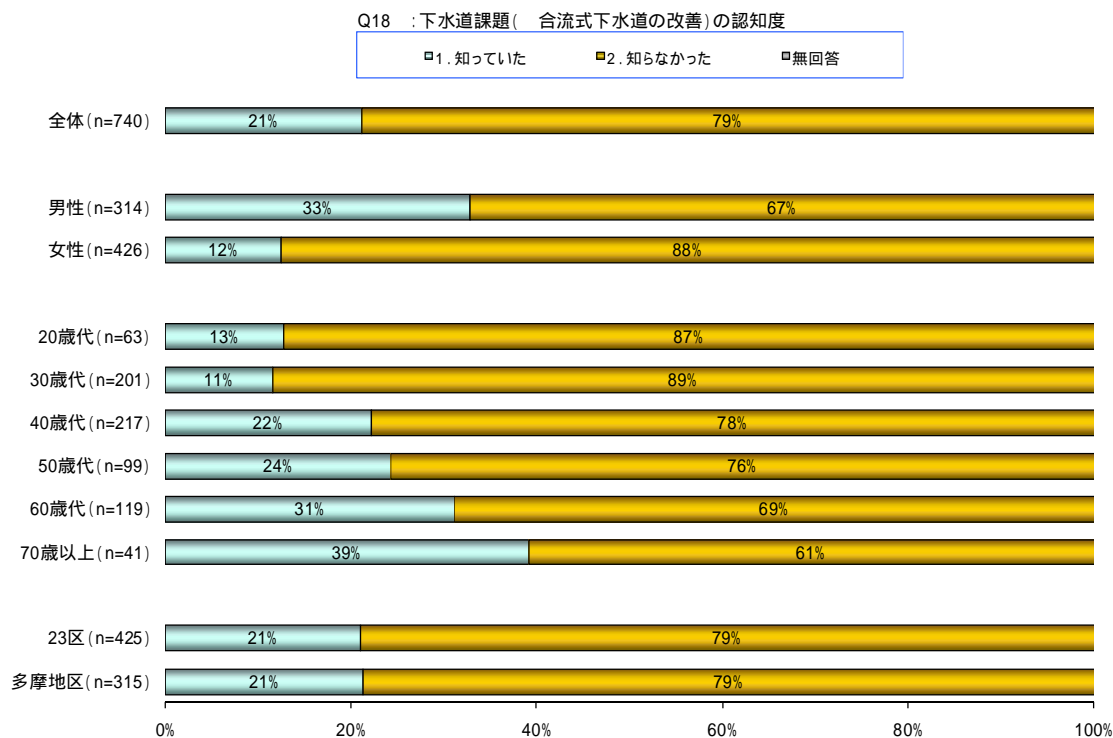
## 4 - 5 . 下水道の課題 「合流式下水道の改善」(認知度)

- 下水道の課題(合流式下水道の改善)の認知度についてみる。全体では「知っていた」との回答は21%であった。
- 男女別にみると、女性の方が「知らなかった」との回答が多く、男性よりも21ポイント高くなった。
- 年代別にみると年代が上がるにつれて「知っていた」との回答が多くなる。ただし、30歳代は11%と20歳代より2ポイント低くなった。
- 地域別にみると23区、多摩地区ともに21%となった。

Q18. 東京都の下水道は、主に「合流式下水道」と呼ばれる、汚水と雨水が同じ下水道管を流れる方式で整備されています。この方式は、大雨が降ると下水の水量が一気に増大するため、水再生センターに流入する前に河川へ放流せざるを得なくなり、雨水で薄まった汚水の一部が、そのまま河川に流れてしまうということが起こります。

あなたは、このことをご存知でしたか？以下の中から該当する選択肢を一つだけお答え下さい(単一回答)。

図 4-5 「合流式下水道」の認知度



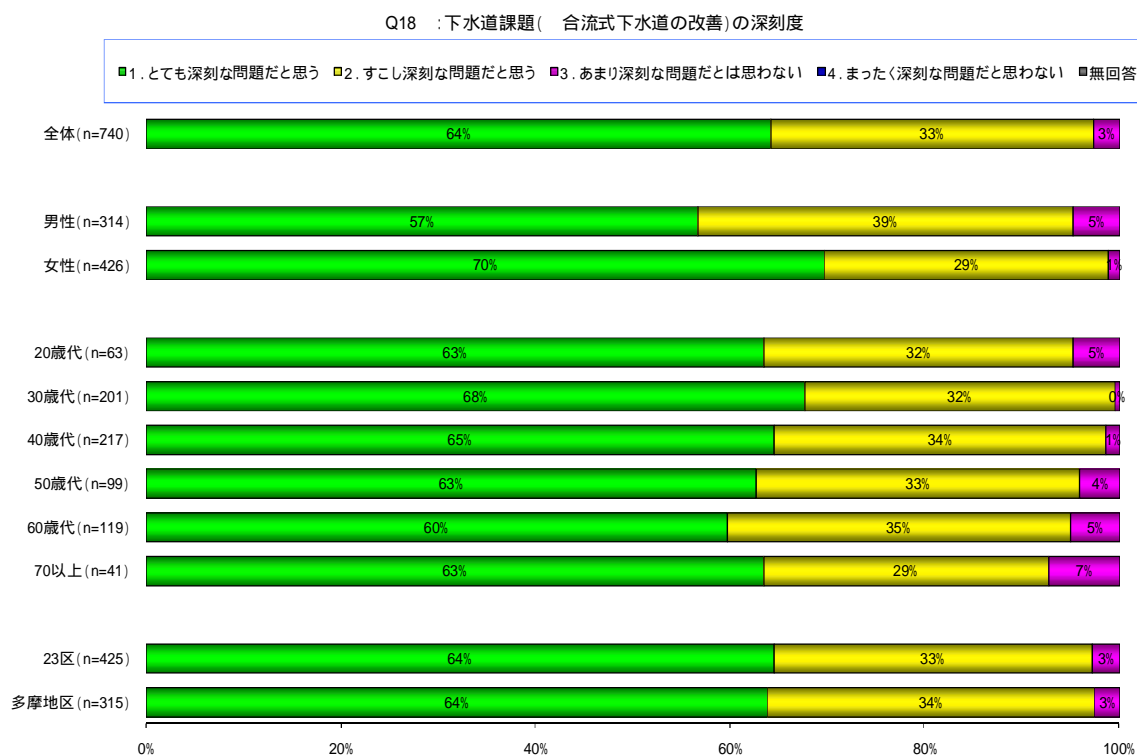
## 4 - 6 . 下水道の課題 「合流式下水道の改善」(感想)

- 下水道の課題（合流式下水道の改善）の感想をみる。全体では 97%が「深刻な問題である（とても深刻な問題だと思う＋すこし深刻な問題だと思う）」と考えている。
- 男女別にみると、女性の方が「とても深刻な問題だと思う」との回答が多く、男性より 13 ポイント高くなった。
- 年代別にみると、30～60 歳代では年代が上がるにつれて「深刻な問題だと思う」との回答が少なくなる。なお、20 歳代と 70 歳以上は「深刻な問題だと思う」との回答が 63%となり、50 歳代と同水準となった。
- 地域別にみると、「とても深刻な問題だと思う」との回答がともに 64%となった。

Q18. 東京都の下水道は、主に「合流式下水道」と呼ばれる、汚水と雨水が同じ下水道管を流れる方式で整備されています。この方式は、大雨が降ると下水の水量が一気に増大するため、水再生センターに流入する前に河川へ放流せざるを得なくなり、雨水で薄まった汚水の一部が、そのまま河川に流れてしまうということが起こります。

このことについて、どのようにお感じになりましたか。

図 4-6 「合流式下水道」に対する感想

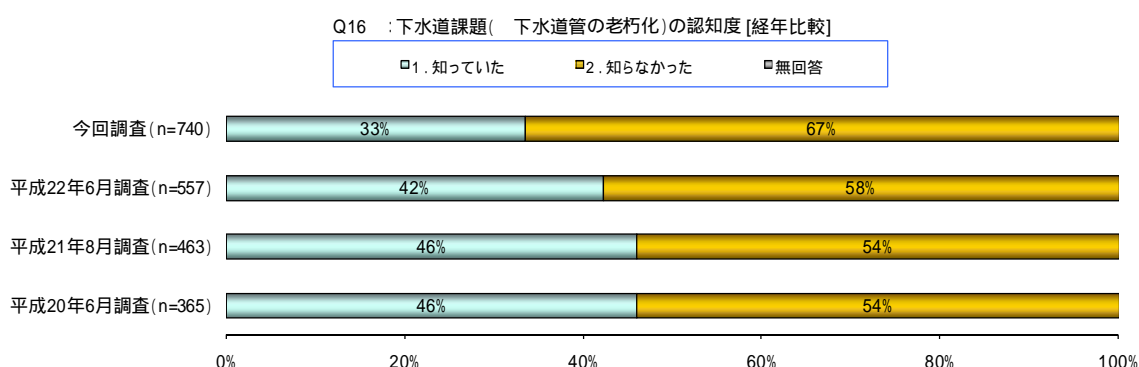


## 4 - 7 . 下水道の課題の認知度〔経年比較〕

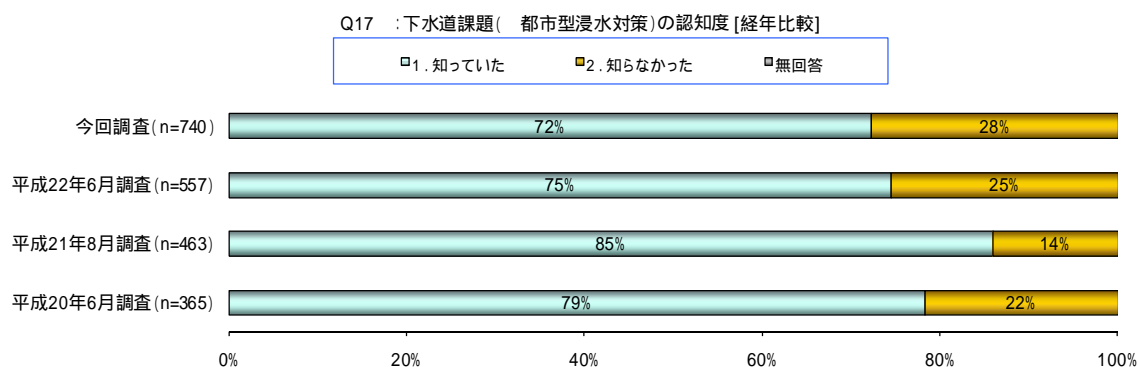
- 下水道の課題（ 下水道管の老朽化 ）の認知度の経年変化をみると、「知っていた」との回答は平成 20 年度調査と比較して、13 ポイント低下した。
- 下水道の課題（ 都市型浸水対策 ）の認知度の経年変化をみると、「知っていた」との回答は平成 20 年度調査と比較して、7 ポイント低下した。
- 下水道の課題（ 合流式下水道の改善 ）の認知度の経年変化をみると、「知っていた」との回答は平成 20 年度調査と比較して、15 ポイント低下した。

図 4 - 7 下水道の課題の認知度〔経年比較〕

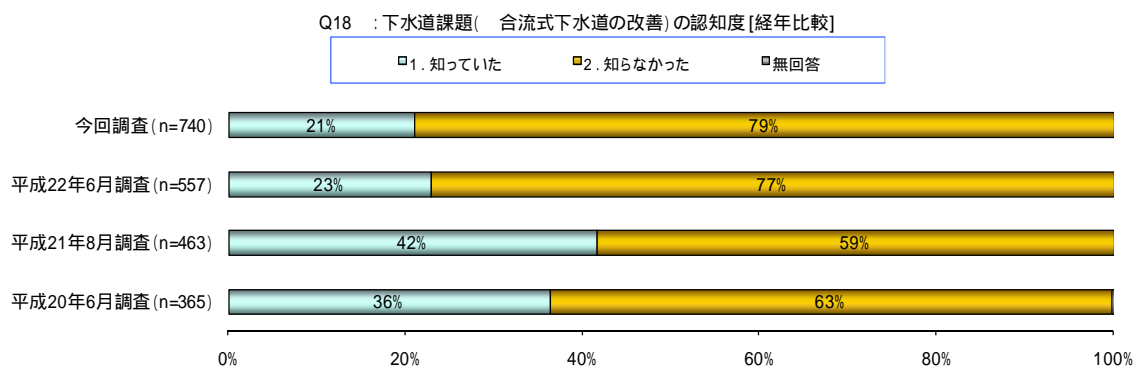
### 下水道管の老朽化



### 都市型浸水



### 合流式下水道

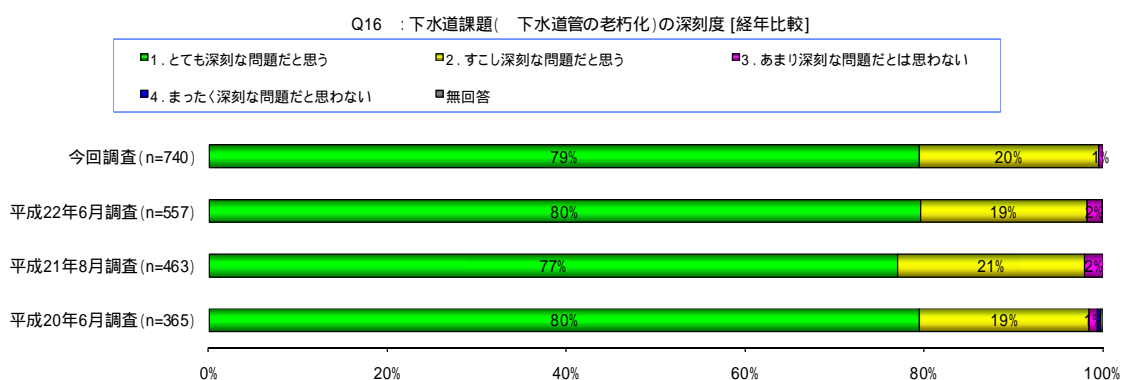


## 4 - 8 . 下水道の課題に対する感想〔経年比較〕

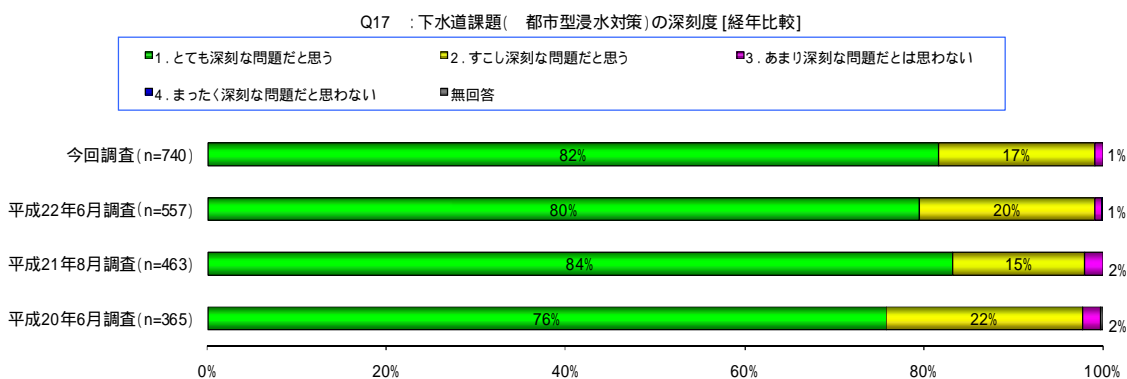
- 下水道の課題（下水道管の老朽化）の深刻度の経年変化をみると、「とても深刻な問題だと思う」との回答は平成20年度調査と比較して、1ポイント低下した。
- 下水道の課題（都市型浸水対策）の深刻度の経年変化をみると、「とても深刻な問題だと思う」との回答は平成20年度調査と比較して、6ポイント上昇した。
- 下水道の課題（合流式下水道の改善）の深刻度の経年変化をみると、「とても深刻な問題だと思う」との回答は平成20年度調査と比較して、3ポイント上昇した。

図 4-8 下水道の課題に対する感想〔経年比較〕

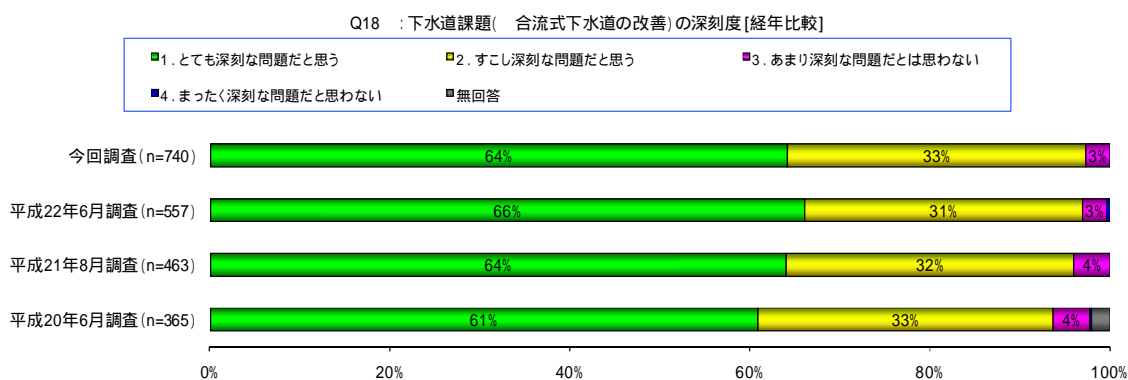
### 下水道管の老朽化



### 都市型浸水



### 合流式下水道

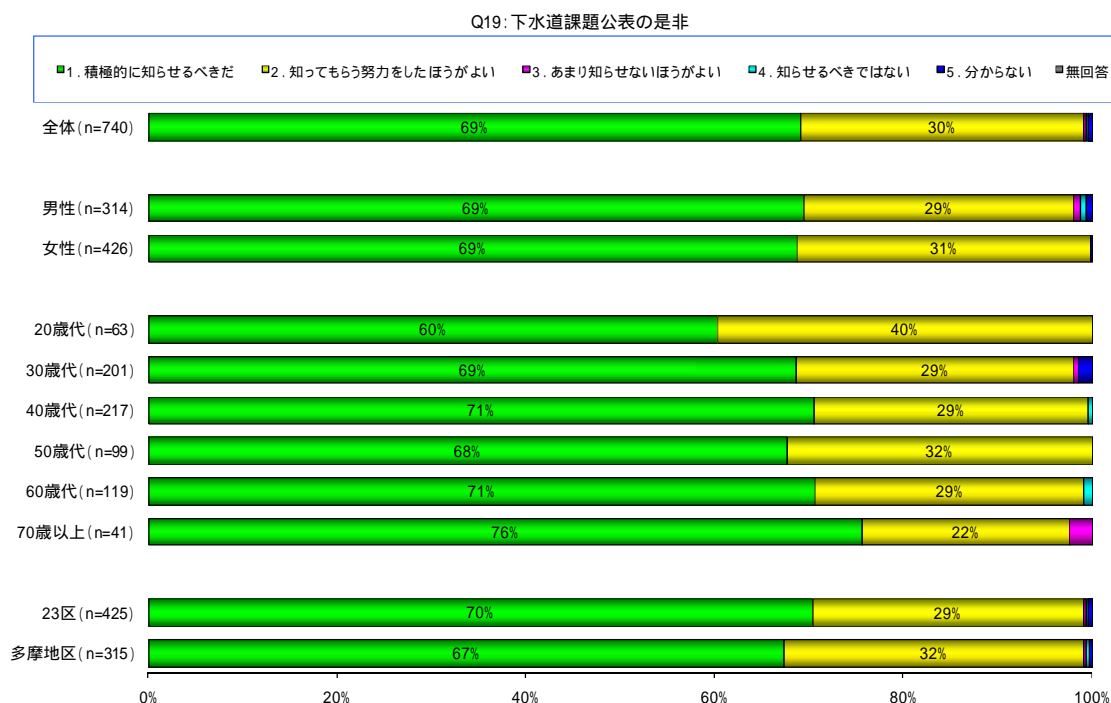


## 4 - 9 . 下水道が抱える課題の公表について

- 東京都の下水道が抱える課題の公表の是非についてみる。全体では「知らせた方がよい（積極的に知らせるべきだ＋知ってもらう努力をしたほうがよい）」は 99%となり、このうち 69%が「積極的に知らせるべきだ」と思っている。
- 男女別にみると、男女ともに「積極的に知らせるべきだ」との回答が 69%となった。
- 年代別にみると、大まかに年代が上がるにつれて「積極的に知らせるべき」との回答が多くなる。なお、最も少ないのは 20 歳代の 60%であり、最も多いのは 70 歳以上の 76%で、16 ポイントの差が生じた。
- 地域別にみると 23 区では 70%が「積極的に知らせるべきだ」となり、多摩地区よりも 3 ポイント高くなった。

Q19. 上記（下水道管の老朽化）（都市型浸水対策）（合流式下水道の改善）でおうかがいした、東京都の下水道における課題について、次の中からあなたのお考に近いと思うものを一つだけお答え下さい（単一回答）。

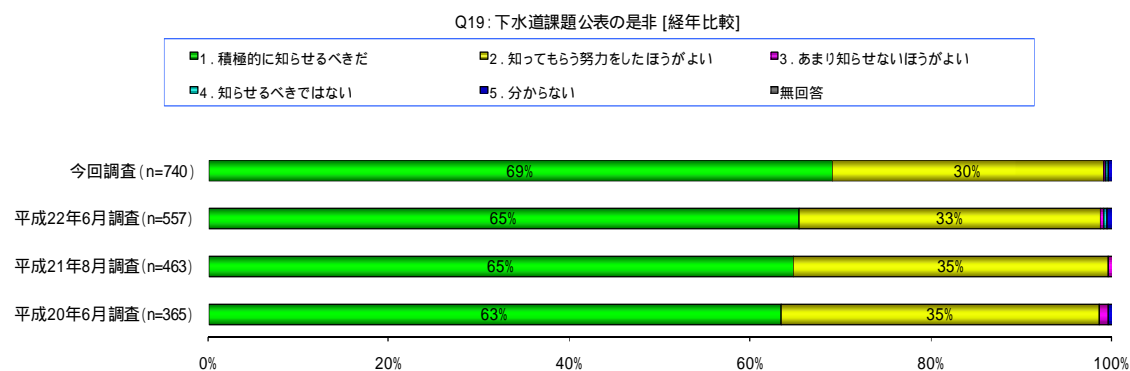
図 4-9 課題の公表についての是非



## 4 - 1 0 . 下水道が抱える課題の公表について〔経年比較〕

- 下水道が抱える課題の公表の是非の経年変化をみると、「積極的に知らせるべきだ」との回答は昨年度調査と比較して、6ポイント上昇した。

図 4 - 1 0 課題の公表についての是非〔経年比較〕



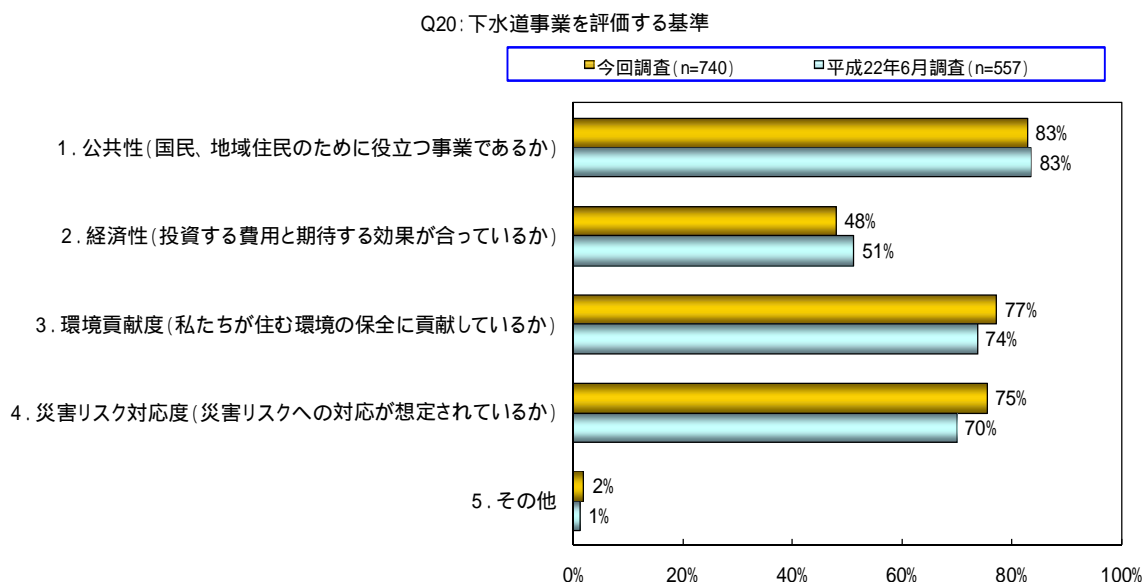
## 5 . 下水道事業の評価基準

### 5 - 1 . 下水道事業を評価する基準〔全体〕

- 下水道事業を評価する基準についてみる。全体では「公共性（国民、地域住民のために役立つ事業であるか）」が 83%と最も多い。以降、「環境貢献度（私たちが住む環境の保全に貢献しているか）」77%、「災害リスク対応度（災害リスクへの対応が想定されているか）」75%と続く。さらに、少し値に差があいて、「経済性（投資する費用と期待する効果が合っているか）」48%となった。
- この結果、下水道事業は「公共性」「環境貢献度」「災害リスク対応度」が重視されていることが明らかとなった。
- 平成 22 年度調査と比べて高くなったのは「環境貢献度」「災害リスク対応度」であった。

Q20. あなたが下水道事業を評価する基準で重視しているのは、どのようなことですか？  
以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお選び下さい（複数回答）。

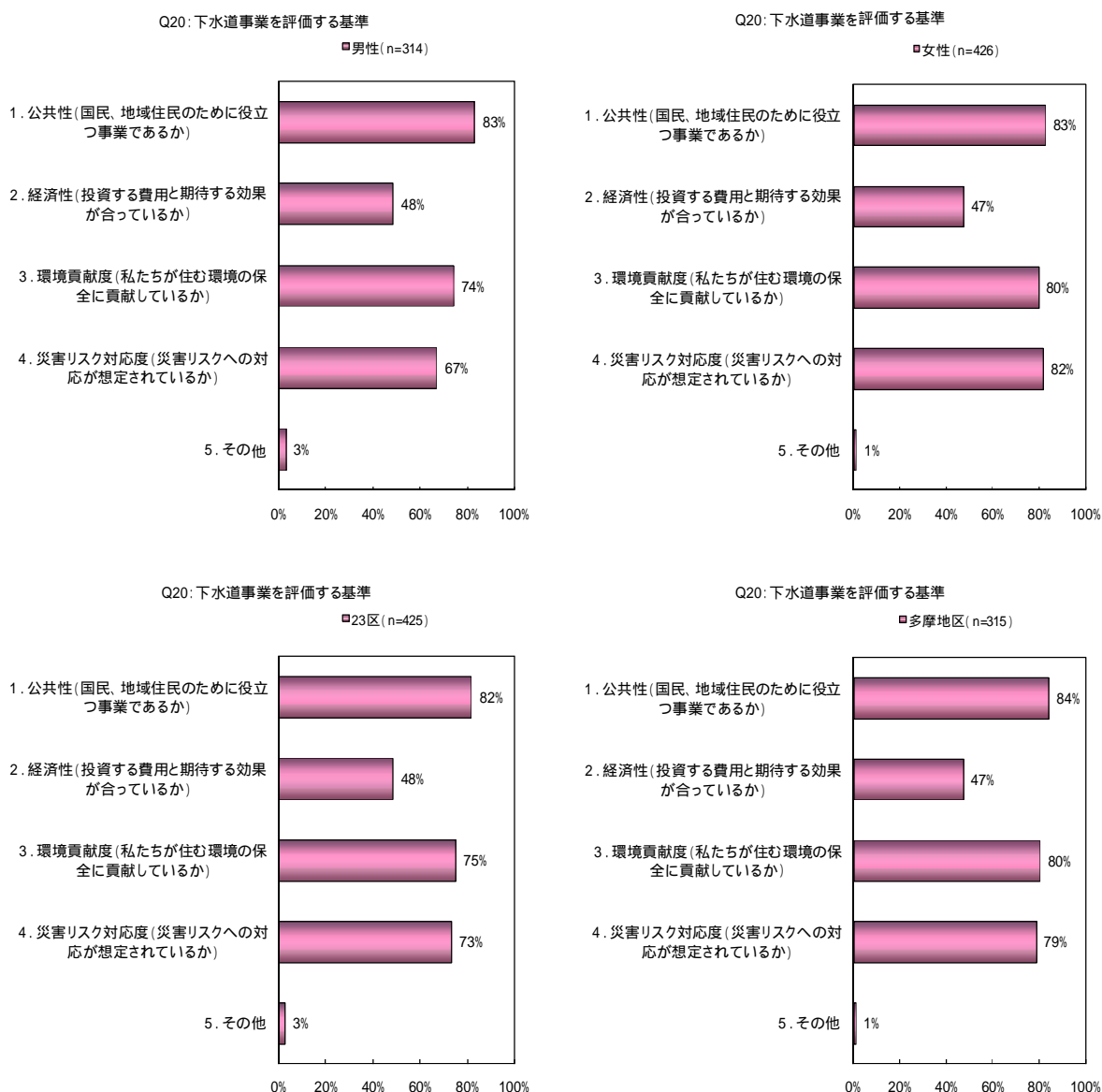
図 5-1 下水道事業を評価する基準〔全体〕



## 5 - 2 . 下水道事業を評価する基準〔性別・地域別〕

- 男女別にみると、男女ともに「公共性（国民、地域住民のために役立つ事業であるか）」が最も多くなった（ともに83%）。次に多くなったのは、男性は「環境貢献度（私たちが住む環境の保全に貢献しているか）」74%であり、女性は「災害リスク対応度（災害リスクへの対応が想定されているか）」82%となった。
- 地域別にみると多摩地区は、「公共性（国民、地域住民のために役立つ事業であるか）」「環境貢献度（私たちが住む環境の保全に貢献しているか）」「災害リスク対応度（災害リスクへの対応が想定されているか）」のそれぞれの項目において、23区よりも回答が多くなった。

図 5-2 下水道事業を評価する基準〔性別・地域別〕

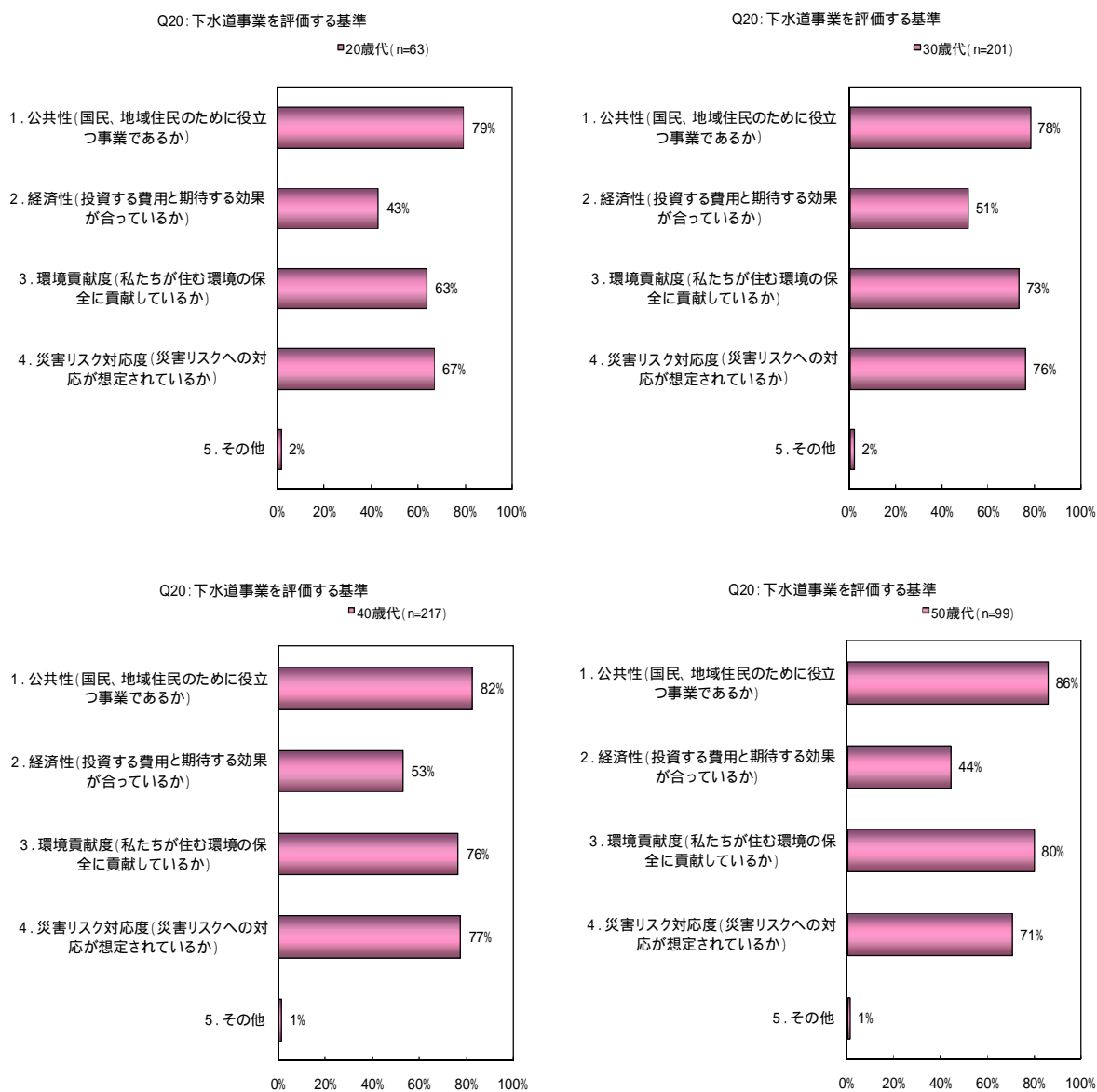




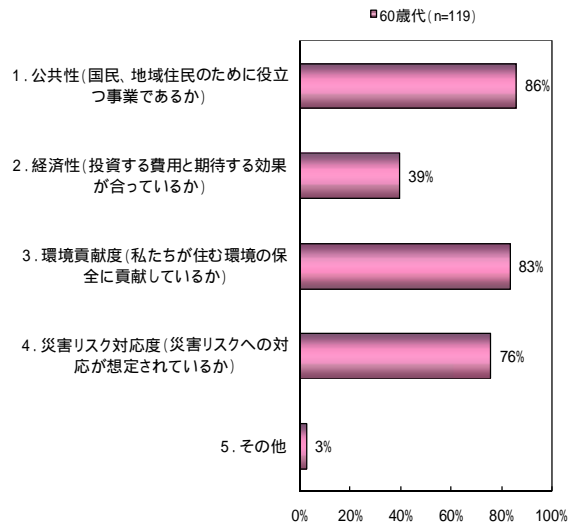
### 5 - 3 . 下水道事業を評価する基準〔年代別〕

- 年代別にみる。ここでは全体で最も回答が多くなった「公共性（国民、地域住民のために役立つ事業であるか）」に注目すると、年代が高くなるにつれ回答も多くなる傾向がある。
- 特定の年代をみると、70 歳以上はすべての項目において他の年代よりも回答が多くなった。

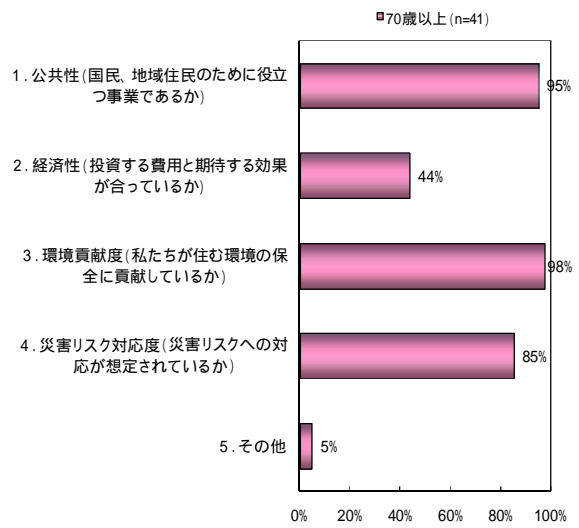
図 5-3 下水道事業を評価する基準〔年代別〕



Q20: 下水道事業を評価する基準



Q20: 下水道事業を評価する基準



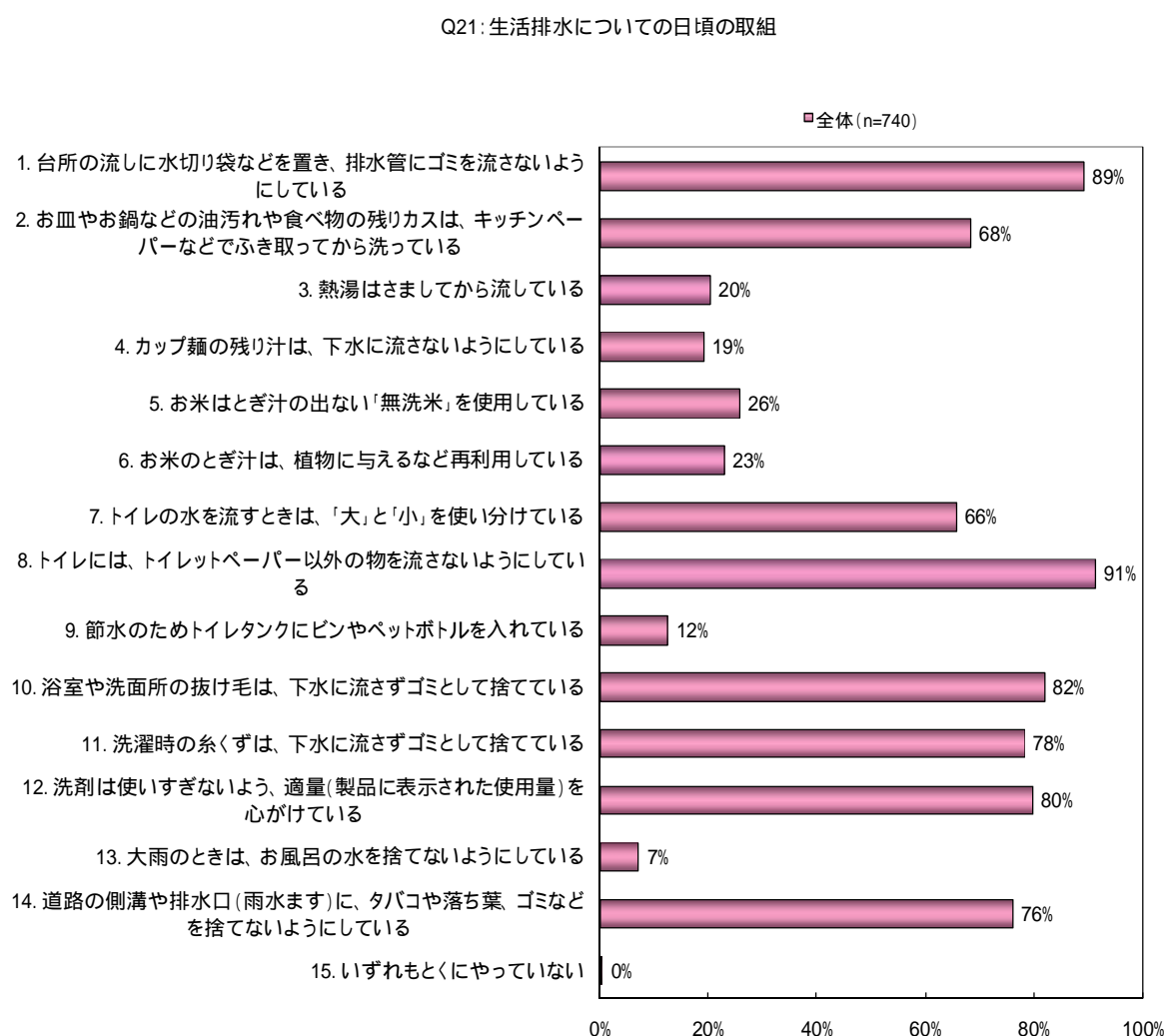
## 6．生活排水についての日頃の取組

### 6 - 1．生活排水についての日頃の取組〔全体〕

- 生活排水についての日頃の取組についてみる。全体では「トイレには、トイレットペーパー以外の物を流さないようにしている」が 91%と最も多い。以降、「台所の流しに水切り袋などを置き、排水管にゴミを流さないようにしている」89%、「浴室や洗面所の抜け毛は、下水に流さずゴミとして捨てている」82%と続く。

Q21. あなたが生活排水について日頃から取り組んでいることはありますか？以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお選び下さい。（複数回答）

図 6 - 1 生活排水についての取組

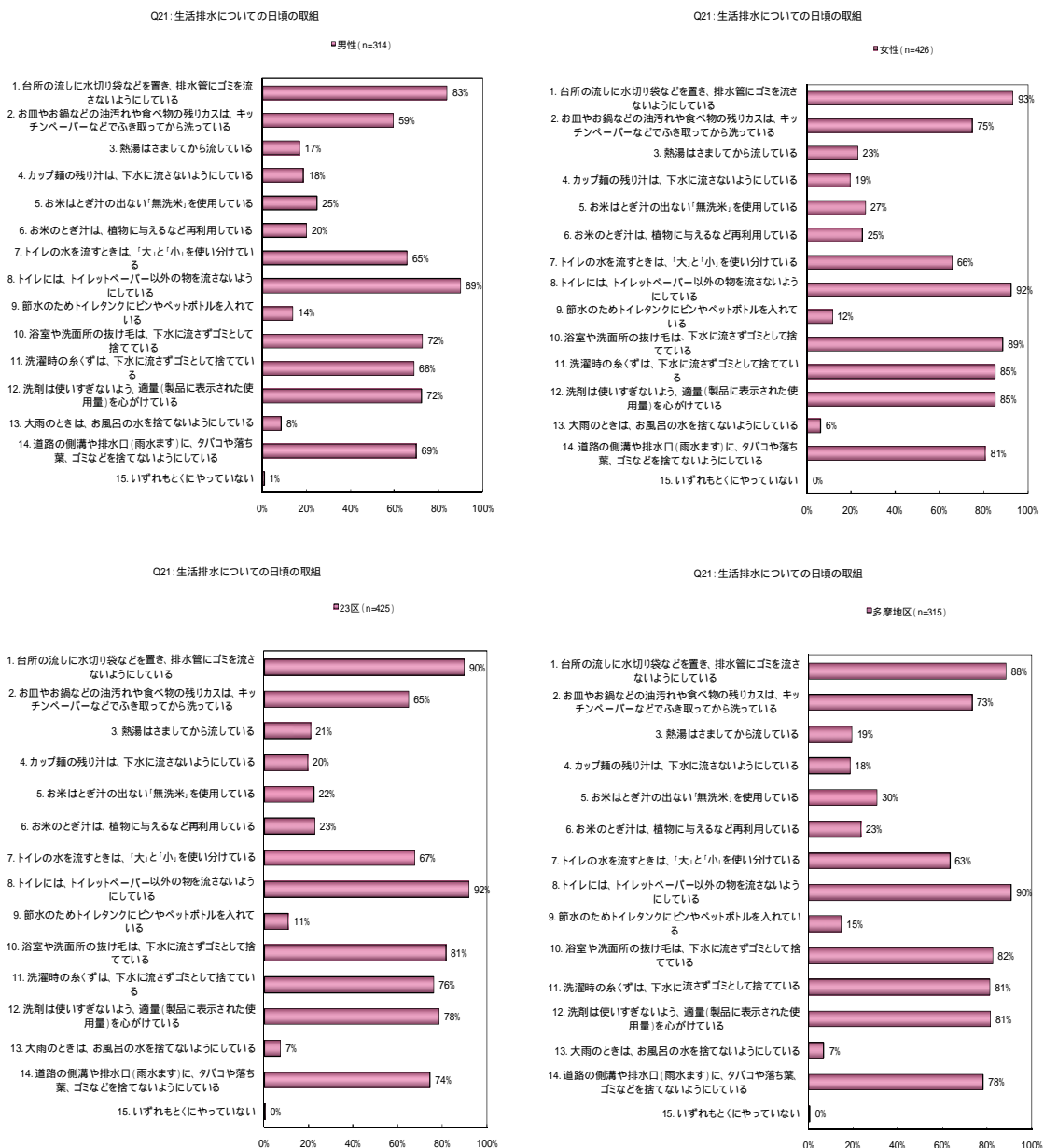


## 6 - 2 . 生活排水についての日頃の取組〔性別・地域別〕

- 男女別にみると、男性で最も回答が多くなったのは、全体と同じく「トイレには、トイレットペーパー以外の物を流さないようにしている」であった（89%）。一方、女性では、「台所の流しに水切り袋などを置き、排水管にゴミを流さないようにしている」93%が最も多くなった。
- 地域別にみると23区、多摩地区とも最も回答が多くなったのは、全体と同じく「トイレには、トイレットペーパー以外の物を流さないようにしている」であった。23区が92%となり、多摩地区よりも2ポイント高くなった。

Q21. あなたが生活排水について日頃から取り組んでいることはありますか？以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお選び下さい。（複数回答）

図 6 - 2 生活排水についての取組〔性別・地域別〕

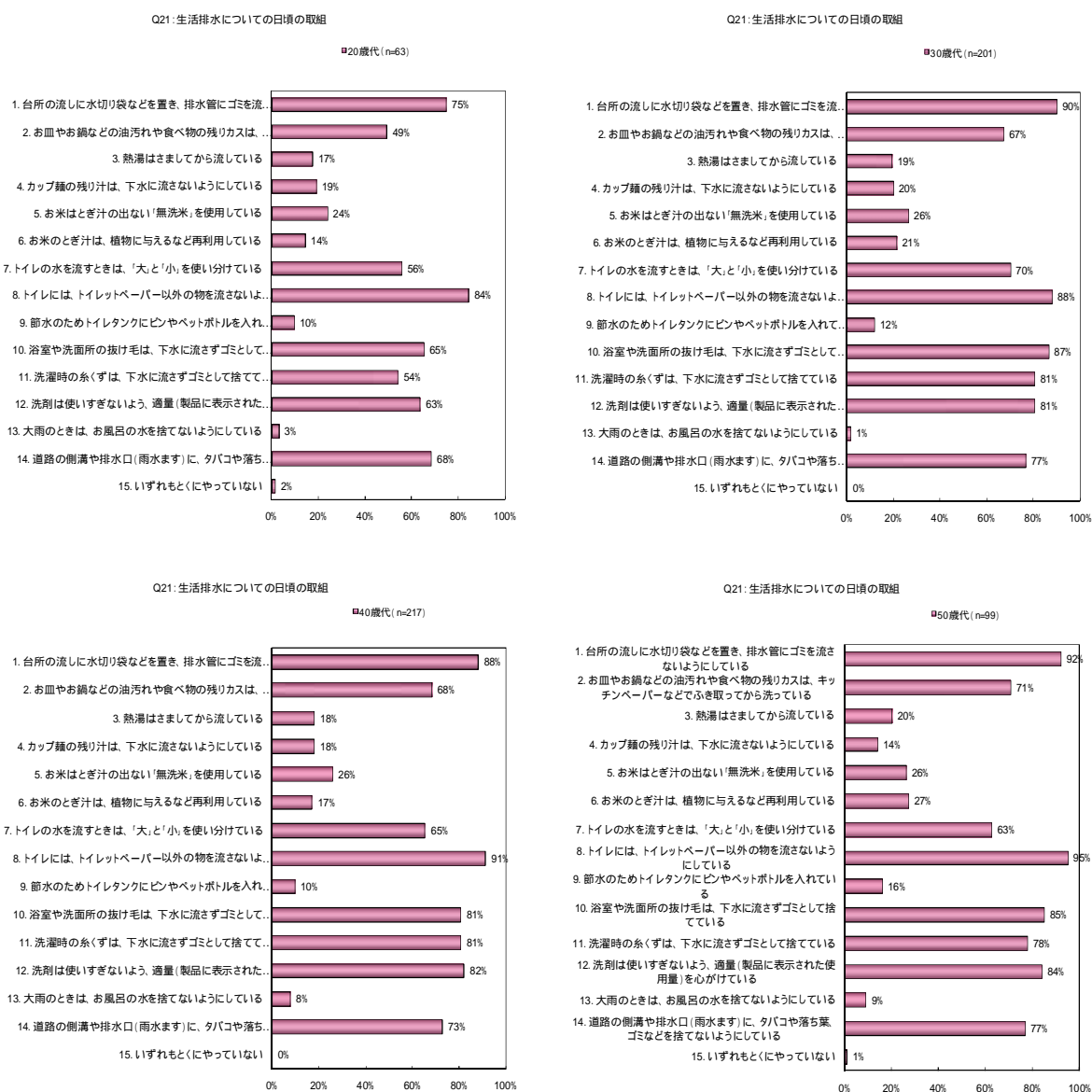


## 6 - 3 . 生活排水についての日頃の取組〔年代別〕

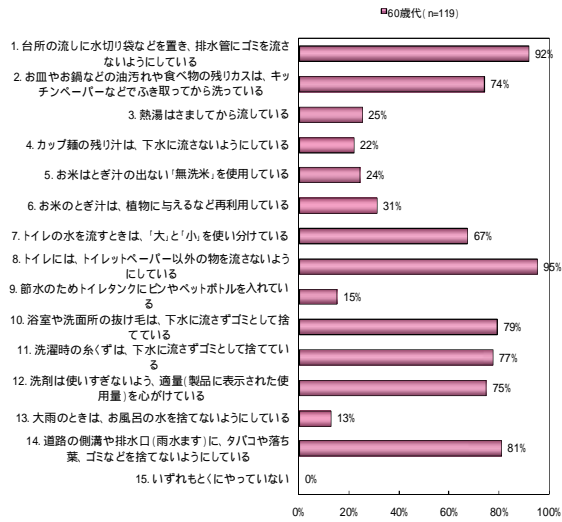
- 年代別にみる。ここでは年代別に最も回答が多かった取組をみる。30 歳代を除くすべての年代において、全体と同じ「トイレには、トイレットペーパー以外の物を流さないようにしている」となった。30 歳代の場合、「台所の流しに水切り袋などを置き、排水管にゴミを流さないようにしている」となった。なお、70 歳以上では「トイレには、トイレットペーパー以外の物を流さないようにしている」と「台所の流しに水切り袋などを置き、排水管にゴミを流さないようにしている」が同率（98%）となっている。

Q21. あなたが生活排水について日頃から取り組んでいることはありますか？ 以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお選び下さい。（複数回答）

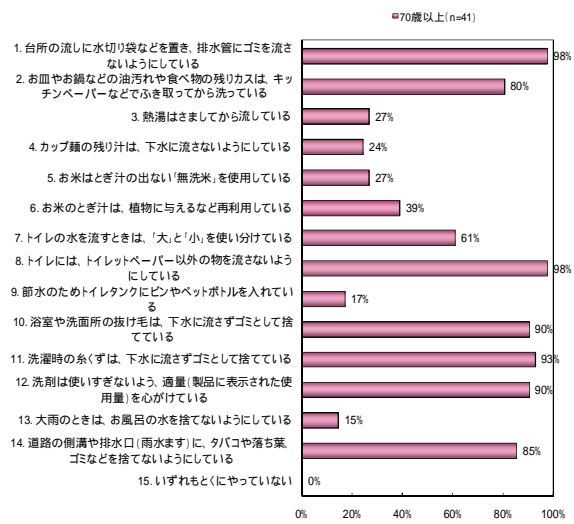
図 6-3 生活排水についての取組〔年代別〕



Q21:生活排水についての日頃の取組



Q21:生活排水についての日頃の取組



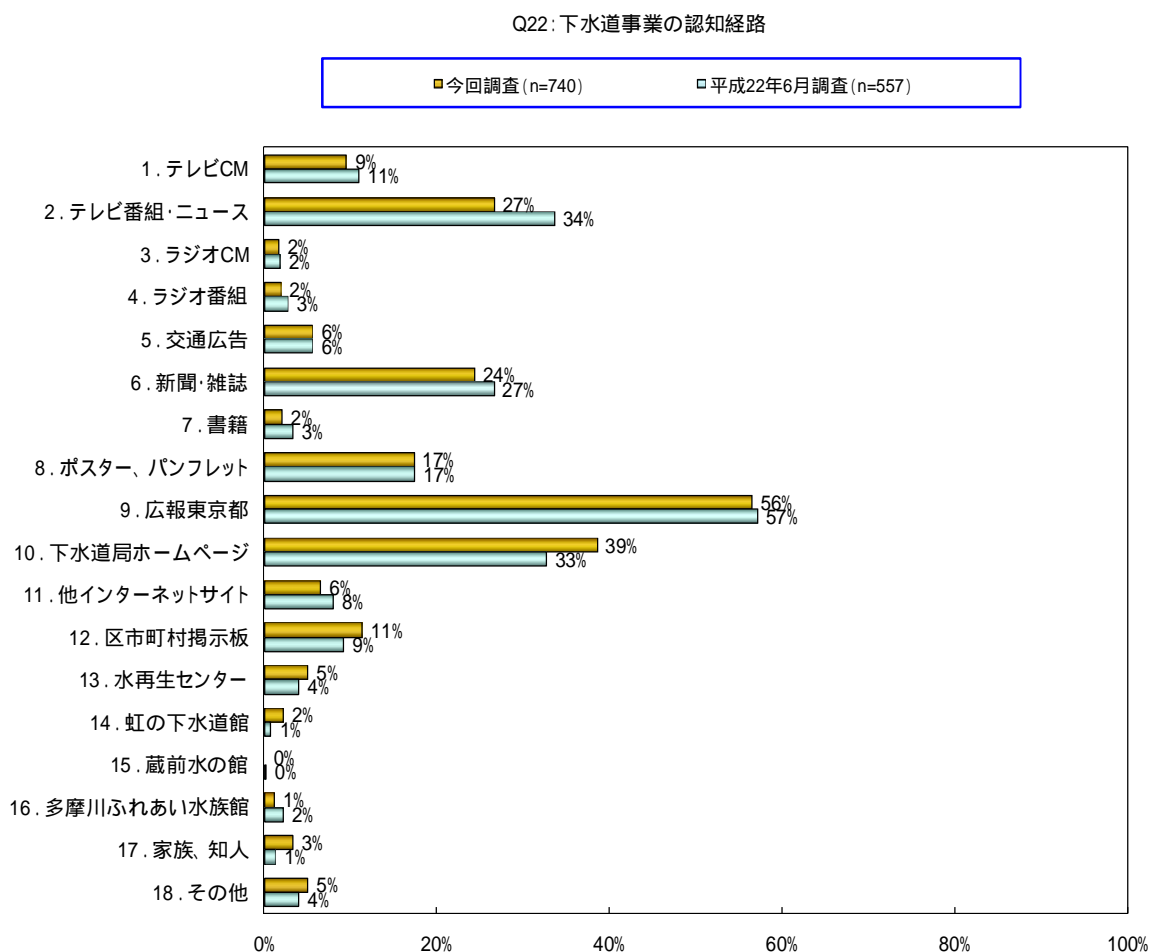
## 7. 下水道事業の認知経路

### 7-1. 下水道事業の認知経路〔全体〕

- 下水道事業の認知経路をみる。全体では、回答が多かった順に「広報東京都」56%、「下水道局ホームページ」39%、「テレビ番組・ニュース」27%となった。
- 平成22年度調査と比べて最も高くなったのは「下水道局ホームページ」(6ポイント)、次いで「区市町村掲示板」(2ポイント)、「家族、知人」(2ポイント)となった。

Q22. あなたは東京都下水道局や下水道事業の内容について、どのようなところから知ることが多いですか？以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお答え下さい（複数回答）。

図7-1 下水道事業の認知経路



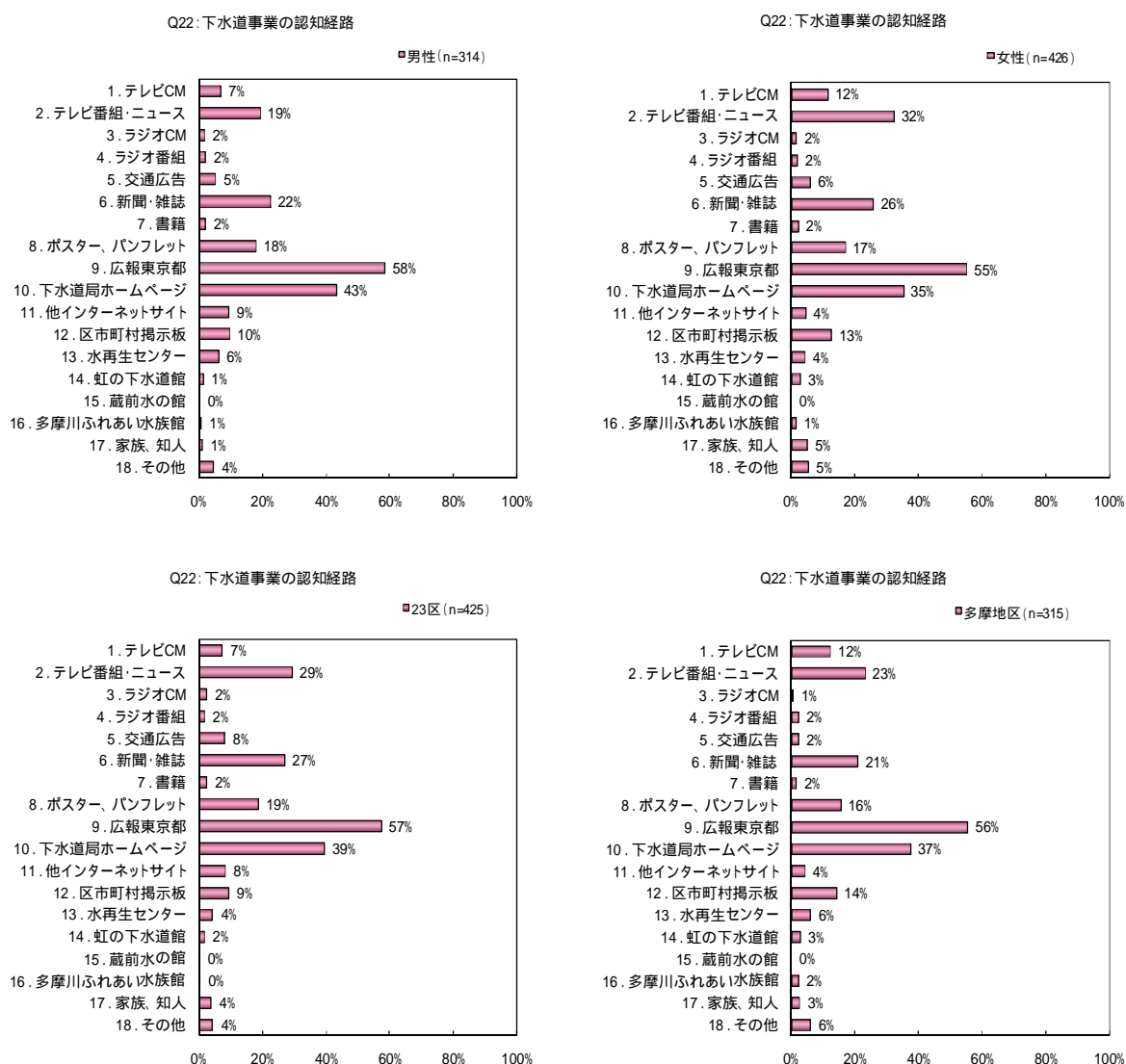
\*\*\*\*\* 【その他の回答】(今回調査) \*\*\*\*\*

- |                       |                  |
|-----------------------|------------------|
| 1. あまり情報がない(2)        | 4. 区民まつり         |
| 2. 知る機会がない            | 5. 学者・研究者・行政等の講演 |
| 3. アンケートのどの媒体からも得ていない |                  |

## 7-2. 下水道事業の認知経路〔性別・地域別〕

- 男女別にみると、ともに1番回答の多くなったのは「広報東京都」、次いで「下水道局ホームページ」となった。3番目の認知経路をみると女性は「テレビ番組・ニュース」32%、男性は「新聞・雑誌」22%となった。
- 地域別では1～3番目までの認知経路は全体と同じであった。

図7-2 下水道事業の認知経路〔性別・地域別〕

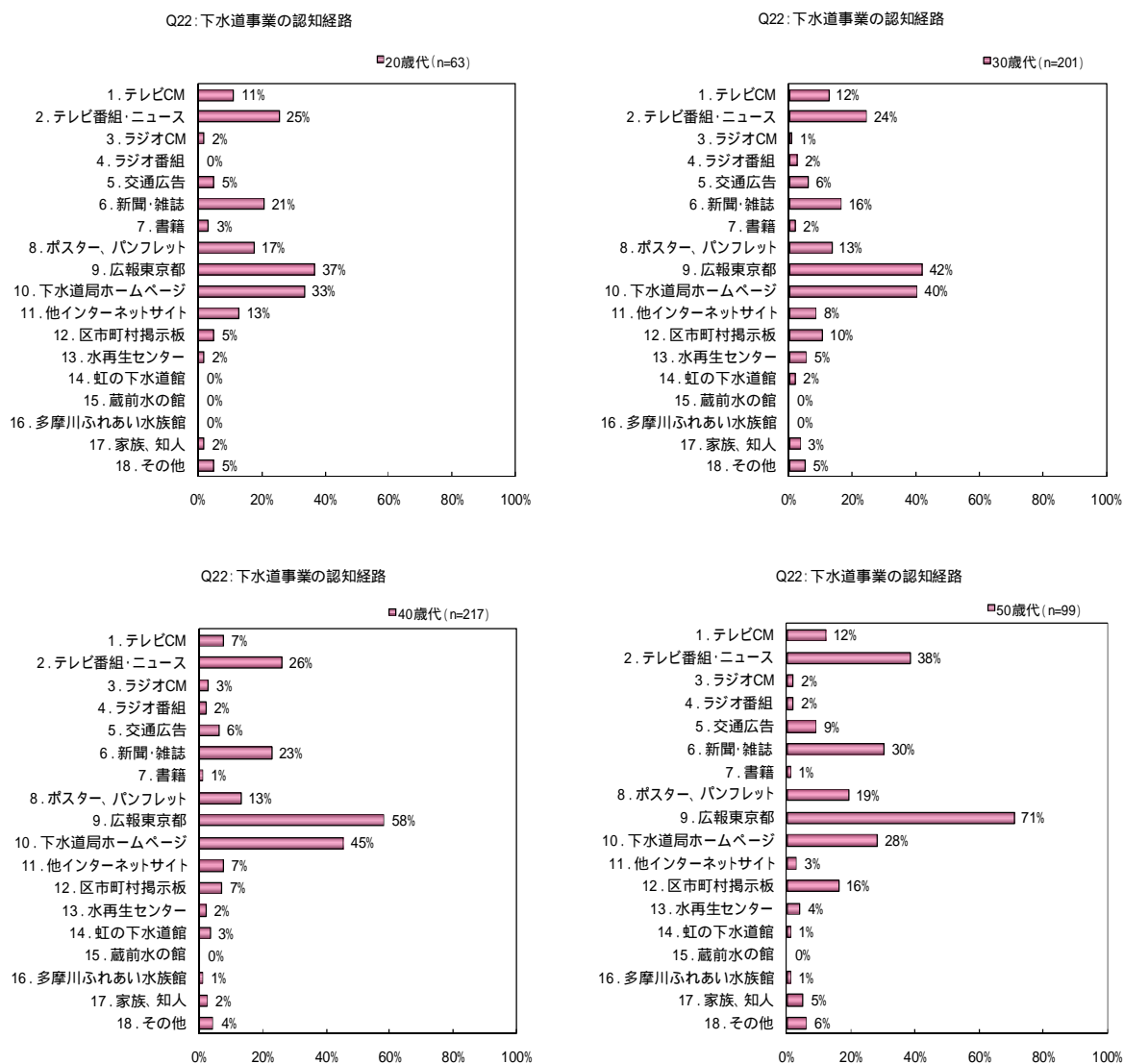




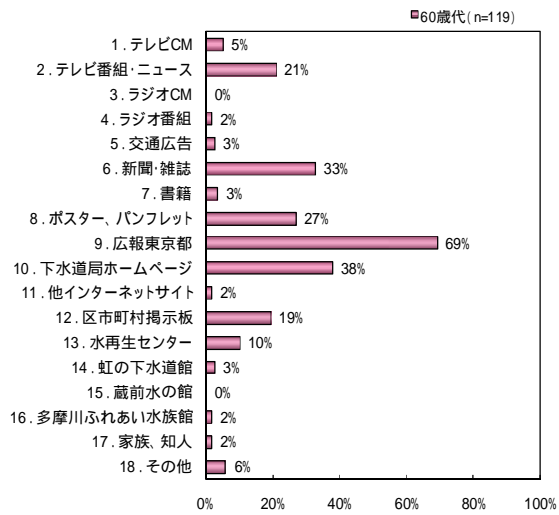
## 7 - 3 . 下水道事業の認知経路〔年代別〕

- 年代別にみる。全体で1番回答の多くなった「広報東京都」に注目すると、大まかに年代が上がるにつれて回答も多くなる。なお、最も少ないのは20歳代の37%であり、最も多いのは70歳以上の80%で、43ポイントの差が生じた。

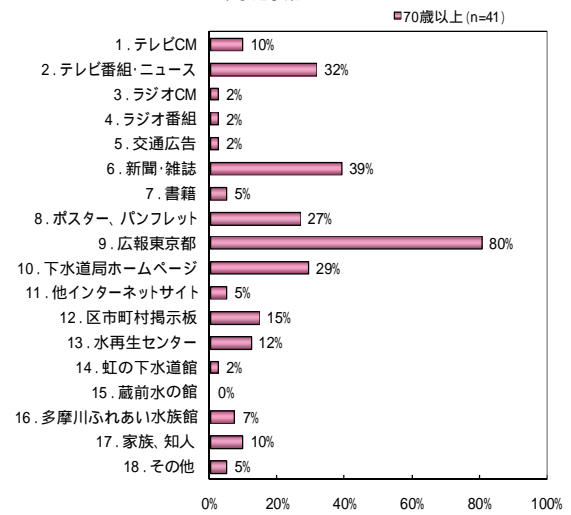
図 7 - 3 下水道事業の認知経路〔年代別〕



Q22: 下水道事業の認知経路



Q22: 下水道事業の認知経路

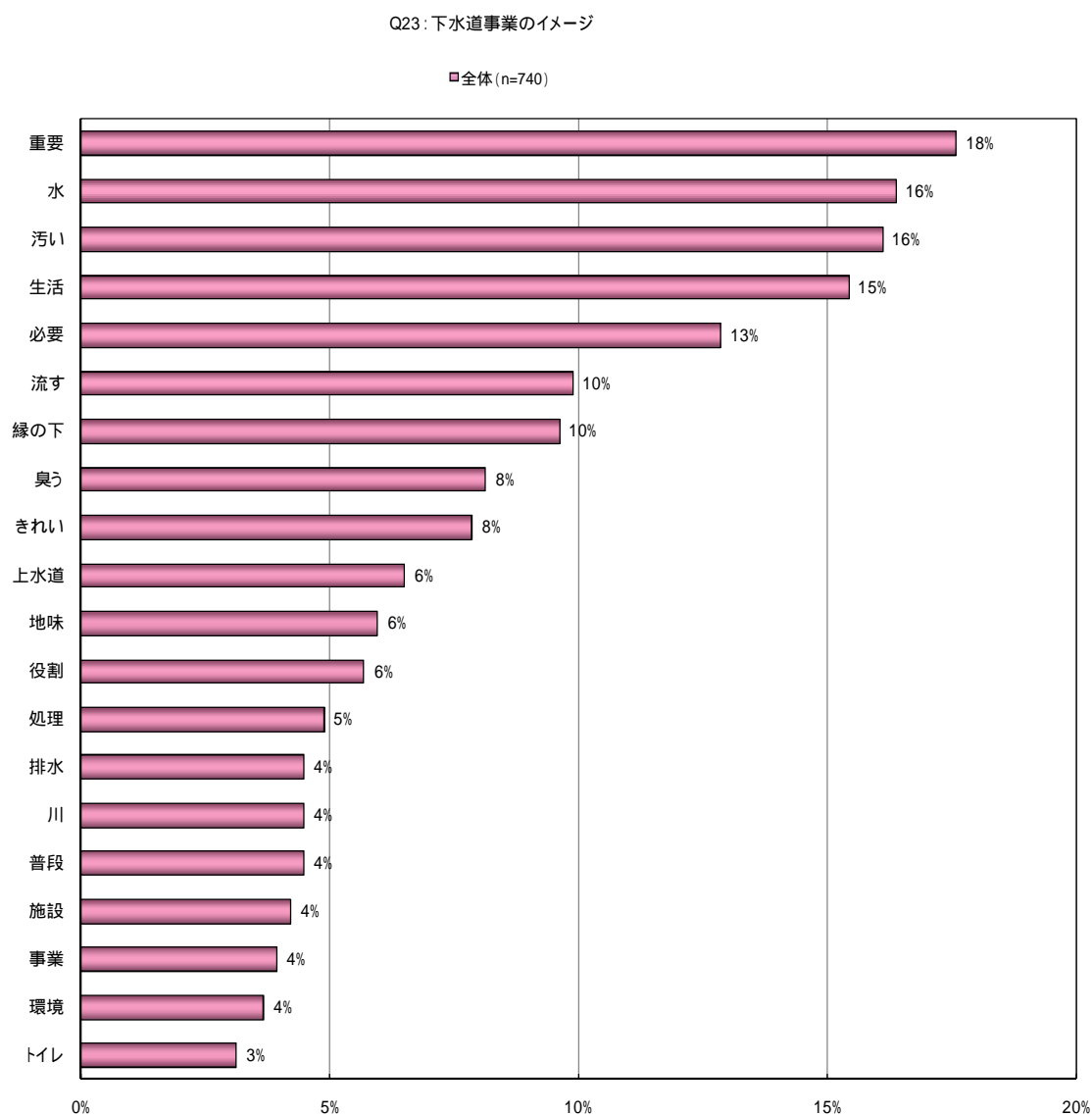


## 8. 下水道事業のイメージ

- 下水道事業のイメージとして挙げられた語句の内、最も多かったのが「重要」で全体の18%が回答していた。
- 次いで多かったのが、「水」「汚い」でともに16%。また「生活」15%、「必要」13%との回答になっており、下水道は「重要」で、「汚い」「水」をきれいにし、「生活」を送る上で「必要」と認識している人が多かった。

Q23. あなたは「下水道」に対して、どのようなイメージをお持ちですか？思い浮かぶ印象・イメージについて、どのようなことでも結構ですのでご自由にお答え下さい(自由回答)

図8-1 下水道事業のイメージ



上記は、表記されている単語の回答者の割合（率）である。

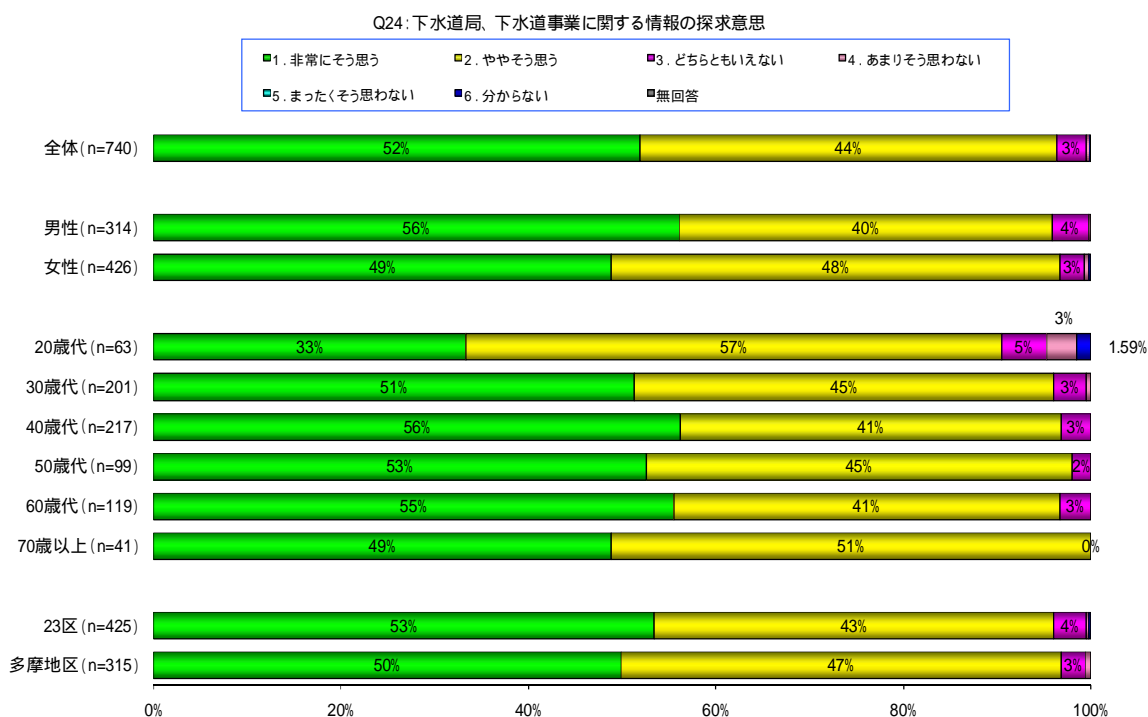
## 9 . 下水道事業に関する情報の探求意思、共有欲求

### 9 - 1 . 下水道事業に関する情報の探求意思

- アンケートの回答後、下水道局や下水道事業について、さらに詳しいと知りたいと思うかについて質問を行った。全体では、「知りたいと思う（非常にそう思う＋ややそう思う）」との回答が96%となった。
- 男女別にみると、男性の方が「非常にそう思う」との回答が多く、女性よりも7ポイント高くなった。
- 年代別にみると、20歳代を除いた、30～70歳代の49～56%が「非常にそう思う」と回答している。なお、20歳代は33%となり、他の年代よりも関心が低くなった。
- 地域別にみると23区の方が「非常にそう思う」との回答が多く、多摩地区よりも3ポイント高くなった。

Q24. あなたは、下水道局や下水道事業について、さらに詳しく知りたいと思いませんか（単一回答）？

図 9 - 1 下水道局、下水道事業の情報の探求意思

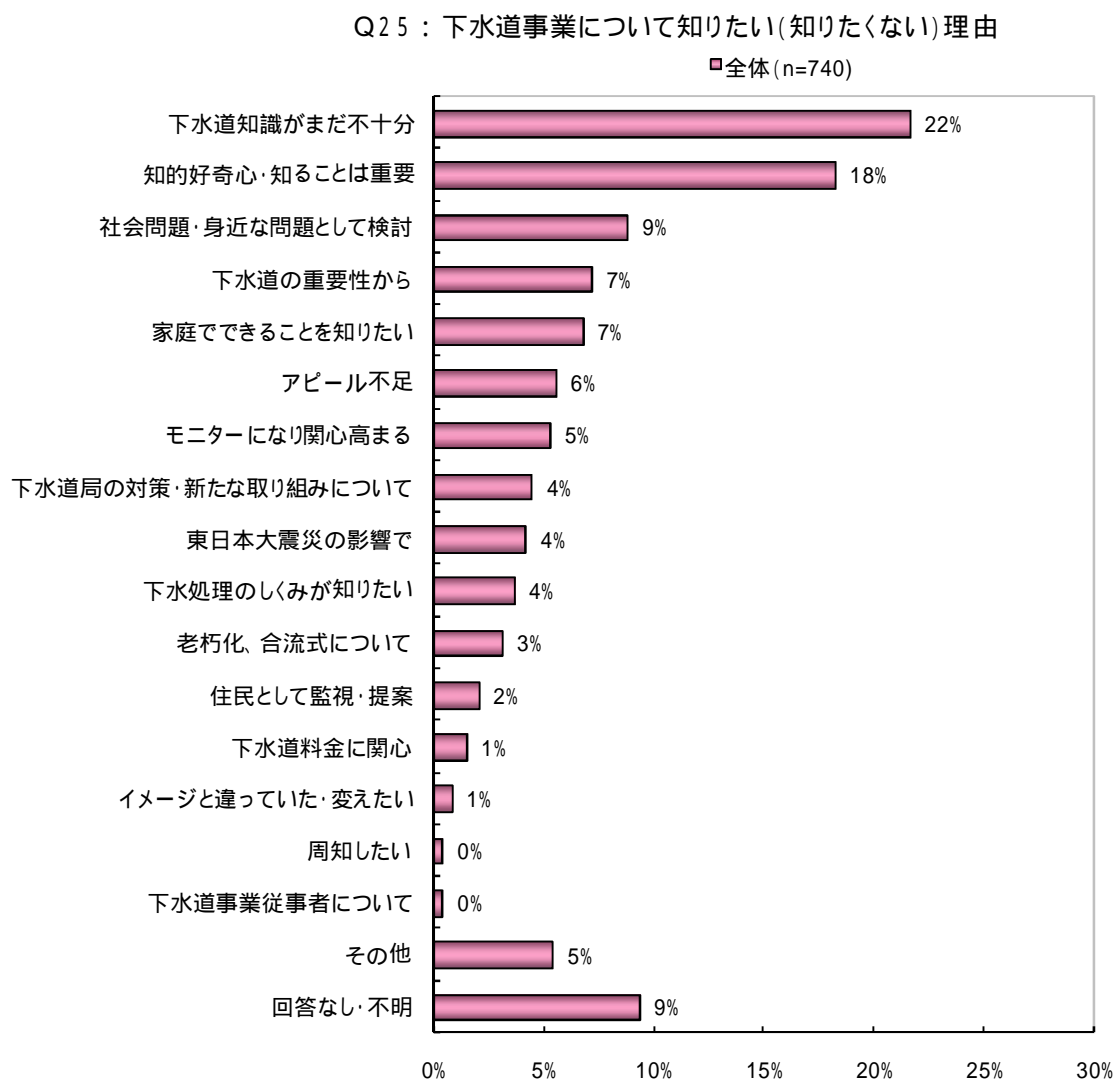


## 9 - 2 . 下水道事業に関する情報の探求意思（理由）

- 下水道事業について知りたい（知りたくない）理由としては、「下水道知識がまだ不十分」が 22%と最も多かった。次いで、「知的好奇心・知ることは重要」が 18%という意見が多かった。
- 「社会問題・身近な問題として検討」も 9%と注目が高まっていた。
- パーセンテージとしては低いながらも、「モニターになり関心が高まる」ことで下水道についてさらに深く知りたくなったという意見もあった。

Q25. 上記 Q24 のように思われるのはなぜですか？その理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）。

図 9 - 2 下水道局、下水道事業の情報の探求意思の理由



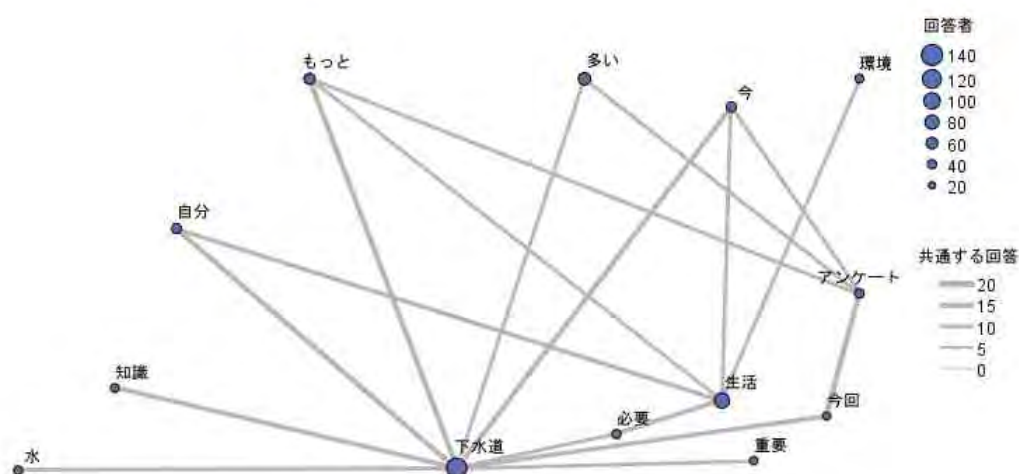
上記は、表記のキーワードに関連する内容を記載した回答者の割合（率）である。

### 9 - 3 . 下水道事業に関する情報の探求意思（理由の傾向）

- ネットワーク図を見ると、「下水道」が「自分」の「生活」に「必要」なものだから、という意見が集まっているものと想定される。
- 「今回」の「アンケート」で「もっと」、「下水道」について知りたいと思った、といったような意見も集まっている。

Q25. 上記 Q24 のように思われるのはなぜですか？その理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）。

図 9 - 3 下水道局、下水道事業の情報探求意思理由の傾向



上図は、下水道や下水道事業についてさらに詳しく知りたい（あるいは知りたくない）と選んだ理由についての自由回答意見の文章を語句単位で切り分け、一定以上の回答者数が合ったものをノード（上図の印）として表示し、一定以上の共通する回答数があったものを紐帯（上図のグレーの線）として表示したネットワーク図である。

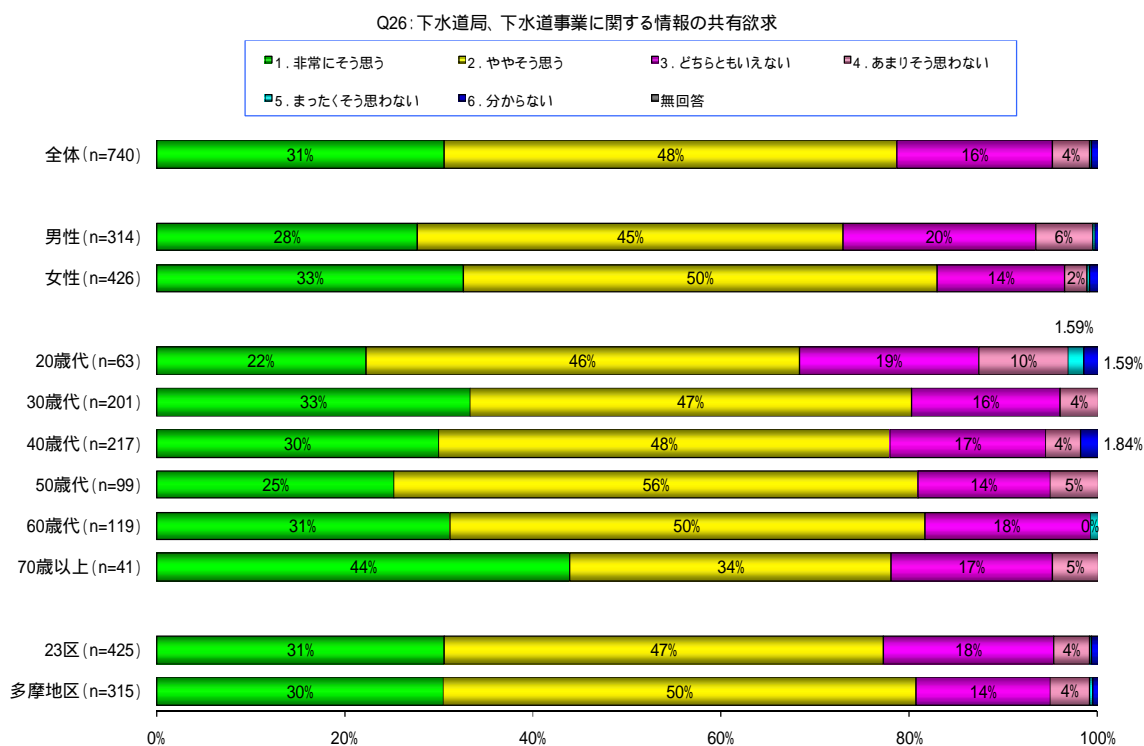
上図はノードを 30 回答以上、紐帯を 8 回答以上のもののみ表示している。

## 9 - 4 . 下水道事業に関する情報の共有欲求

- 下水道局や下水道事業について、知っていることを共有したいと思うかについて質問をおこなった。全体では、「情報を共有したいと思う(非常にそう思う+ややそう思う)」との回答が79%となった。
- 男女別にみると、女性の方が「非常にそう思う」との回答が多く、男性よりも5ポイント高くなった。
- 年代別にみると、70歳以上において「非常にそう思う」と回答が多く44%となった。なお、最も少ない20歳代は22%であり、22ポイントの差が生じている。
- 地域別にみると23区の方が「非常にそう思う」との回答が多く、多摩地区よりも1ポイント高くなった。

Q26. あなたは、下水道局や下水道事業に関して知っていることを、周囲の人に知らせたいと思いますか(単一回答)?

図 9 - 4 下水道局、下水道事業の情報の共有欲求

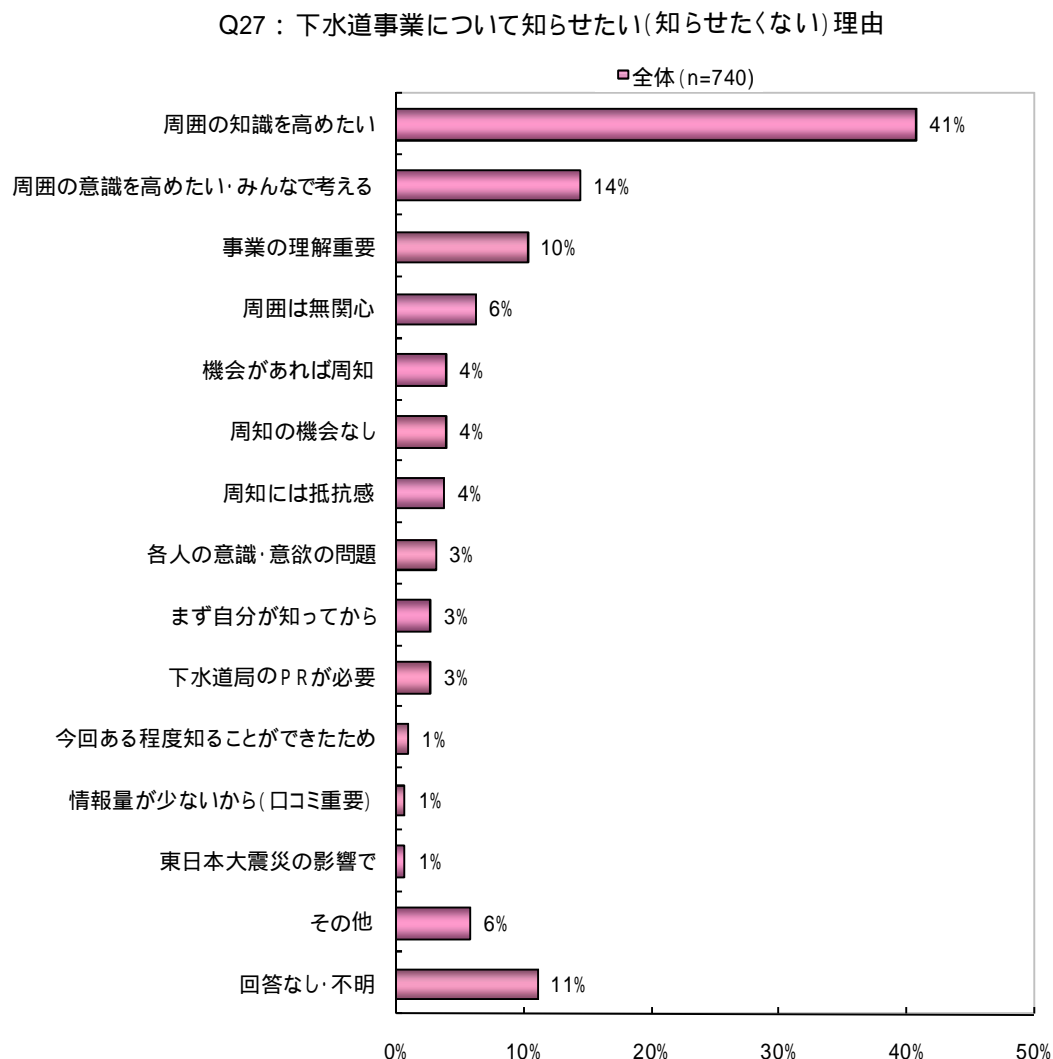


## 9 - 5 . 下水道事業に関する情報の共有欲求（理由）

- 下水道事業について知らせたいと思う理由としては、「周囲の知識を高めたい」が41%と最も多い。
- 次いで、「周囲の意識を高めたい・みんなで考える」14%、「事業の理解重要」10%が挙げられた。
- 周知に積極的でない意見としては、「周囲は無関心」(6%)「機会があれば周知」(4%)「周知の機会なし」(4%)「周知には抵抗感」(4%)「各人の意識・意欲の問題」(3%)「まず自分が知ってから」(3%)「下水道局のPRが必要」(3%)「情報量が少ないから(口コミ重要)」(1%)などが挙げられた。

Q27. 上記 Q26 のように思われるのはなぜですか？その理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）。

図 9 - 5 下水道事業に関する情報共有欲求の理由



上記は、表記のキーワードに関連する内容を記載した回答者の割合（率）である。

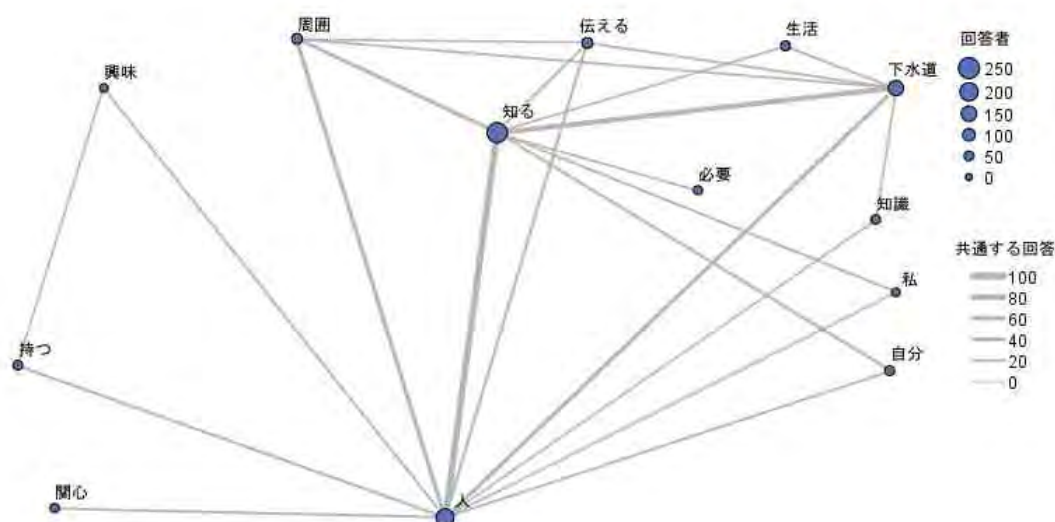


## 9 - 6 . 下水道事業に関する情報の共有欲求（理由の傾向）

- ネットワーク図を見ると、「周囲」の「人」が「下水道」について「知る」ことができるように「私」「自分」が「伝える」ことが「必要」といった意見が多かった。
- 「人」が「興味」「関心」を「持つ」ようにすべきといった意見も挙がっていた。

Q27. 上記 Q26 のように思われるのはなぜですか？その理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）。

図 9 - 6 下水道事業に関する情報共有欲求理由の傾向



上図は、下水道事業について知っていることを周囲に知らせたい（あるいは知らせたくない）と選んだ理由についての自由回答意見の文章を語句単位で切り分け、一定以上の回答者数が合ったものをノード（上図の印）として表示し、一定以上の共通する回答数があったものを紐帯（上図のグレーの線）として表示したネットワーク図である。

上図はノードを 20 回答以上、紐帯を 10 回答以上のもののみ表示している。

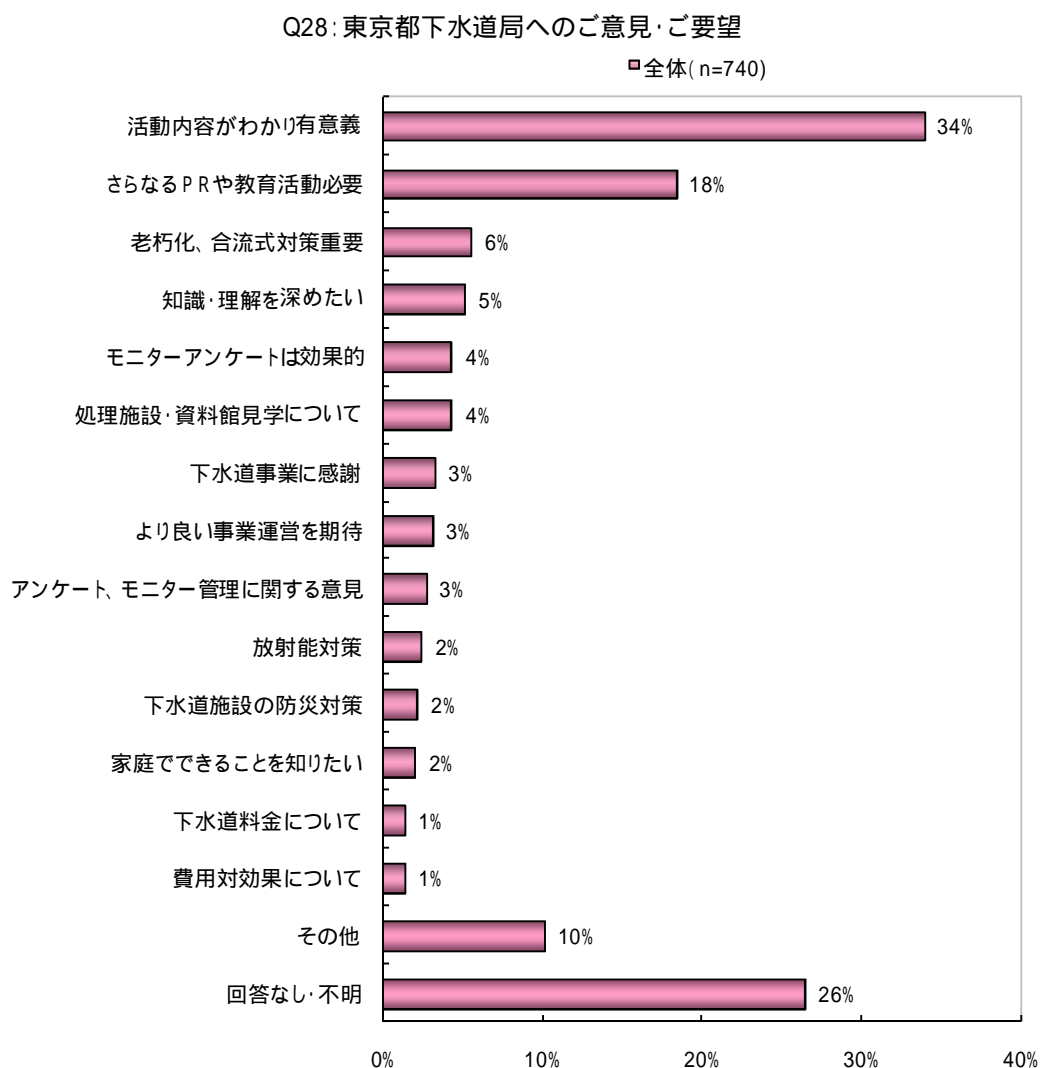
## 10．下水道局へのご意見・ご要望など

### 10-1．東京都下水道局へのご意見・ご要望

- 東京都下水道局へのご意見やご要望としては、「活動内容がわかり有意義」が34%と最も多く、次いで「さらなるPRや教育活動必要」が18%と多かった。これまで詳しく知らなかったことを知ることが出来たとの意見が寄せられた。

Q28. 以上、東京都の下水道事業について色々とおたずねして参りましたが、今回のアンケート内容（本アンケートにより、イメージが変わられた方はその理由など）および東京都下水道局へのご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせ下さい（自由回答）。

図 10-1 東京都下水道局へのご意見・ご要望



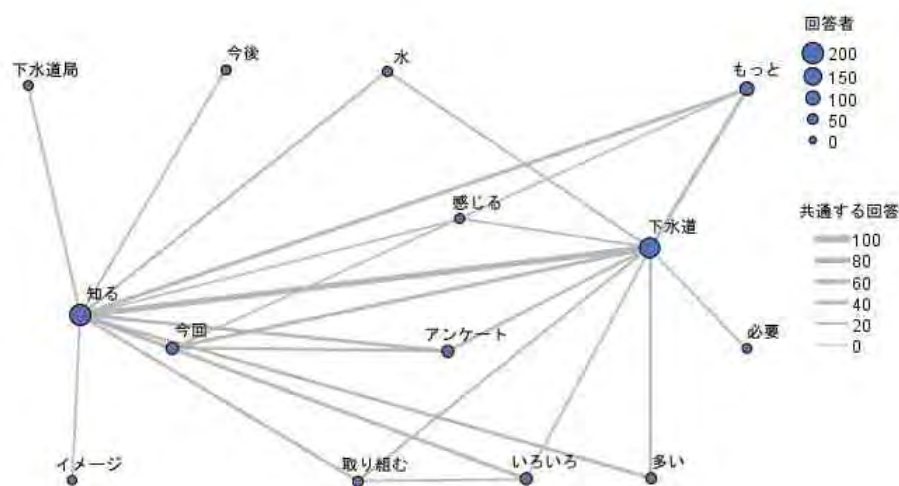
上記は、表記のキーワードに関連する内容を記載した回答者の割合（率）である。

## 1 0 - 2 . 東京都下水道局へのご意見・ご要望（理由の傾向）

- ネットワーク図を見ると、「下水道」について「もっと」、「知りたい」という意見が多かったことを示している。
- 「今回」の「アンケート」で「下水道」について「知る」ことができたという意見も多かった。

Q28. 以上、東京都の下水道事業について色々とおたずねして参りましたが、今回のアンケート内容（本アンケートにより、イメージが変わられた方はその理由など）、および東京都下水道局へのご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせ下さい（自由回答）。

図 1 0 - 2 東京都下水道局へのご意見・ご要望の傾向



上図は、東京都下水道局へのご意見・ご要望として寄せられた自由回答意見の文章を語句単位で切り分け、一定以上の回答者数が合ったものをノード（上図の印）として表示し、一定以上の共通する回答数があったものを紐帯（上図のグレーの線）として表示したネットワーク図である。

上図はノードを 30 回答以上、紐帯を 15 回答以上のもののみ表示している。

## 1 0 - 3 . 東京都下水道局へのご意見・ご要望例

- 東京都下水道局へのご意見やご要望、アンケートに対するご感想など、多数お寄せいただきましたので、ここに一部ご紹介いたします。

Q31. 以上、東京都の下水道事業について色々とおたずねして参りましたが、今回のアンケート内容（本アンケートにより、イメージが変わられた方はその理由など）および東京都下水道局へのご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせ下さい（自由回答）。

### 1 . 「活動内容がわかり有意義」に関連した意見

- ◆ 私の知らない下水道事業をたくさんしていることを今回初めて知った。特に Q13 についてはほとんど知らなかった。とても良い取り組みをしていると思うので、もっと都民に知らせていいと思った。もともと下水道事業に悪い印象は持っていないが、この取り組み内容を知れば、もっと好印象になると思う。新聞の広告などで見られるとじっくり読めていいと思う。（男性 23 区部、60 歳代）
- ◆ 知らないことが多く、家族とも確認しながらアンケートを回答しました。知る機会を頂けて良かったです。（女性 23 区部、50 歳代）
- ◆ 漠然と下水道処理というイメージしかありませんでしたが、洪水対策や水の少ない所に再生水を戻す事など見えない所で日夜活躍している縁の下の方の力持ちと感じました。縁の下の方の力持ちだからゆえ、あまり事業内容が知られて居ない事が非常に残念に思いますので分かりやすい広報活動もお願いしたいと思います。（女性多摩地区、50 歳代）
- ◆ 既存の業務内容だけでも社会にとって大切な仕組みだと思っていたのですが、様々な新たな取り組みをされていることを知り好感を持ちました。この情報をわかりやすい形でより多くの都民に知ってもらえるといいなあと思います。（男性 23 区部、40 歳代）
- ◆ 再生水のことをあまり知らなかった。（女性 23 区部、40 歳代）
- ◆ 再利用とただ水をきれいにするだけではなく、エネルギーに変えたりとか思った以上に色々取り組んでいることにびっくりしました。老朽化のことを知り、不安になりました。今後どのように修復していくのか、対策をお願いします。（女性 23 区部、50 歳代）
- ◆ 下水道の大切さが今までよりも身近に感じられるようになったと思います。（男性多摩地区、30 歳代）
- ◆ 今まで知らなかった事もたくさんあり、下水道局の重要性を非常に感じました。ただ地味なイメージがあるので、もっと環境に貢献できることを、アピールして広く協力を求めるべきだと思います。特に節電対策の 1 つとして重要な位置を占めることを、周知をお願いします。（男性 23 区部、40 歳代）
- ◆ このようなこともしているのか、とかなり驚きました。また、経済性なども重視してい

ることに驚きました。(女性 23 区部、40 歳代)

- ◆ 今まで知らなかった様々な事業を行っていることにより少し尊敬した。いいことでも悪いことでも本当のことを広報活動してほしい。(男性 23 区部、60 歳代)

## 2. 「さらなる P R や教育活動必要」に関連した意見

- ◆ 私の知らない下水道事業をたくさんしていることを今回初めて知った。特に Q13 についてはほとんど知らなかった。とても良い取り組みをしていると思うので、もっと都民に知らせていいと思った。もともと下水道事業に悪い印象は持っていないが、この取り組み内容を知れば、もっと好印象になると思う。新聞の広告などで見られるとじっくり読めていいと思う。(男性 23 区部、60 歳代)
- ◆ 漠然と下水道処理というイメージしかありませんでしたが、洪水対策や水の少ない所に再生水を戻す事など見えない所で日夜活躍している縁の下の方の力持ちと感じました。縁の下の方の力持ちだからゆえ、あまり事業内容が知られて居ない事が非常に残念に思いますので分かりやすい広報活動もお願いしたいと思います。(女性多摩地区、50 歳代)
- ◆ 既存の業務内容だけでも社会にとって大切な仕組みだと思っていたのですが、様々な新たな取り組みをされていることを知り好感を持ちました。この情報をわかりやすい形でより多くの都民に知ってもらえるといいなあと思います。(男性 23 区部、40 歳代)
- ◆ 今まで知らなかった事もたくさんあり、下水道局の重要性を非常に感じました。ただ地味なイメージがあるので、もっと環境に貢献できることを、アピールして広く協力を求めるべきだと思います。特に節電対策の 1 つとして重要な位置を占めることを、周知お願いします。(男性 23 区部、40 歳代)
- ◆ 今まで知らなかった様々な事業を行っていることにより少し尊敬した。いいことでも悪いことでも本当のことを広報活動してほしい。(男性 23 区部、60 歳代)

## 3. 「老朽化・合流式対策重要」に関連した意見

- ◆ 雨が多いときに処理しきれない水が川にながれているのをはじめて知りました。放射性物質に対してどのような対応をして、これからどうしていくか H P にわかりやすくのせてほしいです。(男性 23 区部、30 歳代)
- ◆ マンホールのことや合流管のこと、昔の都市河川暗渠といまの下水道ネットワークのことなどなど、細かい質問含めていろいろ伺ってみたいことがあります。そんな質問を直接できる機会があると嬉しいです。(男性多摩地区、60 歳代)
- ◆ 下水道局や下水道事業には水の浄化だけでなく、合流式下水道の問題や下水道管の老朽化などいろいろな問題があるのだなと思った。生活排水の取り組みもまだまだ知らずにやっていたりすることもあるので、まずは自分から取り組んで見ようと思った。同時に、知らずにやっつけてしまっている人もいると思うので、世間一般常識になるくらいに広まると良いなと思った。(男性多摩地区、60 歳代)

- ◆ 下水道について一般的な知識はあったが、下水管が寿命を迎えていることや、合流式下水道の意味等を詳しく理解していなかったため、今回のアンケートによって下水道をもっときちんと考えなくてはならないという意識が芽生えた。また、東京都下水道局はもっと下水道の寿命や合流式下水道の問題点等をアピールしても良いと思った。(男性多摩地区、50 歳代)
- ◆ 合流式下水道の問題については全く知らず、勉強になった。再生水で小水量の川を改善する試みについても知らなかったが、今後もぜひ続けてほしい。東京アメッシュは詳細で素晴らしいが、降水予測もわかるようだとさらに便利だと思う。(女性 23 区部、40 歳代)
- ◆ 汚水再生にとっても気を使っているのに、集中豪雨の時など雨水と汚水を一緒に放出せざるをえないのは、とても残念だ。雨水と汚水の処理を別々に扱えるようなシステムの開発が必要だと思う。下水道管の老朽化について、私同様、多くの人が知らないでいると思う。他にも、下水道局が直面している課題・問題をもっとアピールし、都民の協力を喚起するべきだ。(男性多摩地区、20 歳代)
- ◆ 設備の老朽化については気になっていました。今後どうしていくのでしょうか？あと、污泥からガスを生成したりしているのはとてもよいと思いますが、最後焼却するのをなくしてたい肥化などするのは難しいのでしょうか？環境フェア清瀬というイベントでアンケートに答えるとエコバッグなどいただけるのをやっていたましたが、そういう対外的なものにお金をかけすぎて老朽化した設備を新しくできないのは困ります。これから少子化が進んでいく中で、収入拡大はなかなか難しいと思うので、できる限り健全な経済状態にするために引き締めるところは引き締め(女性 23 区部、30 歳代)
- ◆ 下水道局が行っている新たな活動や取組についてまさに勉強不足でした。下水道管の老朽化は順次工事を行えているものとばかり思い込んでいました。上水道管は液状化現象で沈み下水道管は浮くという、記事があり目からうろこでした。上水道工事より下水道工事の方が大変ご苦労があるのではと思いますが、携わる方々日々お疲れ様としか言いようが御座いません。色々、素人では解らない事もしくは知ろうとしていなかっただけの事を知れて、今回の機会によりイメージは 180 度変わりました。大変有意義なモニターアンケートに参加させていただき感謝して(女性多摩地区、60 歳代)
- ◆ 再利用とただ水をきれいにするだけではなく、エネルギーに変えたりとか思った以上に色々取り組んでいることにびっくりしました。老朽化の事を知り、不安になりました。今後どのように修復していくのか、対策をお願いします。(女性 23 区部、50 歳代)
- ◆ 下水道局が、合流式・浸水対策・下水管の老朽化の 3 点を、大問題だと考えていることが分かった。後 2 者の問題性はなんとなく知っていたが、前者は知らなかった。むしろ合流式化を目指しているのだと思っていた。先日、質問をした際、迅速適切な返答をいただき助かりました。ありがとうございました。(女性多摩地区、30 歳代)
- ◆ 大雨の時には、下水がそのまま川や海へ流されているとは、知りませんでした。(男性 23 区部、30 歳代)
- ◆ 下水道管の耐用年数が 50 年という事を、今回のアンケートで知りました。緊急に大きな課題に取り組んでいく上で、人間の便利さ優先の開発工事を再び繰り返していくのでは

なく、自然と共存して行く為の暮らしのあり方を国民で見直していく事が大切だと思います。今後の見通し、工事計画等も広報してください。(男性 23 区部、20 歳代)

- ◆ Q18 についてですが、分流式の採用はお考えでしょうか。費用は莫大ですが効果は絶大と思うのですが。又、歩道の平板からアスコンになったのも学生運動が主因かと記憶していますが、歩道だけでも浸透にするだけでも効果は大きいのではないのでしょうか。(女性 23 区部、30 歳代)
- ◆ 分流式にはしないのですか？(男性 23 区部、70 歳以上)
- ◆ 今回のアンケートで知ったことですが、下水道管の老朽化や耐用年数については積極的に知らせた方が良いと思います。(隔月の料金票の裏面などに載せたり。)また、原子力エネルギーの危険性を感じている今、量はわずかでも、ありとあらゆる方面で代替エネルギーが作られると、合わせれば大きな電力になると思うので下水熱を利用したエネルギー活用や、汚泥からガスや炭を生成して発電に利用されているのを知って嬉しかったです。これからも積極的にエネルギーに利用できるものは極力活用していったらいいと思います。(女性 23 区部、40 歳代)
- ◆ 「合流式下水道」と呼ばれる、汚水と雨水が同じ下水道管を流れる方式を初めて知りました。雨水でいくらか薄まっているとはいえ、大雨の時下水が河川にそのまま放流されているなんて、ちょっとショックです。(男性 23 区部、40 歳代)
- ◆ 下水道管の老朽化や、合流式下水道のことなど、たくさん問題を抱えながら、日々の生活を快適にする努力をされているのだと思います。さまざまな問題について、もっと多くの方に伝えていただければ、下水道事業への理科も深まるのではと思います。(男性多摩地区、30 歳代)
- ◆ 合流式下水道の改善策がとても気になります。海や川が将来どうなるか、現時点での健康への影響など。生活排水について、熱湯はさましてから流す事が良いと言うが、日常での現実の調理過程では不可能な事もあります。他の項目についても、どの程度の重要性があるのかを示さなければ生活の不便を強いてまで努力する人は少ないと考えます。(女性 23 区部、40 歳代)
- ◆ 下水管の耐久年数は情報開示する必要があると思う。(男性多摩地区、60 歳代)
- ◆ 下水管の老朽化や問 13 の多くの事柄など、今まで全く知らなかった事に触れられて良かった。地震によって破損した下水管があったのかどうかや今夏にも起こるであろうゲリラ豪雨に対する対策など、もっと広く都民に知らせて欲しい。東京アメッシュのページは非常に役立っているので、今後もずっと続けて欲しい。(男性多摩地区、50 歳代)
- ◆ Q23 の回答『雨水と汚水とは完全分離で流っていて雨水はそのまま河川へ流し、汚水は専用の処理施設へ送るという 2 系統処理されていると思い込んでいた』では、やはりコスト高になってしまいますよねえ、って改めて認識しました。(男性 23 区部、30 歳代)
- ◆ 東日本大震災の後なだけに、震災関連で思ったことが多く、通常時の回答とは異なるかもしれないが、液状化や汚泥など関連の深い問題が出てきている。また、Q18 は雨の後、雨水を河川にそのまま放流して大丈夫かと思った。(女性 23 区部、50 歳代)

- ◆ 今回のアンケートを通して、下水道事業について私の知らないことが多いと感じたので、もっと下水道について知識を広げたいと思いました。下水道の老朽化に大変不安を感じています。今回のような震災などが起こった場合などを考えると、早期の取替えをお願いしたいと思っています。(男性 23 区部、50 歳代)
- ◆ 東京が汚水と雨水と一緒に流れているというのは、知らなかったのでショックでした。(女性多摩地区、30 歳代)
- ◆ アンケートによるイメージの変化はありませんが、前から気になっていた事があります。都市型浸水問題に関連するが、生活排水と雨水の合流式下水道は将来的には両者分離するような方式に持って行って欲しいと思います。(男性 23 区部、50 歳代)
- ◆ 下水道整備がはじまって 100 年もたつとは知りませんでした。今現在どのようなところで新しい管への取り換え工事をしているのかが気になりました。また折りがありましたらお知らせくださいませ。(女性 23 区部、30 歳代)
- ◆ 下水道事業に対して何の知識もなかったので、今回のアンケートでいろいろな事業を行っている事がわかりました。そしてそれが社会的貢献度の高い事業だと言う事もわかりました。都内の下水道管が耐用年数を超えている事も知らなかったし、合流式下水道という言葉も初めて聞きましたが、どれもこれも知らないといけない問題だと感じました。積極的に告知すべきだと思います。(女性 23 区部、50 歳代)
- ◆ 現在の下水道の状況の周知が必要。特に老朽化対応が必要であれば、どんどんアピールし、実施につなげていくべき。(女性 23 区部、20 歳代)

#### 4. 「知識・理解を深めたい」に関連した意見

- ◆ 有明の下水道館をもっと見学者が来るように変えたほうがいいと思う。水の科学館とともに学ぶようにしたほうがもっと効果的だと思う。汚れた水にして流すことは天に唾をかけているようなもので、結局自分に返ってくることになる。それでも知らないことが多いので、この機会に学びたい。(男性多摩地区、60 歳代)
- ◆ 水は私たちの生活にかなり重要な役割があるのに、知らないことが多いと思いました。大切なことなので、もっと皆に知らせるべきだと思います。(女性多摩地区、30 歳代)
- ◆ 下水道に関する知識を更に得るべく努力をすると共に身近な人たちへ啓蒙していきたい。(女性 23 区部、50 歳代)
- ◆ 汚泥で無焼却ブロックをつくり歩道や公園などに利用 再生水の散水・施設の壁面緑化などヒートアイランド現象抑制 下水道管に光ファイバーを通す IT の推進 汚泥からガスや炭を生成して発電に有効利用 下水熱を利用した冷暖房エネルギー活用 以上のような活動を東京都下水道局が行っていることを知らなかった。これらのことについてももっと学習したいので、レクチャを希望。東電、東京ガスなどのようにもっと派手なプレゼンが一般にあってもいいと思う。(女性 23 区部、30 歳代)
- ◆ アンケートの中で、下水道局が、自分が思いもよらなかった取り組みをしていること、



しかもその取り組みの多くが環境に非常にやさしいものであることをしり、下水道はただ水をきれいにしているだけではないんだ、もっと多くの面で環境に役立っているのだと知って驚いた。もっと詳しく事業の内容を知りたいと思った。(男性多摩地区、60 歳代)

- ◆ 下水道事業にあまり気にしないで、今まで過ごしてきたが、改めてモニターを通じ理解を深めていきたい。(男性 23 区部、40 歳代)
- ◆ 今回の大震災で、職場周りですが下水道が使用できず随分と不便さを実感しました。上水道を使用するにしても下水道の整備がしっかりしていないと水を流すことも出来ないという事実を知ったので、これを機会に仕組み等を勉強できたらと思います。(女性 23 区部、50 歳代)
- ◆ 私たちの目には直接見えないところの大変なお仕事だと思います。汚かったりもすると思います。もっと知って勉強させてもらって少しでも何かの役に立てるようにできればと思いました。知ったことは広く周りに知らせていきたいと思います。(女性多摩地区、60 歳代)
- ◆ 大地震での大津波が襲ってきたとき、対策は現状で大丈夫なのか。また今後の計画などを知りたい。(女性 23 区部、30 歳代)

## 5. 「モニターアンケートは効果的」に関連した意見

- ◆ 知らないことが多く、家族とも確認しながらアンケートを回答しました。知る機会を頂けて良かったです。(女性 23 区部、50 歳代)
- ◆ 今まで余り関心がなかったが、これを機会に現状をよく知り、何らかの役にたちたい。(男性 23 区部、20 歳代)
- ◆ 下水道局が行っている新たな活動や取組についてまさに勉強不足でした。下水道管の老朽化は順次工事を行えているものとばかり思い込んでいました。上水道管は液状化現象で沈み下水道管は浮くという、記事があり目からうろこでした。上水道工事より下水道工事の方が大変ご苦労があるのではと思いますが、携わる方々日々お疲れ様としか言いようが御座いません。色々、素人では解らない事もしくは知ろうとしていなかっただけの事を知れて、今回の機会によりイメージは 180 度変わりました。大変有意義なモニターアンケートに参加させていただき感謝して(女性多摩地区、60 歳代)
- ◆ 下水道事業にあまり気にしないで、今まで過ごしてきたが、改めてモニターを通じ理解を深めていきたい。(男性 23 区部、40 歳代)
- ◆ 下水道の役割として水の浄化や降雨時の洪水防止等であると漠然と感じてはいたが、今回のアンケートでこれまではっきりと意識・理解してはいなかったんだと感じた。(女性 23 区部、30 歳代)
- ◆ Q21 の質問がとても良かったです。質問をとこなながら日々気をつけようと思いました。(女性多摩地区、60 歳代)

- ◆ 水道モニターに応募した後、3月11日東北・関東大震災、原発事故が起こり、いやでも上下水道、電気、考えさせられることになりました。今回のモニター応募して、当選して良かったと、おもいます。(男性多摩地区、40歳代)
- ◆ Q23などでもお答えした通り、このようなアンケートは非常に良い企画だと思います。大半の都民は下水道の重要性・有難さを忘れていていると思います。(男性23区部、20歳代)

## 6. 処理施設・資料館見学について

- ◆ 自分が住んでいる町の下水道がどこに流れて、どこで処理され、どこの川に流れているか詳しく知りたい、学校の授業でも自分の町の下水がどうなって、どこに行くのか分かれば、もう少し関心を持つとおもう。流した下水を見て、川を見学して、もっときれいに使おうと思うはず。見学会など頻繁にやれば、いいと思う。(女性多摩地区、30歳代)
- ◆ 有明の下水道館をもっと見学者が来るように変えたほうがいいと思う。水の科学館とともに学ぶようにしたほうがもっと効果的だと思う。汚れた水にして流すことは天に唾をかけているようなもので、結局自分に返ってくることになる。それでも知らないことが多いので、この機会に学びたい。(男性多摩地区、60歳代)
- ◆ 学校の社会科見学は言うまでもなく、地域のコミュニティー向けの見学会等があるともっと下水道事業を知る事が出来ると思います。(女性23区部、30歳代)
- ◆ 意見は特にはないですが、要望として、また下水道館で夏祭りがあれば参加したいです。地震の影響でいろいろイベントが中止の世の中ですが、子供が学べるワークショップとか開催して欲しいです。(女性多摩地区、40歳代)
- ◆ 都民に対し、もっと啓蒙を行うべき。このモニタもその一環かもしれませんが。下水道の知識をもっと、小学生や中学生など子供の頃からの学校授業に取り入れるべきかと思う。施設見学を義務付けるとか。水道館や水の館が「ハコモノ」などと言われないようPRをうまくするべき。(男性多摩地区、30歳代)
- ◆ イメージが変わりました。もっと社会科見学とかの場を増やし、子供たちにも知ってほしい。(男性多摩地区、40歳代)
- ◆ 下水というだけで汚いイメージがありました。HPをみたいりして、下水道事業もたくさんのかをやってるのがわかりました。子供のころは生活に必要な勉強(電気、ガス、水道、下水道)を詳しく教えてもらった記憶がありません。年令関係なく誰もが学べる場が増えればいいなと思います。(男性23区部、30歳代)
- ◆ モニターになれて本当によかったと思います。下水道道路を歩きながら、この下水は何処に行ってどのように処理されていくのか、を思いながら歩くようになりました。下水道がとても身近になりました。HPもこれからより詳しく見てお料理なども参考につくってみたいと思いますし、他の施設も見学してみたいので お知らせいただけると幸いです。(男性23区部、40歳代)

## 7. 下水道事業に感謝

- ◆ 本当にご苦勞様だと思います。やはり、下水道局にお勤めの方は、24 時間勤務されているのでしょうか。次回は、下水道局の職員について、教えていただければと感じました。(男性 23 区部、50 歳代)
- ◆ 下水道局が行っている新たな活動や取組についてまさに勉強不足でした。下水道管の老朽化は順次工事を行えているものとばかり思い込んでいました。上水道管は液状化現象で沈み下水道管は浮くという、記事があり目からうろこでした。上水道工事より下水道工事の方が大変ご苦勞があるのではと思いますが、携わる方々日々お疲れ様としか言いようが御座いません。色々、素人では解らない事もしくは知ろうとしていなかっただけの事を知れて、今回の機会によりイメージは 180 度変わりました。大変有意義なモニターアンケートに参加させていただき感謝して(女性多摩地区、60 歳代)
- ◆ 東京都下水道局の皆さま、毎日ご苦勞様です。頭が下がる思いです。これからも都民の日常生活と安全を守ってください。よろしくお願いいたします。(男性 23 区部、40 歳代)
- ◆ 私たちの目には直接見えないところの大変なお仕事だと思います。汚かったりもすると思います。もっと知って勉強させてもらって少しでも何かの役に立てるようにできればと思いました。知ったことは広く周りに知らせていきたいと思います。(女性多摩地区、60 歳代)
- ◆ 震災の影響で、これからも各地で様々な問題が長期にわたり発生するでしょうが、私は東京都に住んでいて、発表を信じていますので、特に怖くはありません。これからもがんばって下さい。(男性 23 区部、50 歳代)

## 8. より良い事業運営を期待

- ◆ 水質改善事業・浸水防除事業については多少知っていましたが、「Q13～14. 新たな活動や取組」の各項目の多種多様さに意外な感じを受けると同時に、下水道事業の今後の展開・可能性の大きさを感じました。(女性 23 区部、30 歳代)
- ◆ 東京から世界へ発信できる下水道構築のお願いと、発想の転換で電力は東京下水道局が東京電力に変わり、発電装置構築、発明をお願いします。勝手なことばかり書かせて頂きましたが、今後の下水道事業に期待しております。(男性多摩地区、70 歳以上)
- ◆ 汚水再生にとっても気を使っているのに、集中豪雨の時など雨水と汚水を一緒に放出せざるをえないのは、とても残念だ。雨水と汚水の処理を別々に扱えるようなシステムの開発が必要だと思う。下水道管の老朽化について、私同様、多くの人知らないでいると思う。他にも、下水道局が直面している課題・問題をもっとアピールし、都民の協力を喚起するべきだ。(男性多摩地区、20 歳代)
- ◆ エネルギー、コストともに、効果的な使い方で、環境問題に取り組んでいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。(男性 23 区部、40 歳代)
- ◆ 放流する水がどの程度までキレイになっているかを知りたい。今後の下水道にからむ画期的な技術開発の展望をしりたい。(女性 23 区部、30 歳代)

- ◆ 今後、下水道事業の継続のために多くの費用がかかると思います。便利さだけを追い求めてきた私たちの方向性を見直す時期になってきたのかもしれませんが。大変ですが、今までどおりになぞるだけではない、将来を見据えた対応をお願いします。(男性多摩地区、60 歳代)
- ◆ 建前等はなくしてもらい、透明性のある事業として進めてほしい。(女性 23 区部、30 歳代)
- ◆ 近時、東日本大震災を受けて、防災への関心が高まりつつある。下水道は、都市を支える最も根幹的な都市基盤であるため、災害への対策を十分にしておかなければならない。首都直下型地震への警戒が強まっている今こそ、下水道設備のさらなる強化を期待したい。(女性 23 区部、40 歳代)
- ◆ 原発に依存しない代替エネルギーとして、汚泥や下水熱の有効利用を積極的に推し進めてもらいたい。(女性 23 区部、30 歳代)
- ◆ 下水道は汚水を集めて処理しているだけでなく、様々な再利用活動が行われていると知りました。たまに商業施設でトイレの水に雨水を使用しているところを見かけ、「確かに口に入ったり手に触れたりしないことであれば、きれいな水じゃなくても構わないかも」と思っていたので、下水道事業で下水を再利用していると知り、環境にも優しいし素晴らしいなと思いました。今、原発の問題で、電力不足等の問題が起きていますが、それを補う一端となるような事業が展開されていくことを期待したいと思っています。(女性 23 区部、30 歳代)
- ◆ 温暖化のせいかわかりませんが、ちょっとした雨で都庁の足元が冠水するなど、都市機能が脆弱になっていると感じる時があります。大災害にならないよう、対策方よろしくをお願いします。(女性 23 区部、40 歳代)
- ◆ 長期計画が解らない。何処の処理場(再生センター)が限度であり、何処に大きな処理場を建設する。その処理水を川に放流するとか再利用するといった計画が見えないと将来に不安を覚える。こういう計画は速く発表して肅々と進めていかないと急に発表すると反対派騒ぎ計画が遅れていく。役人も社会情勢の変化で変更もありうる、という民間並みの勇気を持つべきだ。(女性 23 区部、50 歳代)
- ◆ 下水道モニターを通じていろいろと学んでいけたらと思っています。現在、建築関係の仕事をしており、建物を水害から守る必要があります。特に浸水抑制等の災害対策及び汚泥の建材等資材へのリサイクルに興味があります。(女性 23 区部、30 歳代)
- ◆ 下水道管の新しい使い道や省エネ対策など行っていて、とても頼もしく思ったとともに、まだまだいろいろなことができるのかかもしれないと期待を持った。(男性 23 区部、40 歳代)
- ◆ 今まで知らなかった下水道事業の取り組みの内容の一端をこのアンケートで知る事が出来ました。とても好印象に繋がりましたし、今後もより一層の価値ある取り組みを期待します。ところで、最近東京都の下水から出た汚泥から、高濃度の放射能が検出され、それがそのまま建材のコンクリートなどに加工されているという、大変憂慮すべきニュ

ースを知りました。これは止められないのでしょうか？それとも検出後は放射性物質入り汚泥の再利用はされていないのでしょうか？人命に関わる大変重要なことです。とても心配しています。(男性多摩地区、50歳代)

## 9. 放射能対策

- ◆ 雨が多いときに処理きれない水が川にながれているのをはじめて知りました。放射性物質に対してどのような対応をして、これからどうしていくかHPにわかりやすくのせてほしいです。(男性23区部、30歳代)
- ◆ 原発がまだ終息していないので今後も下水道の放射能の量を測定していただきたいです(女性23区部、30歳代)
- ◆ 福島原発における、水道水の放射能汚染が大変気がかりです。東京都の水は本当に安全ですか？事実をしっかりと説明して下さい。(男性23区部、70歳以上)
- ◆ 下水処理における放射能等測定結果を公表しているが、基準値が示されていないため、その数値で良いのかが分からない。(女性多摩地区、50歳代)
- ◆ 原発の事故で東京の水道水も汚染されているようです。雨水に含まれる放射能物質などをなんとか取り除く手段を考えていただきたいです。(女性23区部、50歳代)
- ◆ 下水道はただ家庭などからの下水を処理するだけだと思っていましたが、さまざまな取り組みをしていることがわかりました。現在、汚泥のことが新聞などで話題になっています。ぜひ、汚泥処理による放射性物質の拡散(汚泥焼却灰、ブロック等)はしないようお願いします。また情報開示については、即時対応し、常に最新情報をネットなどで確認できるようお願いします。(女性多摩地区、40歳代)
- ◆ こういうご時世なので、放射能と下水道の関係が知りたい。放射性セシウムなど、下水道で除去できたりするものなのだろうか？(男性多摩地区、60歳代)
- ◆ 東日本大震災の後なだけに、震災関連で思ったことが多く、通常時の回答とは異なるかもしれないが、液状化や汚泥など関連の深い問題が出てきている。また、Q18は雨の後、雨水を河川にそのまま放流して大丈夫かと思った。(女性23区部、50歳代)
- ◆ 今まで知らなかった下水道事業の取り組みの内容の一端をこのアンケートで知る事が出来ました。とても好印象に繋がりましたし、今後もより一層の価値ある取り組みを期待します。ところで、最近東京都の下水から出た汚泥から、高濃度の放射能が検出され、それがそのまま建材のコンクリートなどに加工されているという、大変憂慮すべきニュースを知りました。これは止められないのでしょうか？それとも検出後は放射性物質入り汚泥の再利用はされていないのでしょうか？人命に関わる大変重要なことです。とても心配しています。(男性多摩地区、50歳代)
- ◆ 仕事の内容が生活に必要なのでもっとメディアを使って広く宣伝すべき今後、放射能に対する取り組みを都民に説明すべき(男性23区部、40歳代)

## 10. 下水道施設の防災対策

- ◆ 暴風雨、津波などで下水が氾濫したり、地震により高層の集合住宅でトイレが使えなくなったりしないように、下水道事業がどこまで防災対策がなされているかお教え願いたい。(女性 23 区部、70 歳以上)
- ◆ 震災を受けて、災害時の対策を真剣に考えてほしいと思います。(女性 23 区部、60 歳代)
- ◆ 震災などで明らかになったように、事が起こってからの対応では遅すぎます。事前のしっかりした災害対策などを要望します。(女性 23 区部、30 歳代)
- ◆ 3/11 の地震の際、千葉県の上下水道が使用できなくなり、とても大変だったと聞きましたが、なぜ地震を想定して、安全なつくりになっていないのか、対応できていないのかなと、とても不安になりました。(女性 23 区部、20 歳代)
- ◆ 下水道事業の内容について、少し詳しく知ることができる機会だったと思いました。この度の「東日本大震災」から、約 2 ヶ月余りが経ちましたが、下水道局でも震災時に対する危機管理を徹底して行い、都民の安全と健康を守って欲しいですね。(女性多摩地区、40 歳代)
- ◆ 色々なことをされているんだなあと思いました。地震など災害があった場合どのようなことを想定して対策をしているのか教えてもらいたいです。(男性多摩地区、30 歳代)
- ◆ 近時、東日本大震災を受けて、防災への関心が高まりつつある。下水道は、都市を支える最も根幹的な都市基盤であるため、災害への対策を十分にしておかなければならない。首都直下型地震への警戒が強まっている今こそ、下水道設備のさらなる強化を期待したい。(女性 23 区部、40 歳代)
- ◆ 今回の大震災で、職場周りですが下水道が使用できず随分と不便さを実感しました。上水道を使用するにしても下水道の整備がしっかりしていないと水を流すことも出来ないという事実を知ったので、これを機会に仕組み等を勉強できたらと思います。(女性 23 区部、50 歳代)
- ◆ 今回の震災時には千葉県で地盤沈下により下水道が使えなくなりました。官公庁では水道の復旧に力を入れていましたが、下水道の復旧は間に合わず、水道と下水道との復旧に時差が生じてしまい、結果、汚物が海洋投棄されてしまうような事態になったと聞きます。水は配水車で配れますが下水に代わりはなく、管路がやられれば即使用不能になります。(田舎ならその辺の山の中で用を足せますけど) 下水道もライフラインであることを都民へ周知させることが必要だと思います。また、震災の際には下水道の復旧へ力を存分に入れてもらえるようお願いしたいと(女性多摩地区、60 歳代)
- ◆ 東日本大震災の後なだけに、震災関連で思ったことが多く、通常時の回答とは異なるかもしれないが、液状化や汚泥など関連の深い問題が出てきている。また、Q18 は雨の後、雨水を河川にそのまま放流して大丈夫かと思った。(女性 23 区部、50 歳代)
- ◆ 大地震での大津波が襲ってきたとき、対策は現状で大丈夫なのか。また今後の計画など

を知りたい。(女性 23 区部、30 歳代)

- ◆ 都心は地下にいろんな施設があります。大雨が降った時に、それらの施設や人に被害が来ないように、もしそういう箇所の下水道管の改善などが必要なら、早めに対処して欲しいと思いました。(男性 23 区部、70 歳以上)
- ◆ 災害時の対策はどのようなになっているのか、知りたいと思います。また、より一層の災害対策をお願いします。(女性 23 区部、60 歳代)

以 上